

綾瀬市市民満足度調査

報 告 書

令和5年1月

綾 瀬 市

目 次

I 調査の概要	3
1 調査目的	3
2 調査の内容	3
3 注意事項	4
4 回答者の基本属性	5
II 調査結果概要	11
1 取組に対する満足度について	11
2 取組の重要度について	16
3 重要度と満足度のクロス分析	19
4 調査結果の考察	23
III 調査結果（満足度・重要度）	27
1 福祉・保健	28
（1）【施策1】地域で支え合う福祉活動	28
（2）【施策2】高齢者福祉と社会参加	30
（3）【施策3】障がい者の自立と社会参加	32
（4）【施策4】社会保障	34
（5）【施策5】健康づくり	36
（6）【施策6】地域医療	38
（7）【施策7】スポーツ	40
（8）【施策8】子育て支援、保育環境	42
（9）【施策9】青少年健全育成	44
2 安心・安全	46
（10）【施策10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	46
（11）【施策11】火災予防と消防力	48
（12）【施策12】防犯対策	50
（13）【施策13】交通安全対策、道路ネットワーク	52
（14）【施策14】市民相談	54
（15）【施策15】基地対策、基地との新たな関わり	56
3 都市づくり	58
（16）【施策16】公共交通ネットワーク	58
（17）【施策17】住宅、景観	60
（18）【施策18】公園	62
（19）【施策19】下水道、河川	64

4	産業振興	66
	(20) 【施策 20】 工業振興、企業誘致	66
	(21) 【施策 21】 労働環境	68
	(22) 【施策 22】 商業振興、観光振興	70
	(23) 【施策 23】 農業振興、農地保全	72
5	教育・文化	74
	(24) 【施策 24】 学校教育	74
	(25) 【施策 25】 学校教育環境	76
	(26) 【施策 26】 生涯学習	78
	(27) 【施策 27】 文化・芸術、文化財の保護活動	80
6	環境	82
	(28) 【施策 28】 みどりの保全、生活環境の保全	82
	(29) 【施策 29】 環境負荷の低減	84
	(30) 【施策 30】 資源の利活用	86
7	自治・行政	88
	(31) 【施策 31】 コミュニティづくり	88
	(32) 【施策 32】 多文化共生	90
	(33) 【施策 33】 人権擁護、平和活動	92
	(34) 【施策 34】 効果的・効率的な行財政経営、I C Tの利活用	94
	(35) 【施策 35】 公共施設マネジメント	96
IV	調査結果（市民意識）	101
1	居住環境	101
	(1) 居留意識	101
	(2) 定留意識	105
	(3) 『総合計画2030』について.....	109
2	市に対する意見・要望	112
	(1) 綾瀬市の魅力とその発信方法について.....	112
	(2) 行政に取り組んでもらいたいサービスや事業について.....	113
V	調査票	119

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

『綾瀬市総合計画2030』に掲げた15の戦略プロジェクトが展開される中で、各行政サービス・取組に対する市民の意見を把握し、その結果を今後の進行管理の基礎資料とすることで、事業再編や予算編成に役立て、市政運営に活用する。

2 調査の内容

この調査は、綾瀬市が重点的に実施している35の施策について調査項目を設定した。各施策の概要（現在実施している取組における一部の具体事業）を示し、各施策についての「満足度」と「重要度」について調査を実施した。

綾瀬市総合計画2030の始動（令和3年度）に伴い、これまでに実施してきた調査と施策名は異なるが、前回調査と比較が行えるよう、施策ごとに紐づけて実施した。

- (1) 調査地域 / 綾瀬市全域
- (2) 対象者 / 満18以上の市民
- (3) 標本数 / 3,000人
- (4) 抽出方法 / 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 / 郵送配布・郵送及びWebの併用回収
- (6) 調査期間 / 令和4年7月16日（土）から8月12日（金）
- (7) 調査機関 / 株式会社総合企画
- (8) 回収結果

発送数(a)	有効回答数(b)	有効回収率 (b) / (a)
3,000票	1,212票※	40.4%

※有効回答数のうち、Webによる回答は342票

- (9) 標本誤差 / この調査の標本誤差は以下のとおり。また、標本誤差は下記の式によって得られ、比率算出の基数(n)および回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。

回答比率	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
標準誤差	±1.7	±2.2	±2.6	±2.7	±2.8

$$(\text{標本誤差}) = k \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N：母集団
k：信頼率による定数(※)
※一般的に信頼率95%とすることが多く、その場合、k=1.96となる。

n：有効回答数
p：回答比率

<表の見方>

「ある設問の回答者が1,212であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%である場合、その回答比率の誤差範囲は、±2.7以内（信頼度95%の場合）である。」と見ることができる。

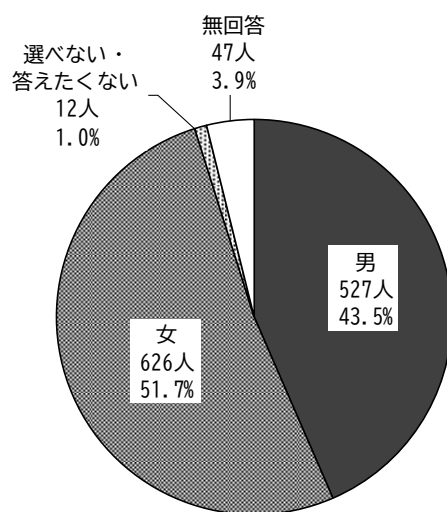
3 注意事項

- ① 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
- ② 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- ③ 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- ④ 年代別の分析では、10歳代の回答数が少ないため、10歳代と20歳代を合計して分析している。

4 回答者の基本属性

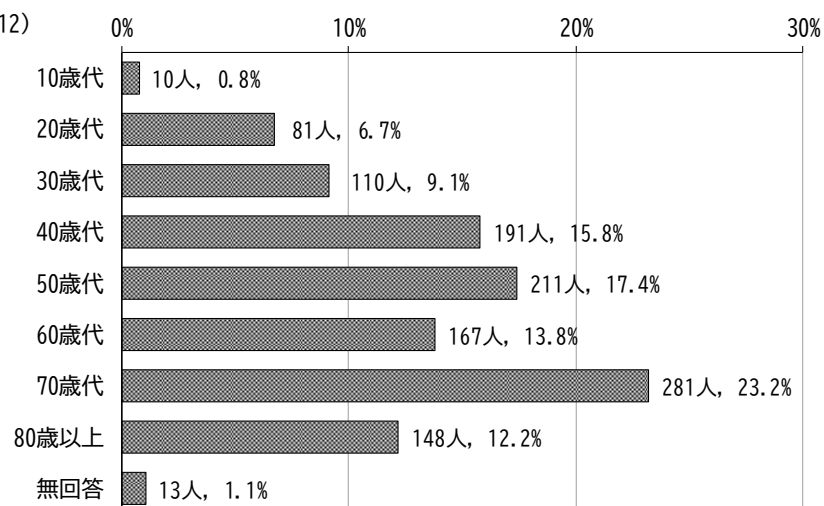
(1) 性別

(n=1,212)



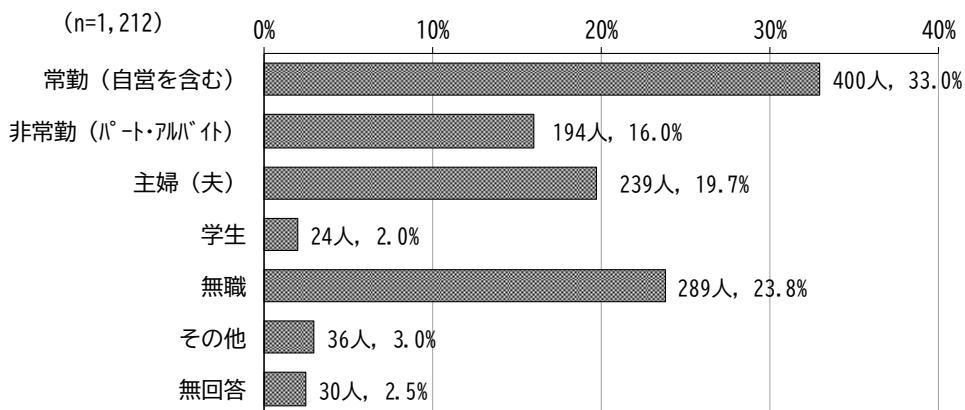
(2) 年齢

(n=1,212)

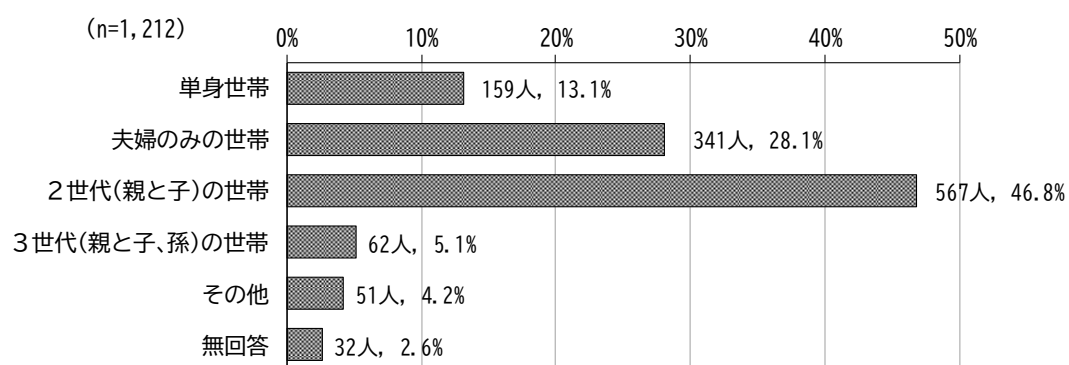


(3) 職業

(n=1,212)

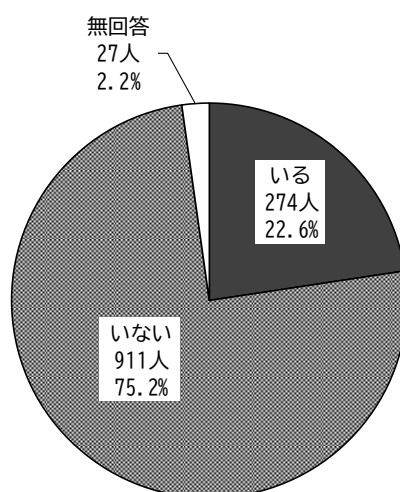


(4) 家族構成



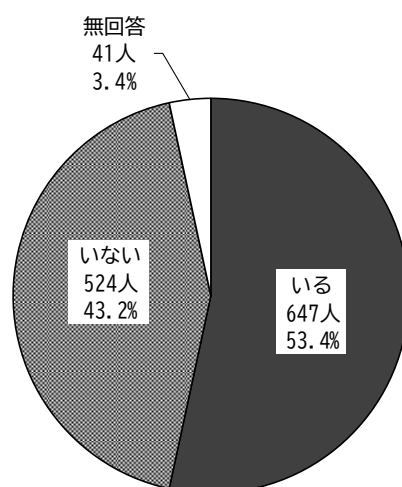
(5) 高校生以下の同居家族の有無

(n=1,212)

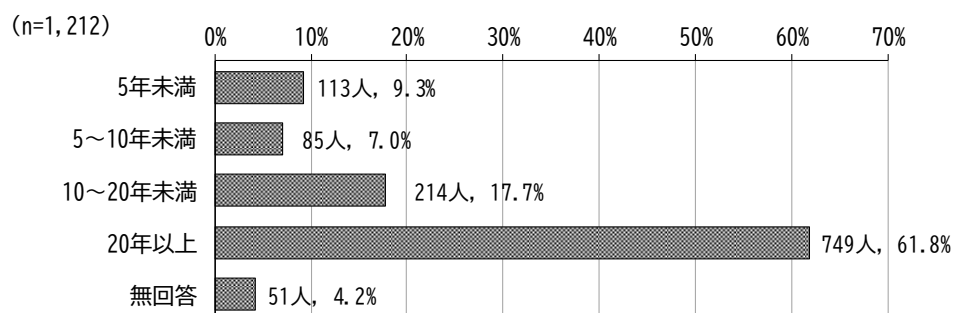


(6) 65歳以上の同居家族の有無

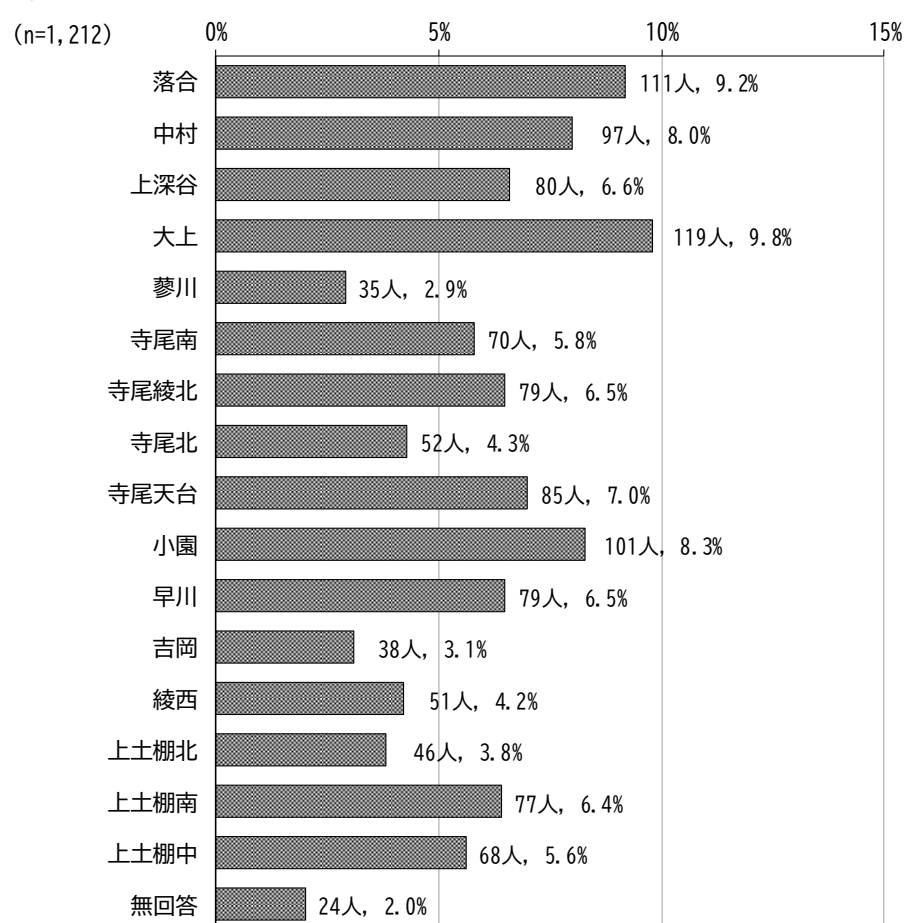
(n=1,212)



(7) 居住年数



(8) 居住地域



Ⅱ 調査結果概要

Ⅱ 調査結果概要

1 取組に対する満足度について

取組に対する「満足度（「満足」と「やや満足」の合計）」は、35 施策のうち 9 施策で 7 割を超え、うち 2 施策は 8 割を超えた。また、6 割未満であったのは 35 施策のうち 10 施策、このうち 5 割未満は 1 施策であった。

「満足度」上位 5 施策	割合(%)
【施策 5】健康づくり	80.9
【施策 30】資源の利活用	80.3
【施策 12】防犯対策	75.6
【施策 6】地域医療	75.1
【施策 29】環境負荷の低減	74.3

「満足度」下位 5 施策	割合(%)
【施策 1】地域で支え合う福祉活動	49.4
【施策 33】人権擁護、平和活動	51.3
【施策 31】コミュニティづくり	52.2
【施策 26】生涯学習	54.1
【施策 20】工業振興、企業誘致	55.7

前回(H29)調査では、「取組の効果」として「満足（妥当）」、「やりすぎ（必要以上の効果）」、「もっとやるべき（効果不十分）」、「取組を知らない」の 4 つの選択肢で実施していることから、数値での比較は適当ではないと考え、「満足（妥当）」と評価した割合の順位で比較した。

前回調査と比較して順位が大きく下降（10 位以上）した施策は下記 4 施策であった。

順位が大きく下降（10 位以上）した施策	今回順位	H29 順位
【施策 7】スポーツ	28	6
【施策 1】地域で支え合う福祉活動	35	14
【施策 31】コミュニティづくり	33	13
【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動	20	9

前回調査と比較して順位が大きく上昇（10 位以上）した施策は下記 7 施策であった。

順位が大きく上昇（10 位以上）した施策	今回順位	H29 順位
【施策 29】環境負荷の低減	5	35
【施策 23】農業振興、農地保全	15	33
【施策 12】防犯対策	3	16
【施策 4】社会保障	10	22
【施策 24】学校教育	16	28
【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク	7	19 ※1
【施策 19】下水道、河川	11	21 ※2

※1：H29 は「交通事故のない安全なまちづくり」19 位、「利便性に富んだ道路ネットワークづくり」30 位。

※2：H29 の「水辺環境の整備」との比較で見ただけであり、「下水道の整備と管理」との比較では 3 位から 11 位へと順位を下げている。

【取組に対する満足度／前回調査との比較】

順位	施策名	割合(%)	H29 順位
1	【施策 5】健康づくり	80.9	2
2	【施策 30】資源の利活用	80.3	1
3	【施策 12】防犯対策	75.6	16
4	【施策 6】地域医療	75.1	8
5	【施策 29】環境負荷の低減	74.3	35
6	【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	73.5	7
7	【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク (注 1)	72.3	19 30
8	【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全 (注 2)	71.8	5 11
9	【施策 11】火災予防と消防力	71.6	4
10	【施策 4】社会保障	69.6	22
11	【施策 19】下水道、河川 (注 3)	69.1	3 21
12	【施策 18】公園	67.9	12
13	【施策 9】青少年健全育成	66.1	19
14	【施策 34】効果的、効率的な行財政経営、I C Tの利活用 (注 4)	63.0	－
15	【施策 23】農業振興、農地保全	62.5	33
16	【施策 24】学校教育	62.4	28
17	【施策 15】基地対策、基地との新たな関わり	62.1	25
18	【施策 3】障がい者の自立と社会参加	61.6	17
19	【施策 25】学校教育環境	61.5	10
20	【施策 2】高齢者福祉と社会参加	61.1	17
20	【施策 22】商業振興、観光振興	61.1	27
20	【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動	61.1	9
23	【施策 14】市民相談	60.8	14
24	【施策 17】住宅、景観	60.7	31
25	【施策 16】公共交通ネットワーク	60.6	26
26	【施策 8】子育て支援、保育環境	59.4	24
27	【施策 32】多文化共生 (注 5)	59.3	34
28	【施策 7】スポーツ	57.7	6
29	【施策 35】公共施設マネジメント (注 6)	56.8	－
30	【施策 21】労働環境	56.7	32
31	【施策 20】工業振興、企業誘致	55.7	36
32	【施策 26】生涯学習	54.1	28
33	【施策 31】コミュニティづくり	52.2	13
34	【施策 33】人権擁護、平和活動 (注 5)	51.3	34
35	【施策 1】地域で支え合う福祉活動	49.4	14
満足度平均		64.0	

(注 1) 【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク：H29 調査では「交通事故のない安全なまちづくり」と「利便性に富んだ道路ネットワークづくり」で実施。

(注 2) 【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全：H29 調査では「環境美化の充実」と「緑の保全、創出、育成」で実施。

(注 3) 【施策 19】下水道、河川：H29 調査では「下水道の整備と管理」と「水辺環境の整備」で実施。

(注 4) 【施策 34】効果的、効率的な行財政経営、I C Tの利活用：H29 調査では実施していない。

(注 5) 【施策 32】多文化共生・【施策 33】人権擁護、平和活動：H29 調査では「国際化・国際平和の促進、人権擁護のまちづくり」で実施。

(注 6) 【施策 35】公共施設マネジメント：H29 調査では実施していない。

満足度の変化(前回調査との比較)

(令和4年度調査)

施策名		順位
【施策5】健康づくり	80.9	1
【施策30】資源の利活用	80.3	2
【施策12】防犯対策	75.6	3
【施策6】地域医療	75.1	4
【施策29】環境負荷の低減	74.3	5
【施策10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	73.5	6
【施策13】交通安全対策、道路ネットワーク	72.3	7
【施策28】みどりの保全、生活環境の保全	71.8	8
【施策11】火災予防と消防力	71.6	9
【施策4】社会保障	69.6	10
【施策19】下水道、河川	69.1	11
【施策18】公園	67.9	12
【施策9】青少年健全育成	66.1	13
【施策34】効果的、効率的な行財政経営、ICTの利活用	63.0	14
【施策23】農業振興、農地保全	62.5	15
【施策24】学校教育	62.4	16
【施策15】基地対策、基地との新たな関わり	62.1	17
【施策3】障がい者の自立と社会参加	61.6	18
【施策25】学校教育環境	61.5	19
【施策2】高齢者福祉と社会参加	61.1	20
【施策22】商業振興、観光振興	61.1	20
【施策27】文化・芸術、文化財の保護活動	61.1	20
【施策14】市民相談	60.8	23
【施策17】住宅、景観	60.7	24
【施策16】公共交通ネットワーク	60.6	25
【施策8】子育て支援、保育環境	59.4	26
【施策32】多文化共生	59.3	27
【施策7】スポーツ	57.7	28
【施策35】公共施設マネジメント	56.8	29
【施策21】労働環境	56.7	30
【施策20】工業振興、企業誘致	55.7	31
【施策26】生涯学習	54.1	32
【施策31】コミュニティづくり	52.2	33
【施策33】人権擁護、平和活動	51.3	34
【施策1】地域で支え合う福祉活動	49.4	35

(平成29年度調査)

単位: %

順位	施策名	
1	【施策7】資源循環型社会の構築	69.8
2	【施策15】生き生きと暮らせる健康づくり・食育の推進	66.8
3	【施策4】下水道の整備と管理	65.4
4	【施策22】火災予防と消防力の強化	65.2
5	【施策8】環境美化の充実	63.6
6	【施策26】生涯スポーツの推進	60.9
7	【施策21】災害に強いまちづくり、防災体制の充実	60.6
8	【施策16】地域医療体制の充実	59.7
9	【施策27】文化・芸術の振興	57.8
10	【施策30】多様な教育を支える学校教育環境の整備	57.5
11	【施策1】緑の保全、創出、育成	57.1
12	【施策2】魅力ある公園づくり	56.6
13	【施策17】心のかよい合うコミュニティづくりのための支援	56.4
14	【施策9】参加と連携による地域福祉の推進	55.8
14	【施策23】安全で安心な消費生活の実現と市民相談体制の充実	55.8
16	【施策20】犯罪のないまちづくり	55.7
17	【施策10】高齢者福祉の充実と生きがいつくり	55.3
17	【施策11】障害者の自立と社会参加の促進	55.3
19	【施策13】青少年の健全育成	55.1
19	【施策19】交通事故のない安全なまちづくり	55.1
21	【施策3】水辺環境の整備	55.0
22	【施策14】社会保障制度の充実	54.1
23	【施策28】郷土文化の保護と活用	52.7
24	【施策12】子育て環境の充実	52.6
25	【施策24】基地対策の充実	52.4
26	【施策35】公共交通ネットワークの整備促進	51.3
27	【施策32】商業・観光の振興	51.2
28	【施策25】生涯学習環境・推進体制の充実	50.8
28	【施策29】心豊かな教育の推進	50.8
30	【施策36】利便性に富んだ道路ネットワークづくり	50.2
31	【施策5】良好な都市環境づくり	49.6
32	【施策34】労働環境対策の推進	45.8
33	【施策33】農業の振興	45.5
34	【施策18】国際化・国際平和の促進、人権擁護のまちづくり	45.2
35	【施策6】地球環境保全	45.1
36	【施策31】工業の振興、企業誘致の推進	39.8

■ 今回調査にはない施策

満足度を若年層（10～30 歳代）・中年層（40・50 歳代）・高年層（60 歳以上）の年齢層別に見ると、満足度の平均は高年層（65.0%）が最も高く、若年層（61.4%）が最も低かった。また、満足度が50%を下回った施策は、高年層はゼロであったのに対し、中年層では2施策、若年層では4施策であった。

【取組に対する満足度／年齢層別】

単位：％

順位	施策名	全体	若年層	中年層	高年層
1	【施策5】健康づくり	80.9	73.6	79.4	84.6
2	【施策30】資源の利活用	80.3	75.6	79.1	83.4
3	【施策12】防犯対策	75.6	71.6	75.6	77.2
4	【施策6】地域医療	75.1	72.1	72.6	77.9
5	【施策29】環境負荷の低減	74.3	70.6	74.9	76.0
6	【施策10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	73.5	72.6	71.9	75.2
7	【施策13】交通安全対策、道路ネットワーク	72.3	69.7	71.6	73.8
8	【施策28】みどりの保全、生活環境の保全	71.8	66.2	71.4	74.7
9	【施策11】火災予防と消防力	71.6	67.7	69.9	74.2
10	【施策4】社会保障	69.6	61.7	70.9	71.3
11	【施策19】下水道、河川	69.1	65.2	68.9	70.5
12	【施策18】公園	67.9	67.2	66.9	68.6
13	【施策9】青少年健全育成	66.1	69.2	67.4	64.3
14	【施策34】効果的、効率的な行財政経営、I C Tの利活用	63.0	64.7	66.4	60.1
15	【施策23】農業振興、農地保全	62.5	59.2	65.2	61.7
16	【施策24】学校教育	62.4	60.2	63.4	62.4
17	【施策15】基地対策、基地との新たな関わり	62.1	61.2	60.4	63.6
18	【施策3】障がい者の自立と社会参加	61.6	64.2	60.7	61.2
19	【施策25】学校教育環境	61.5	60.7	64.2	60.1
20	【施策2】高齢者福祉と社会参加	61.1	59.7	61.2	61.6
20	【施策22】商業振興、観光振興	61.1	58.2	63.2	60.4
20	【施策27】文化・芸術、文化財の保護活動	61.1	51.2	59.2	65.6
23	【施策14】市民相談	60.8	55.2	61.4	61.9
24	【施策17】住宅、景観	60.7	63.2	58.2	61.2
25	【施策16】公共交通ネットワーク	60.6	56.7	59.7	62.8
26	【施策8】子育て支援、保育環境	59.4	56.7	60.2	59.6
27	【施策32】多文化共生	59.3	61.2	62.2	56.9
28	【施策7】スポーツ	57.7	55.7	58.7	57.6
29	【施策35】公共施設マネジメント	56.8	56.2	57.0	56.9
30	【施策21】労働環境	56.7	56.2	57.2	56.2
31	【施策20】工業振興、企業誘致	55.7	52.7	57.7	55.0
32	【施策26】生涯学習	54.1	48.8	55.5	54.9
33	【施策31】コミュニティづくり	52.2	44.3	48.3	57.7
34	【施策33】人権擁護、平和活動	51.3	49.3	51.0	52.3
35	【施策1】地域で支え合う福祉活動	49.4	48.8	45.3	52.5
満足度平均		64.0	61.4	63.9	65.0

注）濃い網掛け／白抜き文字…満足度80%以上、淡い網掛け…満足度50%未満

満足度を定住意識別に見ると、満足度の平均は「定住」意向で 70.0%であったのに対し、「転出」意向では 47.5%と 22.5 ポイント低かった。また、「定住」意向と「転出」意向で満足度の差が 25 ポイント以上の施策は 12 施策あり、そのうち「地域医療」、「基地対策、基地との新たな関わり」、「公共交通ネットワーク」の 3 施策は「転出」意向の方が満足度が 30 ポイント以上低かった。

【取組に対する満足度／定住意識別】

単位：％

順位	施策名	全体	定住	転出	差分
1	【施策 5】健康づくり	80.9	85.6	67.5	18.1
2	【施策 30】資源の利活用	80.3	85.9	63.2	22.7
3	【施策 12】防犯対策	75.6	81.3	60.5	20.8
4	【施策 6】地域医療	75.1	81.1	50.0	31.1
5	【施策 29】環境負荷の低減	74.3	80.4	55.3	25.1
6	【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	73.5	78.8	53.5	25.3
7	【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク	72.3	77.7	58.8	18.9
8	【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全	71.8	78.3	54.4	23.9
9	【施策 11】火災予防と消防力	71.6	77.3	60.5	16.8
10	【施策 4】社会保障	69.6	74.8	50.9	23.9
11	【施策 19】下水道、河川	69.1	74.9	58.8	16.1
12	【施策 18】公園	67.9	74.9	50.0	24.9
13	【施策 9】青少年健全育成	66.1	71.1	50.9	20.2
14	【施策 34】効果的、効率的な行財政経営、I C T の利活用	63.0	69.4	55.3	14.1
15	【施策 23】農業振興、農地保全	62.5	68.0	49.1	18.9
16	【施策 24】学校教育	62.4	68.1	50.9	17.2
17	【施策 15】基地対策、基地との新たな関わり	62.1	69.7	39.5	30.2
18	【施策 3】障がい者の自立と社会参加	61.6	66.1	49.1	17.0
19	【施策 25】学校教育環境	61.5	67.3	44.7	22.6
20	【施策 2】高齢者福祉と社会参加	61.1	65.4	50.0	15.4
20	【施策 22】商業振興、観光振興	61.1	68.5	43.0	25.5
20	【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動	61.1	68.2	41.2	27.0
23	【施策 14】市民相談	60.8	67.1	42.1	25.0
24	【施策 17】住宅、景観	60.7	68.0	42.1	25.9
25	【施策 16】公共交通ネットワーク	60.6	67.7	37.7	30.0
26	【施策 8】子育て支援、保育環境	59.4	65.5	36.8	28.7
27	【施策 32】多文化共生	59.3	63.8	50.9	12.9
28	【施策 7】スポーツ	57.7	63.9	37.7	26.2
29	【施策 35】公共施設マネジメント	56.8	64.6	42.1	22.5
30	【施策 21】労働環境	56.7	62.9	38.6	24.3
31	【施策 20】工業振興、企業誘致	55.7	60.5	43.9	16.6
32	【施策 26】生涯学習	54.1	60.4	37.7	22.7
33	【施策 31】コミュニティづくり	52.2	60.0	33.3	26.7
34	【施策 33】人権擁護、平和活動	51.3	58.1	34.2	23.9
35	【施策 1】地域で支え合う福祉活動	49.4	54.0	29.8	24.2
満足度平均		64.0	70.0	47.5	

注）濃い網掛け／白抜き文字…満足度の差が 30 ポイント以上、薄い網掛け…満足度の差が 25 ポイント以上

2 取組の重要度について

取組の重要度についての回答に評価点を与えて 35 施策に順位をつけた。

重要度については、以下のように各回答に評価点を与えてスコアを算出している。

※重要度スコアの算出方法

各施策の重要度評価の回答が「重要である」場合＋4点、「やや重要である」場合＋3点、「あまり重要でない」場合＋2点、「重要でない」場合＋1点として、全ての回答を得点化し、その平均値を算出した。スコアは＋1点から＋4点の範囲で数値が算出される。なお、「わからない」と無回答は母数から除外した。

スコアの全体平均は 3.518 であり、35 施策のうち、平均スコアを上回ったのは 19 施策、平均を下回ったのは 16 施策であった。

「重要度」上位 5 施策	スコア
【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	3.792
【施策 6】地域医療	3.745
【施策 30】資源の利活用	3.731
【施策 12】防犯対策	3.717
【施策 8】子育て支援、保育環境	3.715

「重要度」下位 5 施策	スコア
【施策 33】人権擁護、平和活動	3.188
【施策 22】商業振興、観光振興	3.222
【施策 7】スポーツ	3.225
【施策 31】コミュニティづくり	3.232
【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動	3.248

前回(H29)調査では、「重要である」、「やや重要である」、「あまり重要でない」、「重要でない」の 4 つの選択肢で実施し、また取組を「知らない」場合は重要度について聴取していないことから、数値での比較は適当ではないと考え、重要度スコアの順位で比較した。

前回調査と比較して順位が大きく下降（10 位以上）した施策は下記 2 施策であった。

順位が大きく下降（10 位以上）した施策	今回順位	H29 順位
【施策 24】学校教育	25	14
【施策 11】火災予防と消防力	12	2

前回調査と比較して順位が大きく上昇（10 位以上）した施策は下記 3 施策であった。

順位が大きく上昇（10 位以上）した施策	今回順位	H29 順位
【施策 29】環境負荷の低減	13	32
【施策 19】下水道、河川	9	25 ※1
【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク	7	21 ※2

※1：H29 の「水辺環境の整備」との比較で見たものであり、「下水道の整備と管理」との比較では 8 位から 9 位へと順位を下げている。

※2：H29 の「利便性に富んだ道路ネットワークづくり」との比較で見たものであり、「交通事故のない安全なまちづくり」との比較では 1 位から 7 位へと順位を下げている。

【重要度スコア／前回調査との比較】

※「わからない」と無回答を除いているため各施策の回答母数は異なる。

順位	施策名	スコア	H29 順位
1	【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	3.792	3
2	【施策 6】地域医療	3.745	4
3	【施策 30】資源の利活用	3.731	5
4	【施策 12】防犯対策	3.717	7
5	【施策 8】子育て支援、保育環境	3.715	6
6	【施策 5】健康づくり	3.712	10
7	【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク (注1)	3.678	1 21
8	【施策 9】青少年健全育成	3.657	15
9	【施策 19】下水道、河川 (注2)	3.647	8 25
10	【施策 16】公共交通ネットワーク	3.637	17
11	【施策 3】障がい者の自立と社会参加	3.635	13
12	【施策 11】火災予防と消防力	3.631	2
13	【施策 29】環境負荷の低減	3.607	32
14	【施策 2】高齢者福祉と社会参加	3.596	10
15	【施策 15】基地対策、基地との新たな関わり	3.581	19
16	【施策 25】学校教育環境	3.573	9
17	【施策 20】工業振興、企業誘致	3.564	18
18	【施策 4】社会保障	3.562	12
19	【施策 34】効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用 (注3)	3.529	－
20	【施策 21】労働環境	3.517	20
21	【施策 1】地域で支え合う福祉活動	3.509	16
22	【施策 35】公共施設マネジメント (注4)	3.507	－
23	【施策 14】市民相談	3.490	24
24	【施策 23】農業振興、農地保全	3.476	23
25	【施策 24】学校教育	3.442	14
26	【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全 (注5)	3.424	22 33
27	【施策 32】多文化共生 (注6)	3.395	36
28	【施策 17】住宅、景観	3.383	26
29	【施策 18】公園	3.299	27
30	【施策 26】生涯学習	3.260	29
31	【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動	3.248	34
32	【施策 31】コミュニティづくり	3.232	30
33	【施策 7】スポーツ	3.225	31
34	【施策 22】商業振興、観光振興	3.222	28
35	【施策 33】人権擁護、平和活動 (注6)	3.188	36
重要度スコア平均		3.518	

(注1)【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク：H29 調査では「交通事故のない安全なまちづくり」と「利便性に富んだ道路ネットワークづくり」で実施。

(注2)【施策 19】下水道、河川：H29 調査では「下水道の整備と管理」と「水辺環境の整備」で実施。

(注3)【施策 34】効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用：H29 調査では実施していない。

(注4)【施策 35】公共施設マネジメント：H29 調査では実施していない。

(注5)【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全：H29 調査では「環境美化の充実」と「緑の保全、創出、育成」で実施。

(注6)【施策 32】多文化共生・【施策 33】人権擁護、平和活動：H29 調査では「国際化・国際平和の促進、人権擁護のまちづくり」で実施。

重要度の変化(前回調査との比較)

(令和4年度調査)

施策名	順位
【施策10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	3.792 1
【施策6】地域医療	3.745 2
【施策30】資源の利活用	3.731 3
【施策12】防犯対策	3.717 4
【施策8】子育て支援、保育環境	3.715 5
【施策5】健康づくり	3.712 6
【施策13】交通安全対策、道路ネットワーク	3.678 7
【施策9】青少年健全育成	3.657 8
【施策19】下水道、河川	3.647 9
【施策16】公共交通ネットワーク	3.637 10
【施策3】障がい者の自立と社会参加	3.635 11
【施策11】火災予防と消防力	3.631 12
【施策29】環境負荷の低減	3.607 13
【施策2】高齢者福祉と社会参加	3.596 14
【施策15】基地対策、基地との新たな関わり	3.581 15
【施策25】学校教育環境	3.573 16
【施策20】工業振興、企業誘致	3.564 17
【施策4】社会保障	3.562 18
【施策34】効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用	3.529 19
【施策21】労働環境	3.517 20
【施策1】地域で支え合う福祉活動	3.509 21
【施策35】公共施設マネジメント	3.507 22
【施策14】市民相談	3.490 23
【施策23】農業振興、農地保全	3.476 24
【施策24】学校教育	3.442 25
【施策28】みどりの保全、生活環境の保全	3.424 26
【施策32】多文化共生	3.395 27
【施策17】住宅、景観	3.383 28
【施策18】公園	3.299 29
【施策26】生涯学習	3.260 30
【施策27】文化・芸術、文化財の保護活動	3.248 31
【施策31】コミュニティづくり	3.232 32
【施策7】スポーツ	3.225 33
【施策22】商業振興、観光振興	3.222 34
【施策33】人権擁護、平和活動	3.188 35

(平成29年度調査)

単位: 点数

順位	施策名	順位
1	【施策19】交通事故のない安全なまちづくり	3.530
2	【施策22】火災予防と消防力の強化	3.511
3	【施策21】災害に強いまちづくり、防災体制の充実	3.505
4	【施策16】地域医療体制の充実	3.502
5	【施策7】資源循環型社会の構築	3.492
6	【施策12】子育て環境の充実	3.474
7	【施策20】犯罪のないまちづくり	3.472
8	【施策4】下水道の整備と管理	3.468
9	【施策30】多様な教育を支える学校教育環境の整備	3.435
10	【施策15】生き生きと暮らせる健康づくり・食育の推進	3.410
10	【施策10】高齢者福祉の充実と生きがいつくり	3.410
12	【施策14】社会保障制度の充実	3.404
13	【施策11】障害者の自立と社会参加の促進	3.403
14	【施策29】心豊かな教育の推進	3.399
15	【施策13】青少年の健全育成	3.394
16	【施策9】参加と連携による地域福祉の推進	3.357
17	【施策35】公共交通ネットワークの整備促進	3.353
18	【施策31】工業の振興、企業誘致の推進	3.308
19	【施策24】基地対策の充実	3.287
20	【施策34】労働環境対策の推進	3.283
21	【施策36】利便性に富んだ道路ネットワークづくり	3.230
22	【施策8】環境美化の充実	3.214
23	【施策33】農業の振興	3.206
24	【施策23】安全で安心な消費生活の実現と市民相談体制の充実	3.183
25	【施策3】水辺環境の整備	3.107
26	【施策5】良好な都市環境づくり	3.106
27	【施策2】魅力ある公園づくり	3.083
28	【施策32】商業・観光の振興	3.034
29	【施策25】生涯学習環境・推進体制の充実	3.014
30	【施策17】心のかよい合うコミュニティづくりのための支援	3.010
31	【施策26】生涯スポーツの推進	3.009
32	【施策6】地球環境保全	3.005
33	【施策1】緑の保全、創出、育成	3.002
34	【施策27】文化・芸術の振興	2.964
35	【施策28】郷土文化の保護と活用	2.875
36	【施策18】国際化・国際平和の促進、人権擁護のまちづくり	2.828

今回調査にはない施策

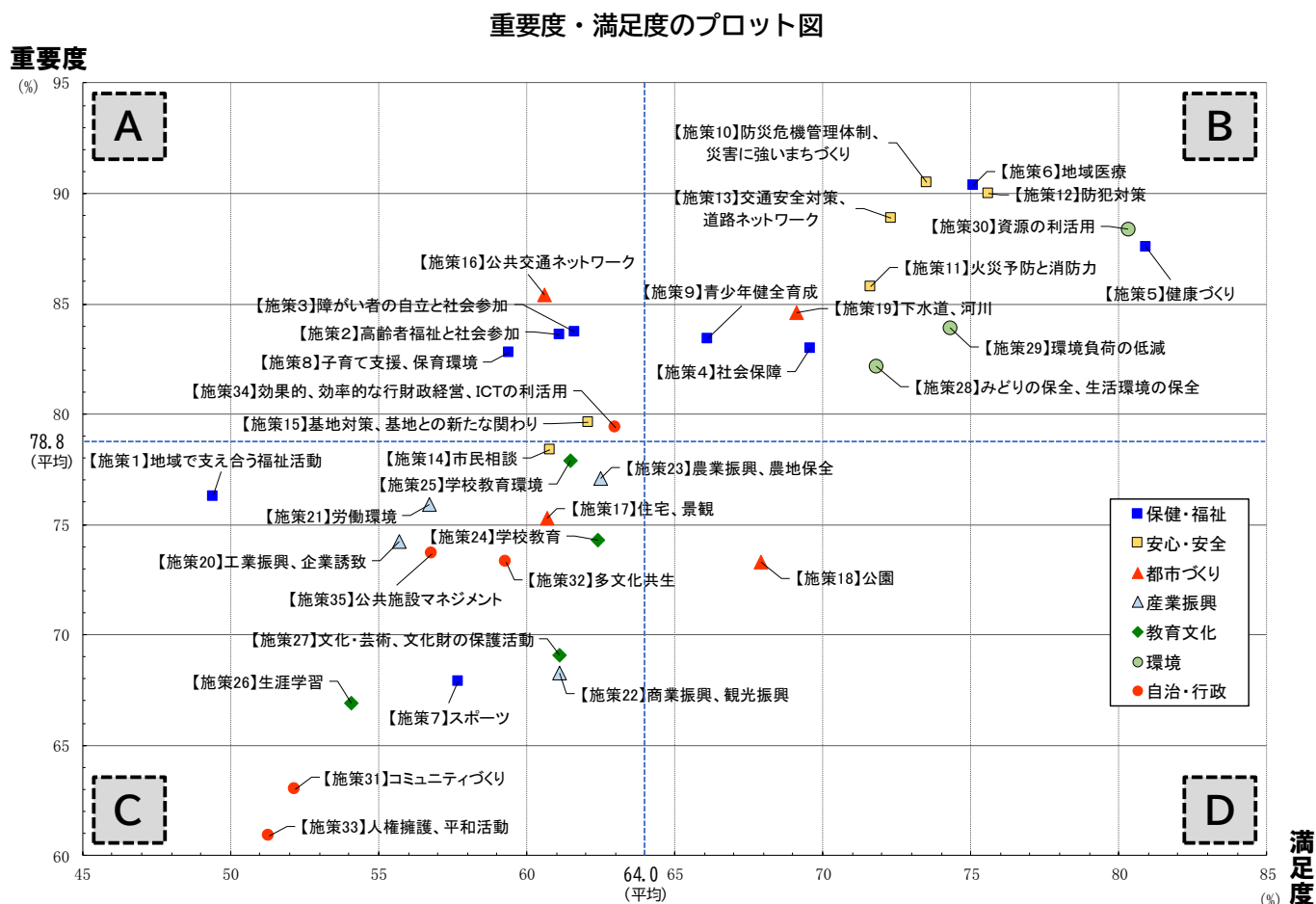
3 重要度と満足度のクロス分析

市民から見た施策の位置づけを把握するために、各施策に対する重要度（「重要である」と「やや重要である」の合計）と満足度（「満足」と「やや満足」の合計）の2つの指標を用いた。

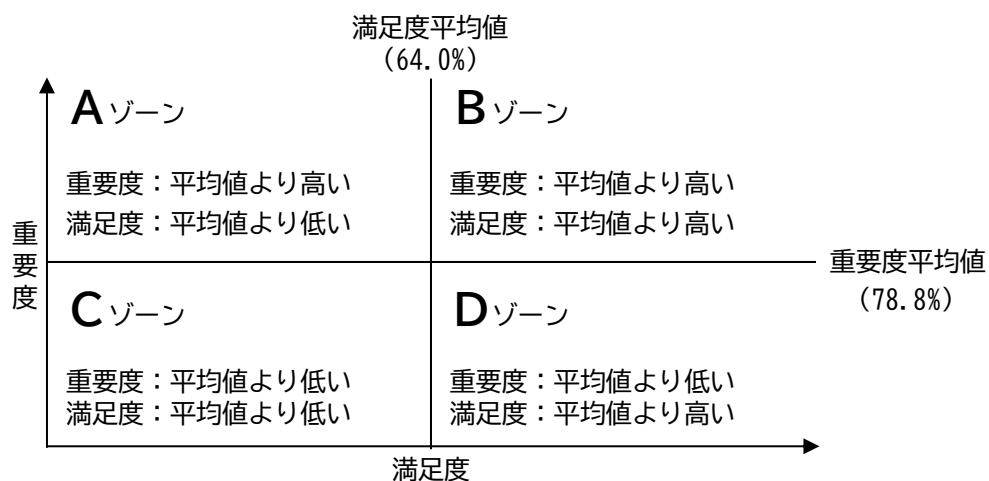
単位：％

施策名	重要度	満足度
【施策 1】地域で支え合う福祉活動	76.3	49.4
【施策 2】高齢者福祉と社会参加	83.6	61.1
【施策 3】障がい者の自立と社会参加	83.7	61.6
【施策 4】社会保障	83.0	69.6
【施策 5】健康づくり	87.6	80.9
【施策 6】地域医療	90.4	75.1
【施策 7】スポーツ	67.9	57.7
【施策 8】子育て支援、保育環境	82.8	59.4
【施策 9】青少年健全育成	83.4	66.1
【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	90.5	73.5
【施策 11】火災予防と消防力	85.8	71.6
【施策 12】防犯対策	90.0	75.6
【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク	88.9	72.3
【施策 14】市民相談	78.4	60.8
【施策 15】基地対策、基地との新たな関わり	79.6	62.1
【施策 16】公共交通ネットワーク	85.4	60.6
【施策 17】住宅、景観	75.3	60.7
【施策 18】公園	73.3	67.9
【施策 19】下水道、河川	84.6	69.1
【施策 20】工業振興、企業誘致	74.2	55.7
【施策 21】労働環境	75.9	56.7
【施策 22】商業振興、観光振興	68.3	61.1
【施策 23】農業振興、農地保全	77.1	62.5
【施策 24】学校教育	74.3	62.4
【施策 25】学校教育環境	77.9	61.5
【施策 26】生涯学習	66.9	54.1
【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動	69.1	61.1
【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全	82.2	71.8
【施策 29】環境負荷の低減	83.9	74.3
【施策 30】資源の利活用	88.4	80.3
【施策 31】コミュニティづくり	63.0	52.2
【施策 32】多文化共生	73.3	59.3
【施策 33】人権擁護、平和活動	60.9	51.3
【施策 34】効果的、効率的な行財政経営、ICTの利活用	79.4	63.0
【施策 35】公共施設マネジメント	73.7	56.8

重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、35 施策の回答結果をプロットした。



35 施策の重要度と満足度それぞれの平均値（重要度平均値 78.8%、満足度平均値 64.0%）によって分けられた4つのグループについて、下記のように捉えることができる。



Aゾーン：重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い施策【重点改善施策】

市民は重要施策であると認識しており、満足度を高めていく必要があることから、従来の施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

- | | |
|---------|-----------------------|
| 【施策 2】 | 高齢者福祉と社会参加 |
| 【施策 3】 | 障がい者の自立と社会参加 |
| 【施策 8】 | 子育て支援、保育環境 |
| 【施策 15】 | 基地対策、基地との新たな関わり |
| 【施策 16】 | 公共交通ネットワーク |
| 【施策 34】 | 効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用 |

Bゾーン：重要度、満足度ともに平均値より高い施策【重点維持施策】

市民は重要施策であると認識しており、現状にある程度満足しているが、今後も現在の水準を維持、またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

- | | |
|---------|---------------------|
| 【施策 4】 | 社会保障 |
| 【施策 5】 | 健康づくり |
| 【施策 6】 | 地域医療 |
| 【施策 9】 | 青少年健全育成 |
| 【施策 10】 | 防災危機管理体制、災害に強いまちづくり |
| 【施策 11】 | 火災予防と消防力 |
| 【施策 12】 | 防犯対策 |
| 【施策 13】 | 交通安全対策、道路ネットワーク |
| 【施策 19】 | 下水道、河川 |
| 【施策 28】 | みどりの保全、生活環境の保全 |
| 【施策 29】 | 環境負荷の低減 |
| 【施策 30】 | 資源の利活用 |

Cゾーン：重要度、満足度ともに平均値より低い施策【改善・検討施策】

市民は重要性を認知しておらず、現状では満足もしていないことから、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

- | | |
|---------|----------------|
| 【施策 1】 | 地域で支え合う福祉活動 |
| 【施策 7】 | スポーツ |
| 【施策 14】 | 市民相談 |
| 【施策 17】 | 住宅、景観 |
| 【施策 20】 | 工業振興、企業誘致 |
| 【施策 21】 | 労働環境 |
| 【施策 22】 | 商業振興、観光振興 |
| 【施策 23】 | 農業振興、農地保全 |
| 【施策 24】 | 学校教育 |
| 【施策 25】 | 学校教育環境 |
| 【施策 26】 | 生涯学習 |
| 【施策 27】 | 文化・芸術、文化財の保護活用 |
| 【施策 31】 | コミュニティづくり |
| 【施策 32】 | 多文化共生 |
| 【施策 33】 | 人権擁護、平和活動 |
| 【施策 35】 | 公共施設マネジメント |

Dゾーン重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高い項目【維持施策】

市民は重要であるとは認識していないが、取組には満足していることから、現在の水準を維持できるように着実に取組を推進していくとともに、施策の重要性についてさらにアピールしていく必要がある。

【施策 18】 公園

4 調査結果の考察

市民意識の調査結果では、綾瀬市の暮らしやすさについては全体のほぼ8割が「住みよい」と回答している。「住みよい」は前回調査（H29）と比較して4.7ポイント上昇しており、平成24年度以降上昇が続いている。また、定住意識については全体の4分の3近くが「定住したい」と回答しており、前回調査とほぼ同じ割合であった。一方で、「転出したい」との回答は平成14年度以降減少が続いており、今回初めて1割を下回った。

35施策については、「満足度」、「重要度」の調査を行った。

満足度評価では、満足度の高かった上位3施策は「健康づくり」、「資源の利活用」、「防犯対策」であり、下位3施策は「地域で支え合う福祉活動」、「人権擁護、平和活動」、「コミュニティづくり」であった。

若年層（10～30歳代）・中年層（40・50歳代）・高年層（60歳以上）の年齢層別に見ると、満足度の平均は高年層（65.0%）が最も高く、若年層（61.4%）が最も低かった。また、満足度が50%を下回った施策は高年層ではゼロであったのに対し、中年層では2施策、若年層では4施策と、低い年齢層ほど多かった。

定住意識別に見ると、満足度の平均は定住意向者で70.0%であったのに対し、転出意向者では47.5%と22.5ポイントの差があった。また、定住意向者と転出意向者で満足度の差が30ポイント以上の施策は、「地域医療」、「基地対策、基地との新たな関わり」、「公共交通ネットワーク」の3施策であった。これらの転出意向者の満足度が低い施策の取組を強化していくことが、定住意向の上昇につながると考えることができる。

満足度評価の「不満」の理由（自由記述）では、「知らなかった」や「PR不足」といった意見が多く、多くの施策で見られた。また、満足度評価で「わからない」という回答が多く見られた（35施策の平均26.3%、30%以上が13施策あり、うち2施策は40%以上）のも、取組を知らなかったことが理由となっているケースがあることが予想される。このことから、市民に対し取組について積極的に周知する必要があるとあり、効果的な広報・PR方法の工夫が求められる。

重要度評価では、重要度スコア（16ページ参照）の上位3施策は「防災危機管理体制、災害に強いまちづくり」、「地域医療」、「資源の利活用」であり、下位3施策は「人権擁護、平和活動」、「商業振興、観光振興」、「スポーツ」であった。

「重要度」と「満足度」のクロス分析では、最優先で取り組むべき【重要改善施策】に分類されたのは、「高齢者福祉と社会参加」、「障がい者の自立と社会参加」、「子育て支援、保育環境」、「基地対策、基地との新たな関わり」、「公共交通ネットワーク」、「効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用」の6施策であった。これらは重要度が高いと認識されているものの満足度は相対的に低いことから、満足度を高めていくために施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

Ⅲ 調査結果（満足度・重要度）

Ⅲ 調査結果（満足度・重要度）

ここでは、『総合計画2030』における「福祉・保健」「安全・安心」「都市づくり」「産業振興」「教育・文化」「環境」「自治・行政」の7つの分野をもとにした35施策についてのアンケート調査結果を掲載している。満足度評価、重要度評価のそれぞれについて、調査結果を性別、年代別に掲載した。

また、満足度評価では、「やや不満」「不満」と回答した人に不満の理由を自由記述形式で聴取しており、その中から主な意見を掲載した。

1 福祉・保健

(1)【施策1】地域で支え合う福祉活動

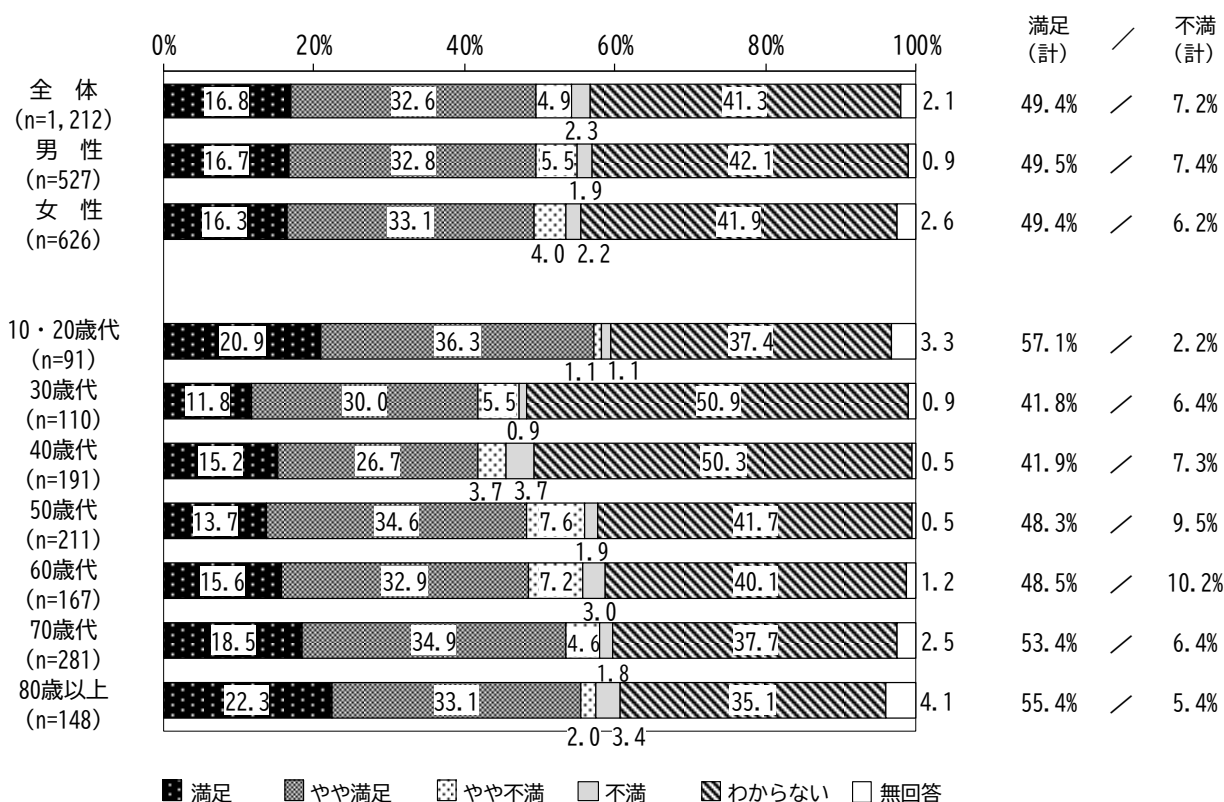
施策概要：福祉活動団体を支援するため、福祉支援団体交流室の利用促進やコーディネーターによる相談対応を行っています。また、地域の移動困難者のために活動している住民参加型移動支援団体や福祉有償運送団体の活動を支援するため、ワゴン車の貸出や補助金の交付等を行っています。

取組に対する満足度は、「わからない」が41.3%と最も多く、「やや満足」が32.6%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は49.4%とほぼ5割であった。

満足度の順位は、35 施策の中で 35 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「10・20 歳代」（57.1%）、「80 歳以上」（55.4%）、「70 歳代」（53.4%）で5割を超えているが、「30 歳代」（41.8%）、「40 歳代」（41.9%）では4割程度と低く、「わからない」が5割を超えている。



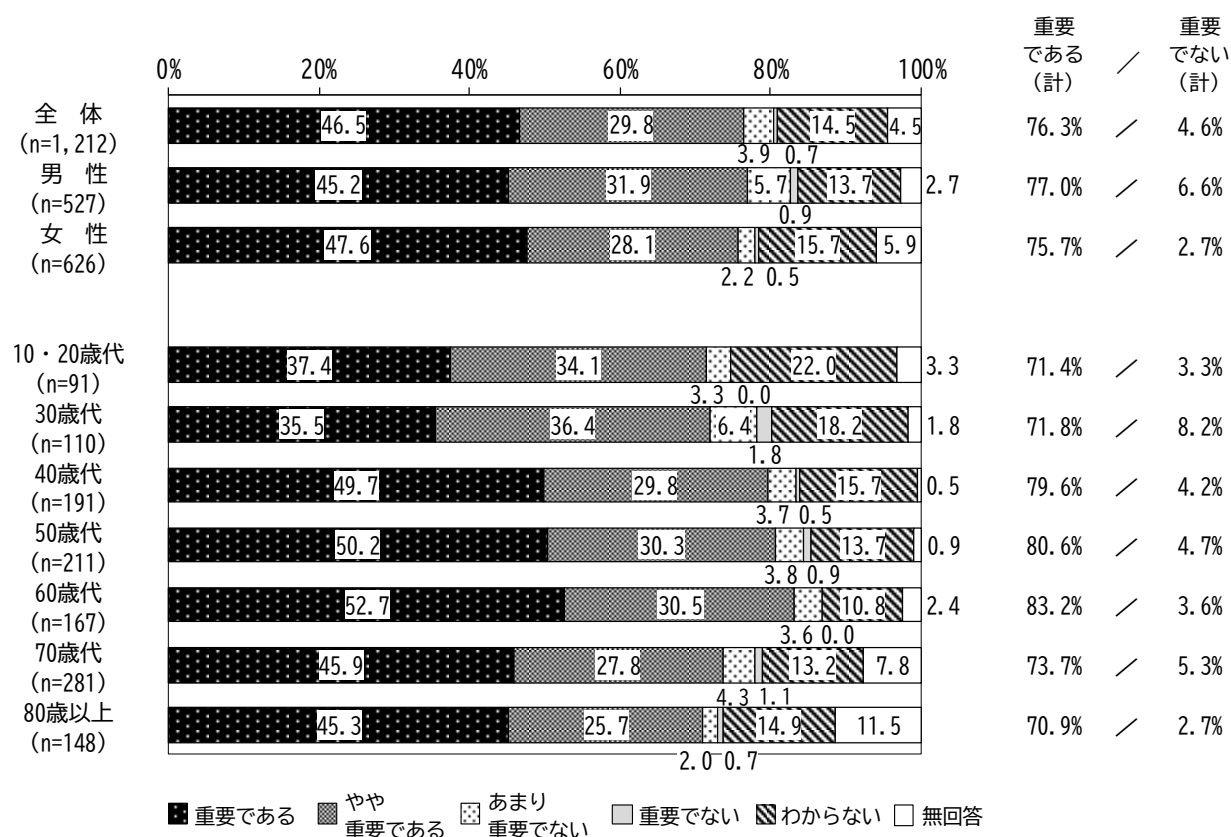
【施策1】地域で支え合う福祉活動 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・活動内容のアナウンスが少なく、ワゴン車の貸出や補助金などがあることをこのアンケートで知った。
- ・福祉活動団体についてあまり認識がない。広報誌などでもっと扱ってほしい。
- ・移動困難者を支援することが、ワゴン・補助金だけで満足とは思えない。これだけで終わりではなく、常に何が必要か、あるいはより良いサービスを模索する進化するべきと考えます。
- ・支援活動は満足だが、支援していることのアピールが弱く、不満である。
- ・小園団地のような所はバスが通っているので必要なしとされているのか、買い物支援がない。必要としている高齢者は結構いるのではないかな？

取組の重要度は、「重要である」が46.5%と最も多く、「やや重要である」が29.8%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は76.3%と7割台半ばとなっている。重要度のスコアは3.509で、35施策の中で21位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「60歳代」（83.2%）と「50歳代」（80.6%）で8割を超えているが、「80歳以上」（70.9%）、「10・20歳代」（71.4%）、「30歳代」（71.8%）では7割程度と低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

(2)【施策2】高齢者福祉と社会参加

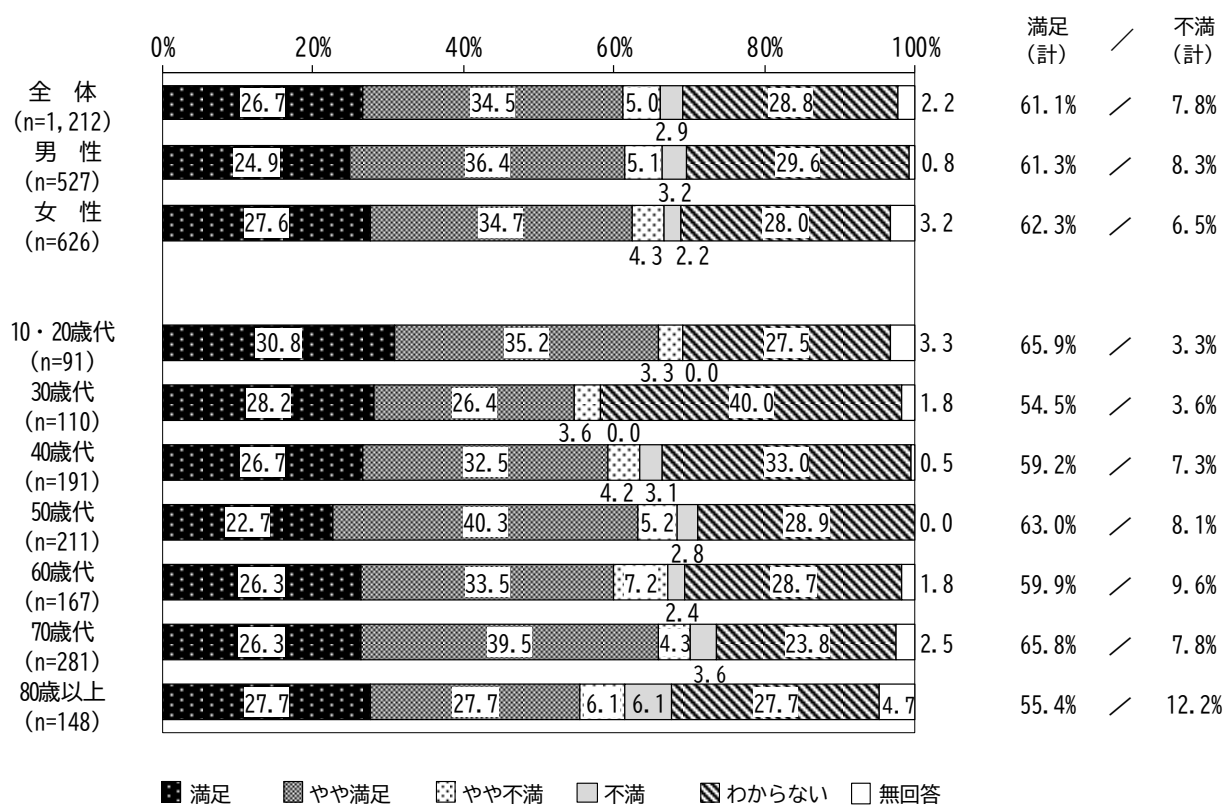
施策概要：介護保険制度をはじめ、高齢者が自立した生活を送ることができるよう、緊急時にボタン一つで救急要請を行うことができるほか、随時相談に応じてもらえる機能のついた緊急通報機器の貸与などの福祉サービスを提供しております。また、仕事や趣味サークルなど様々な活動を紹介するアクティブ・シニア応援窓口を設置し、高齢者の社会参加を促進しております。

取組に対する満足度は、「やや満足」が34.5%と最も多く、「わからない」が28.8%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は61.1%と約6割であった。

満足度の順位は、35施策の中で20位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「10・20歳代」（65.9%）、「70歳代」（65.8%）、「50歳代」（63.0%）で6割を超えているが、「30歳代」（54.5%）、「80歳以上」（55.4%）では5割台半ばと低い。



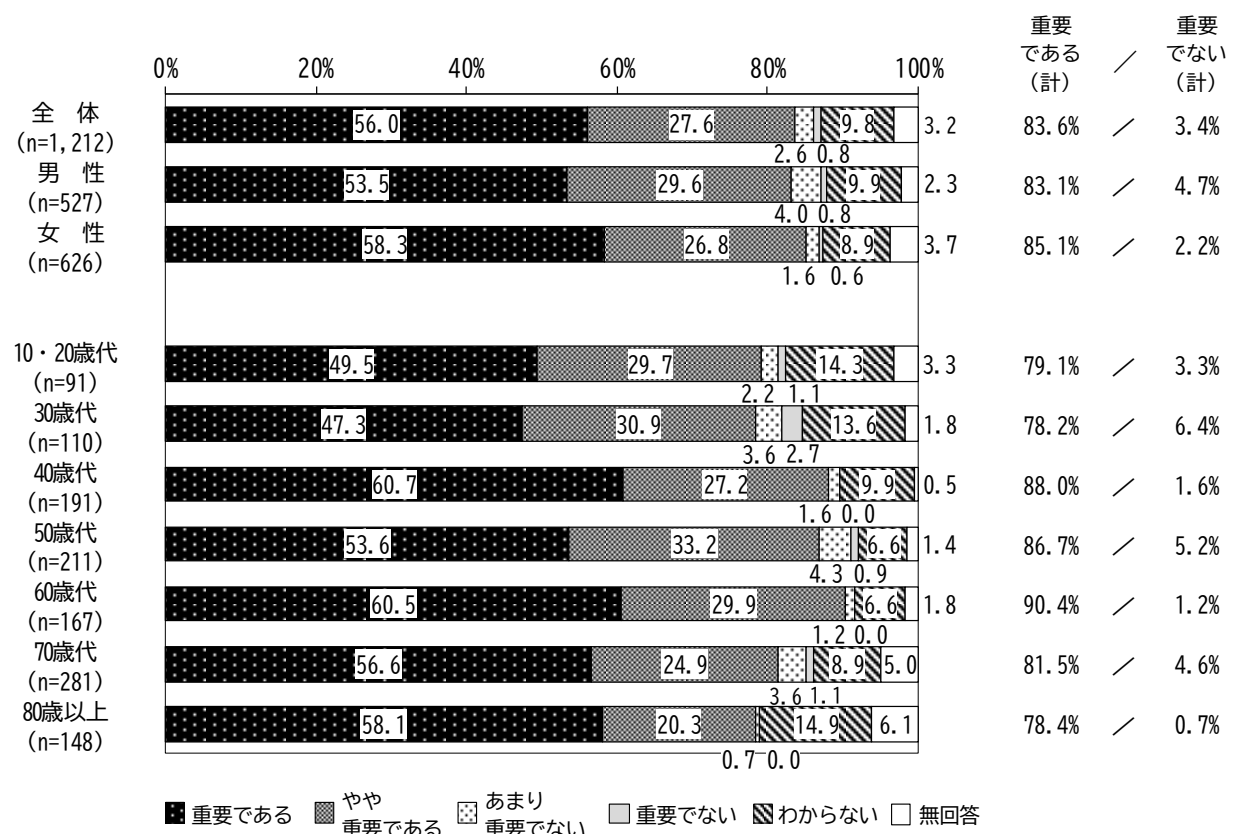
【施策2】高齢者福祉と社会参加 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・この取り組み内容が住民に周知されていない。
- ・通報機器は緊急時に本当に役に立つのか疑問。応援窓口は効果は限定的だと思う。
- ・高齢老福祉の取組方向性が間違っている。施設を作ることや生活を支える方へ取組して欲しい。
- ・「緊急通報機器の貸与」は、貸出はどのように行っているのか。
- ・通報機器の貸出は申請が必要なのか？一人暮らしの方へ全員貸与してほしい。
- ・相談窓口が分からない。アクティブシニア、若い人には理解できるかもしれないが…、分かりやすい言葉で表現を。

取組の重要度は、「重要である」が 56.0%と最も多く、「やや重要である」が 27.6%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 83.6%と8割を超えた。
重要度のスコアは 3.596 で、35 施策の中で 14 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】では大きな差は見られなかったが、女性の方が「重要である」が 4.8 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「60 歳代」が 90.4%と最も高く、「40 歳代」（88.0%）、
「50 歳代」（86.7%）でも 8 割台後半となっている。



重要度と満足度のクロス分析では、**Aゾーン【重点改善施策】**に分類され、重要施策であると認識されており、満足度を高めていく必要があることから、従来の施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

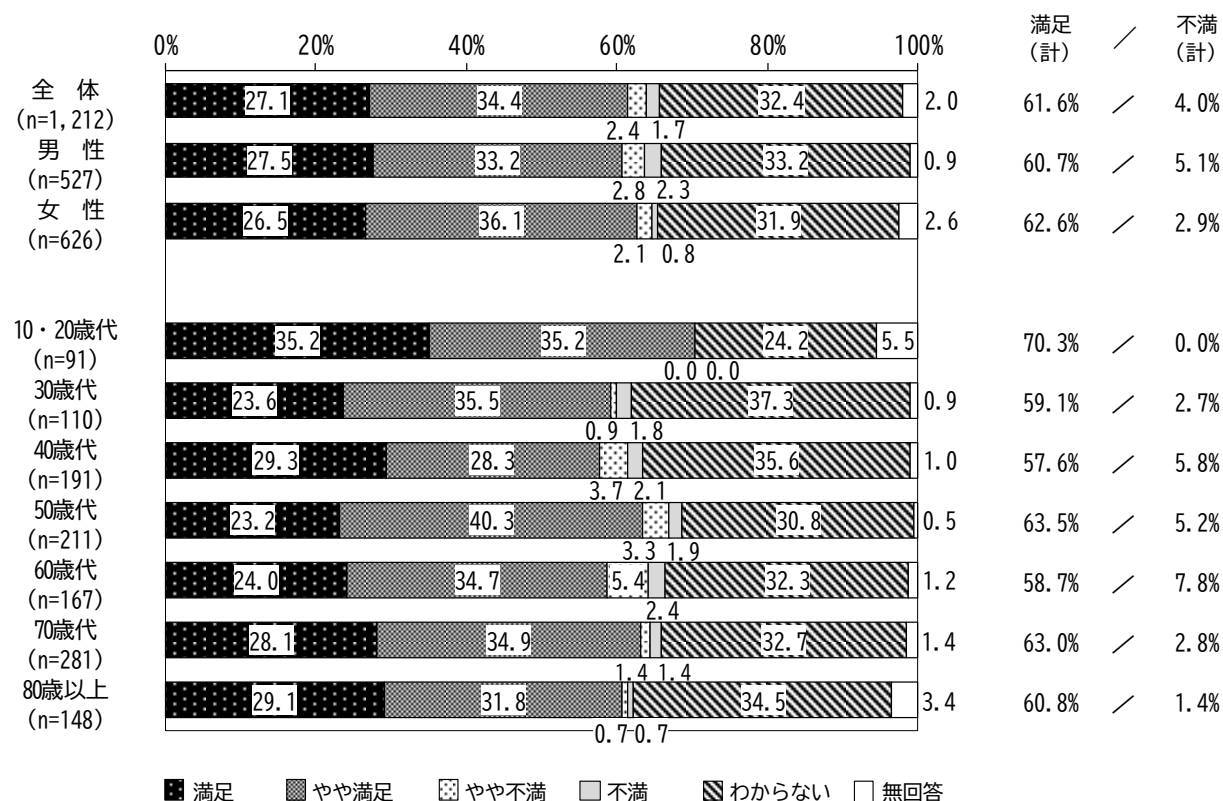
(3)【施策3】障がい者の自立と社会参加

施策概要：障がい者が自立できるよう、社会福祉施設等への交通費の助成や在宅福祉サービスの充実などを行っています。また、重度障がい(児)者への医療費負担の一部助成など経済的な支援を行うほか、もみの木園では、療育が必要な就学前の児童の生活習慣の自立・機能回復の訓練等を行っています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が34.4%と最も多く、「わからない」が32.4%と続いている。
【満足(計)】(「満足」と「やや満足」の合計)は61.6%と約6割であった。
満足度の順位は、35施策の中で18位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足(計)】は「10・20歳代」(70.3%)で7割を超えているが、「40歳代」(57.6%)、「60歳代」(58.7%)、「30歳代」(59.1%)では6割を下回っている。



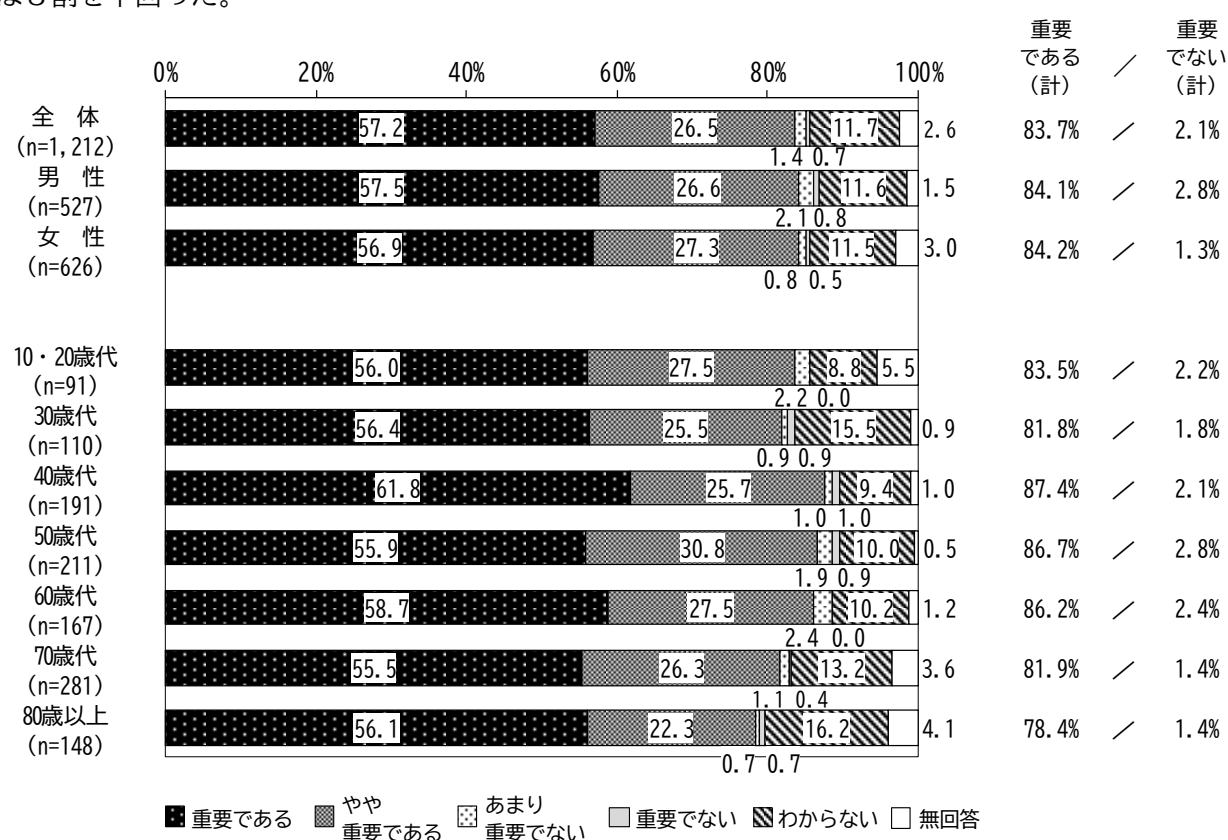
【施策3】障がい者の自立と社会参加 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・活動内容が市民にあまり知られていない。当事者と市のみの活動にみられる。
- ・障がいがある方にとっても安心して住める綾瀬を実現すべきなので、さらに手厚い支援をすべきである。
- ・就学前でも色々な療育が必要だと思う。学童に対しての予約等の日数がかかりすぎではないかと思いました。
- ・他の市町村に比べ経済支援が低い。
- ・実際に使わせていただいているが負担が大きく、もう少し何とかしてほしい。
- ・綾瀬に転入してきた人から、もみの木園以外の療育施設の紹介などパンフレットがあるといいと話していたので作ってほしい。
- ・もみの木園以外の選択肢も増やしてほしい。
- ・活動・実績が見えない。

取組の重要度は、「重要である」が 57.2%と最も多く、「やや重要である」が 26.5%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 83.7%と 8 割を超えた。
重要度のスコアは 3.635 で、35 施策の中で 11 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「40 歳代」（87.4%）で 9 割に近く、「50 歳代」（86.7%）、「60 歳代」（86.2%）でも 8 割台半ばとなっている。一方で、「80 歳以上」（78.4%）では 8 割を下回った。



重要度と満足度のクロス分析では、**Aゾーン【重点改善施策】**に分類され、重要施策であると認識されており、満足度を高めていく必要があることから、従来の施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

(4)【施策4】社会保障

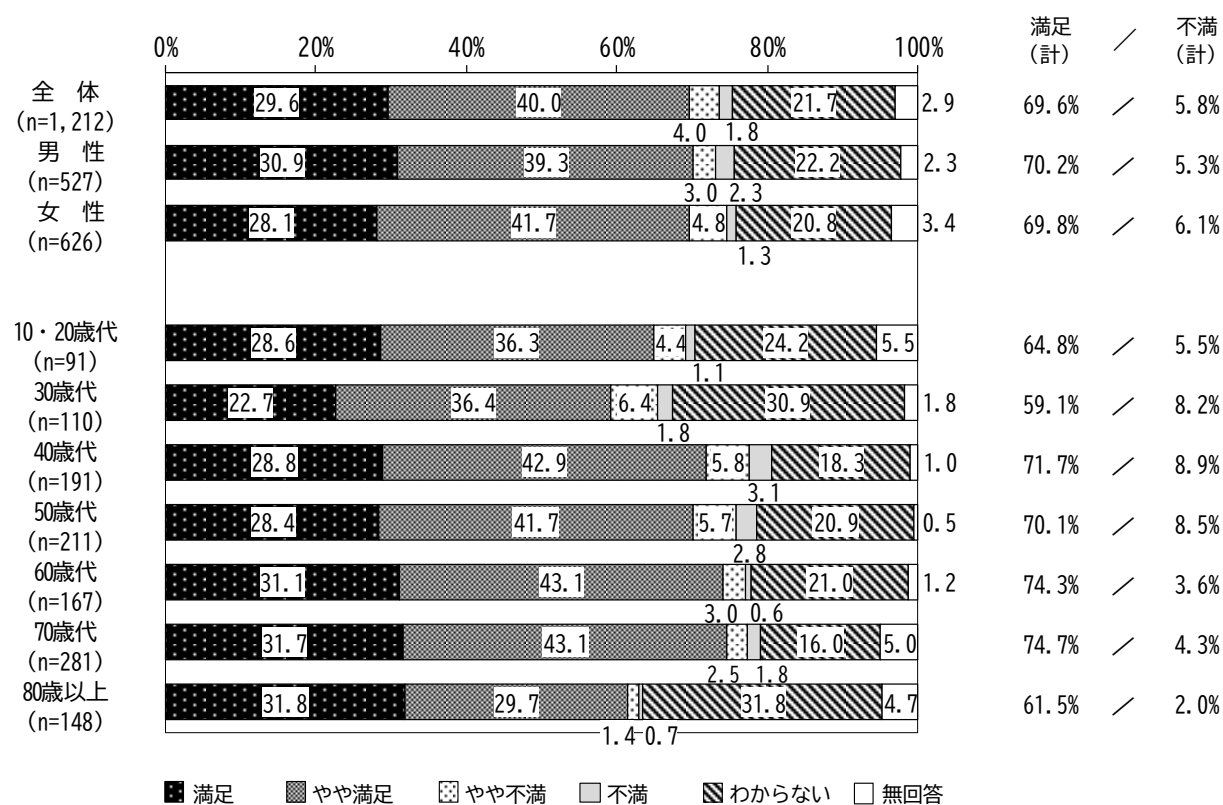
施策概要：市民の生活習慣病を予防するため、**特定健康診査**を実施し、40 歳から 74 歳までの方で、**血圧・血糖・脂質の値が基準値より高い方には、保健師と管理栄養士が受診勧奨**を行い、**生活習慣の改善と感染症における重症化のリスクについて助言**を行っています。また、**貧困の連鎖防止のため、生活困窮世帯に対する学習支援**などを行っています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が40.0%と最も多く、「満足」が29.6%と続いている。【満足(計)】(「満足」と「やや満足」の合計)は69.6%とほぼ7割であった。

満足度の順位は、35 施策の中で 10 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足(計)】は「70 歳代」(74.7%)、「60 歳代」(74.3%)で7割台半ばとなっているが、「30 歳代」(59.1%)、「80 歳以上」(61.5%)では6割程度と低い。



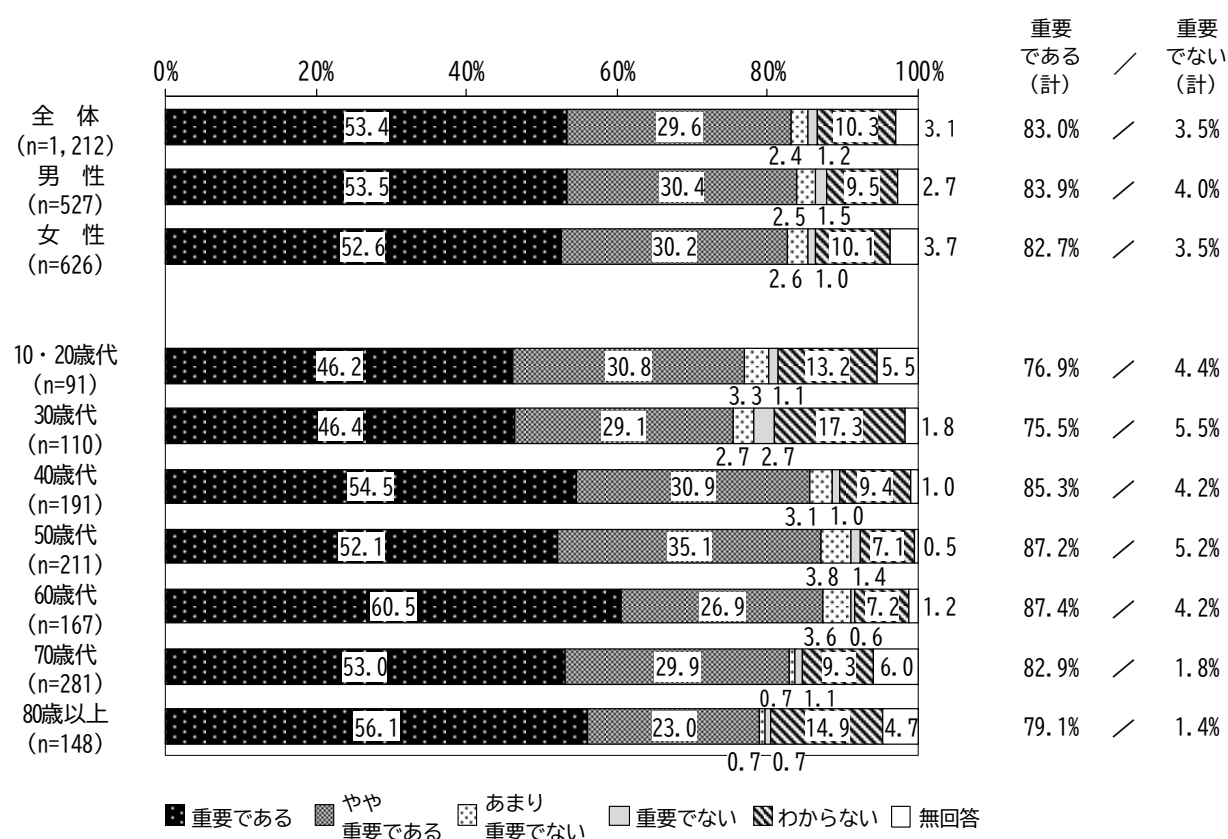
【施策4】社会保障 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・生活習慣病を患っていますが、このような制度があることを周知されていないから。
- ・40歳～74歳の理由が？「50～制限なし」にして欲しい。
- ・助言のみでは改善されないと思う。するのであれば指導が必要。
- ・病気からではなく運動不足や不摂生などが理由であれば、もともとの意識も低く、税金を使って勧奨しなくても良いと思うから。
- ・方向性は良いと思いますが、「福祉・保健」等のわかりやすい保存版冊子がほしい。
- ・生活困窮世帯への施策は別枠で考えるべき内容で、社会保障の大枠の中で他の事と一緒に考える事ではないと考えます。
- ・学習支援に対してどのような取り組み、対象など、もっとわかりやすく提示してほしい。

取組の重要度は、「重要である」が53.4%と最も多く、「やや重要である」が29.6%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は83.0%と8割を超えている。
重要度のスコアは3.562で、35施策の中で18位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「60歳代」（87.4%）、「50歳代」（87.2%）では9割に近いが、「30歳代」（75.5%）、「10・20歳代」（76.9%）では7割台半ばと低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

(5)【施策5】健康づくり

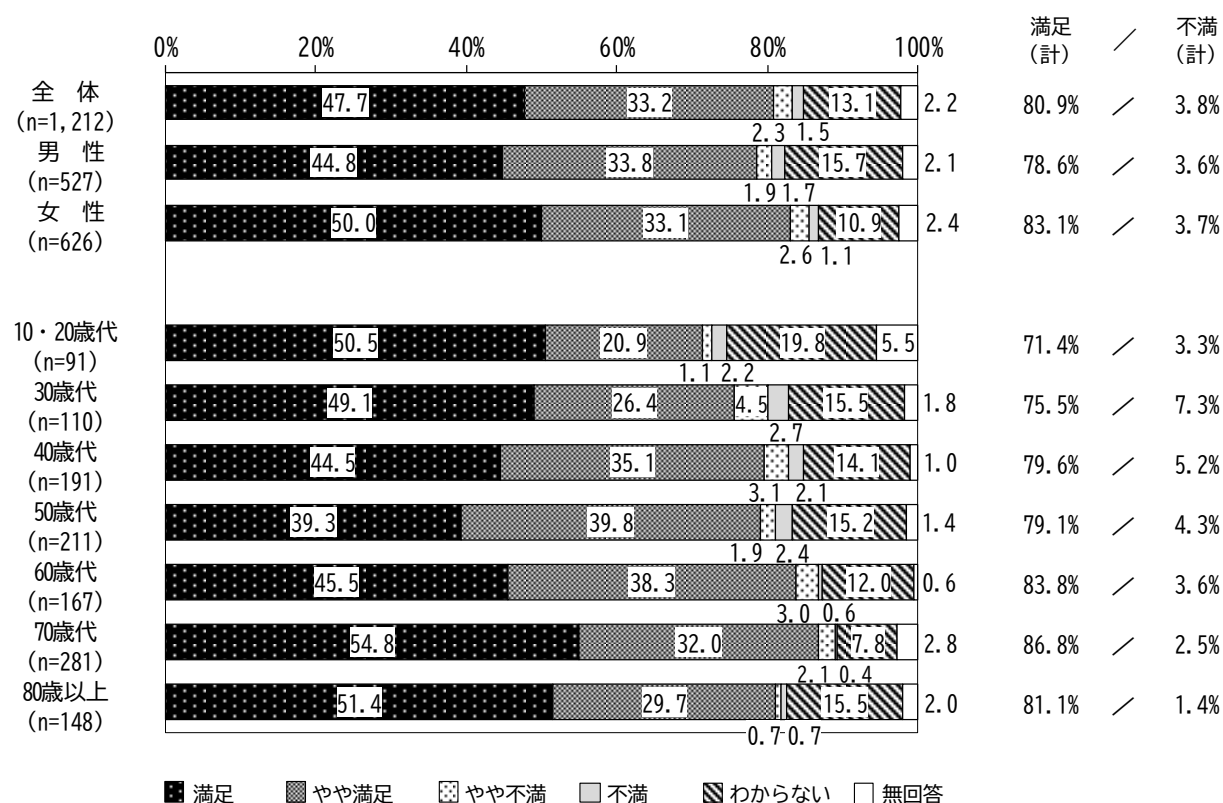
施策概要：健康管理や疾病予防を図るため、**健康的な食生活や行動習慣の定着化、がんの早期発見・早期治療を目指した検診体制の充実、乳幼児健診**に取り組むほか、1歳から2歳未満を対象とした**おたふくかぜワクチン予防接種費用の助成**、高齢者の肺炎予防にかかわる**高齢者肺炎球菌予防接種費用の助成**を実施しています。

取組に対する満足度は、「満足」が47.7%と最も多く、「やや満足」が33.2%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は80.9%と約8割であった。

満足度の順位は、35施策の中で1位であった。

性別見ると、【満足（計）】は女性の方が4.5ポイント高く、半数が「満足」と回答している。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70歳代」で86.8%と最も高く、「60歳代」（83.8%）、「80歳以上」（81.1%）でも8割を超えているが、「10・20歳代」（71.4%）では約7割と低い。



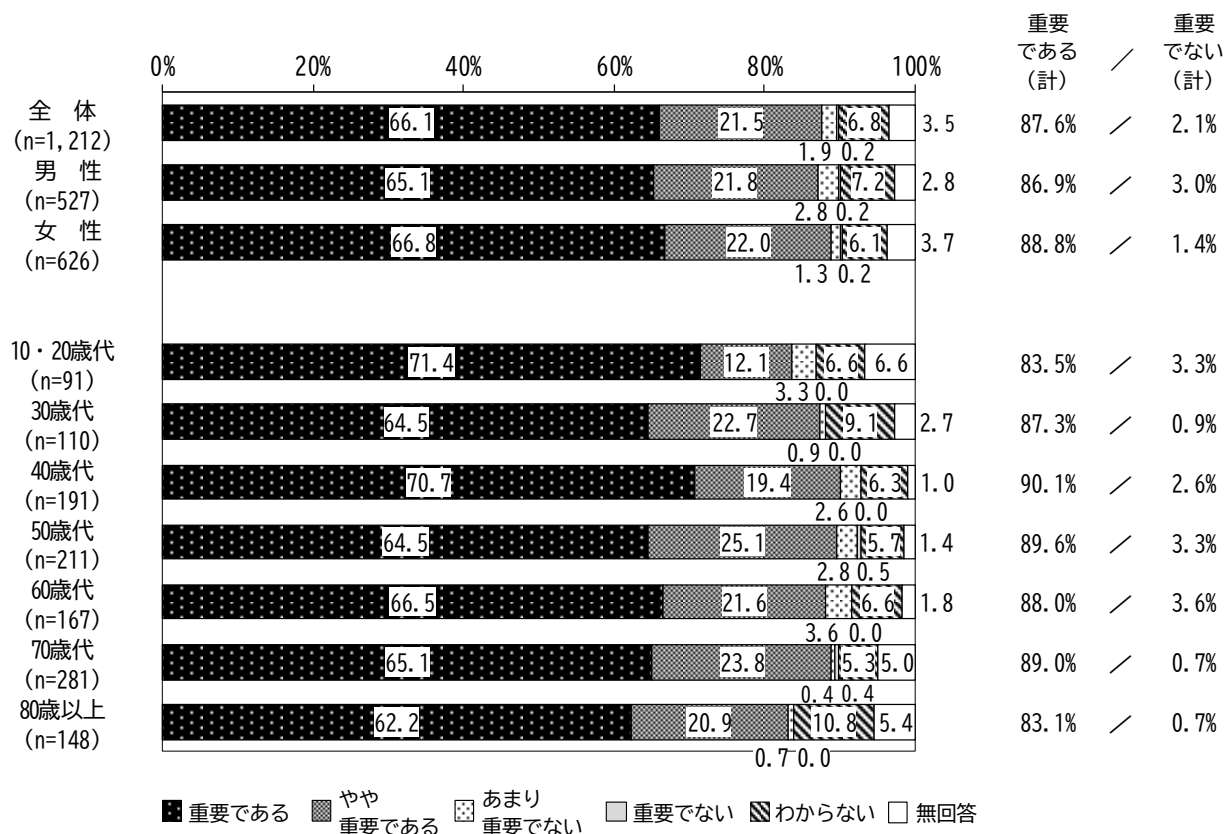
【施策5】健康づくり に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・ 個々人にお知らせがあるのですか。他市の方々等の話で知り、市に問い合わせたことがある。
- ・ ガン検診は若いうちからできる検査項目を増やすべき。子供の高額な予防接種はすべて助成すべき。年齢問わず。
- ・ 予防接種の費用はもっと多くを無料にすべき。
- ・ 今回のような調査によって高齢者の肺炎球菌ワクチンの助成があるということを知った方がたくさんいると思いますが、それも 65 歳、70 歳の節目の助成だけで、一人暮らしの方は予約し、施行してもらう医療機関を探すのが面倒で受けない方もいると思います。
- ・ おたふく風邪予防接種助成が 1 ～ 2 歳未満な事。それより大きな子は同じ年頃に助成はありませんでした。集団行動をとるタイミングなどで、子どもや周りの方へ感染さないためにも打たせたい保護者が多いと思います。1 ～ 2 歳以上も対象にするべきだと思います。

取組の重要度は、「重要である」が 66.1%と最も多く、「やや重要である」が 21.5%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 87.6%とほぼ9割であった。
重要度のスコアは 3.712 で、35 施策の中で 6 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「40 歳代」が 90.1%と最も高く、最も低い「80 歳以上」でも 83.1%と、全ての年代で 8 割を超えている。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

(6)【施策6】地域医療

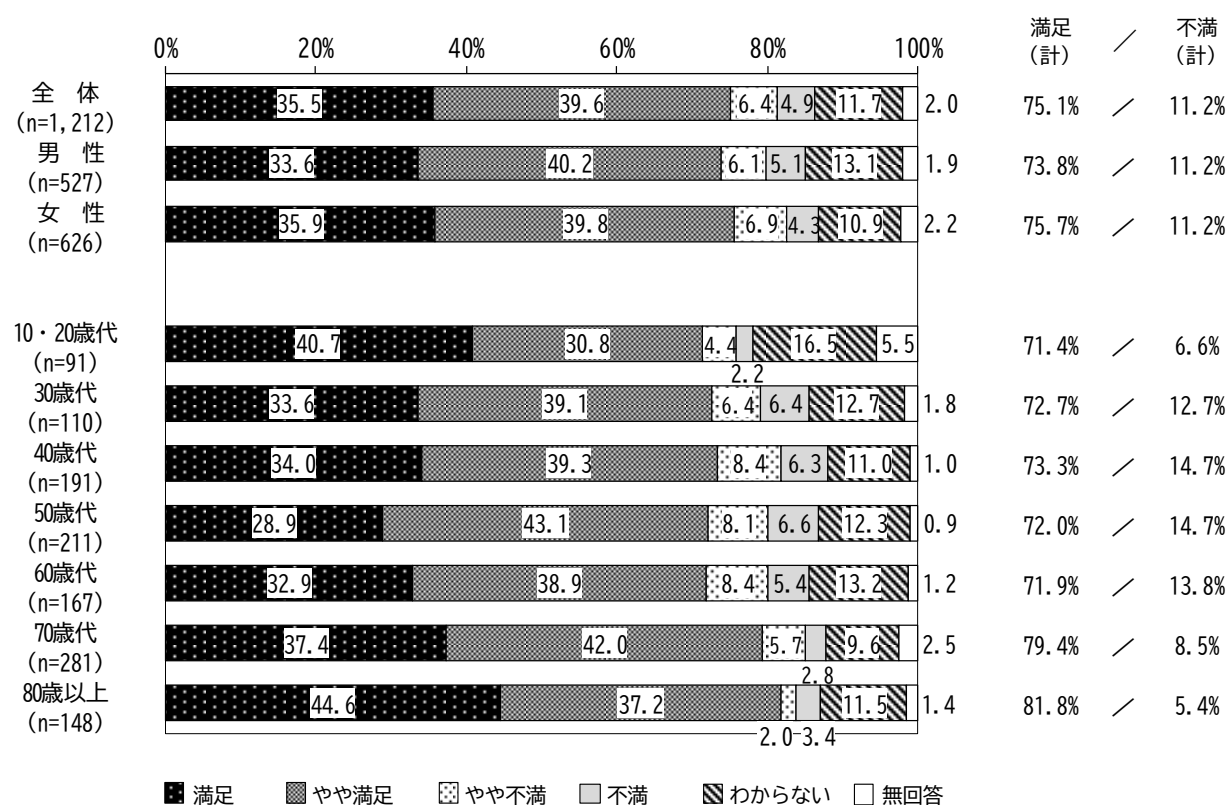
施策概要：地域で安心して医療を受けることができるよう、**かかりつけ医の定着の推進**、診療所と病院間の連携強化による**地域の医療提供体制の充実**、綾瀬休日診療所における**休日・夜間の医科・歯科・調剤の業務**を行っています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が39.6%と最も多く、「満足」が35.5%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は75.1%と全体の4分の3を占めた。

満足度の順位は、35 施策の中で4位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「80歳以上」（81.8%）で8割を超え、「70歳代」（79.4%）でもほぼ8割となっているが、「10・20歳代」（71.4%）、「60歳代」（71.9%）では7割程度と低い。



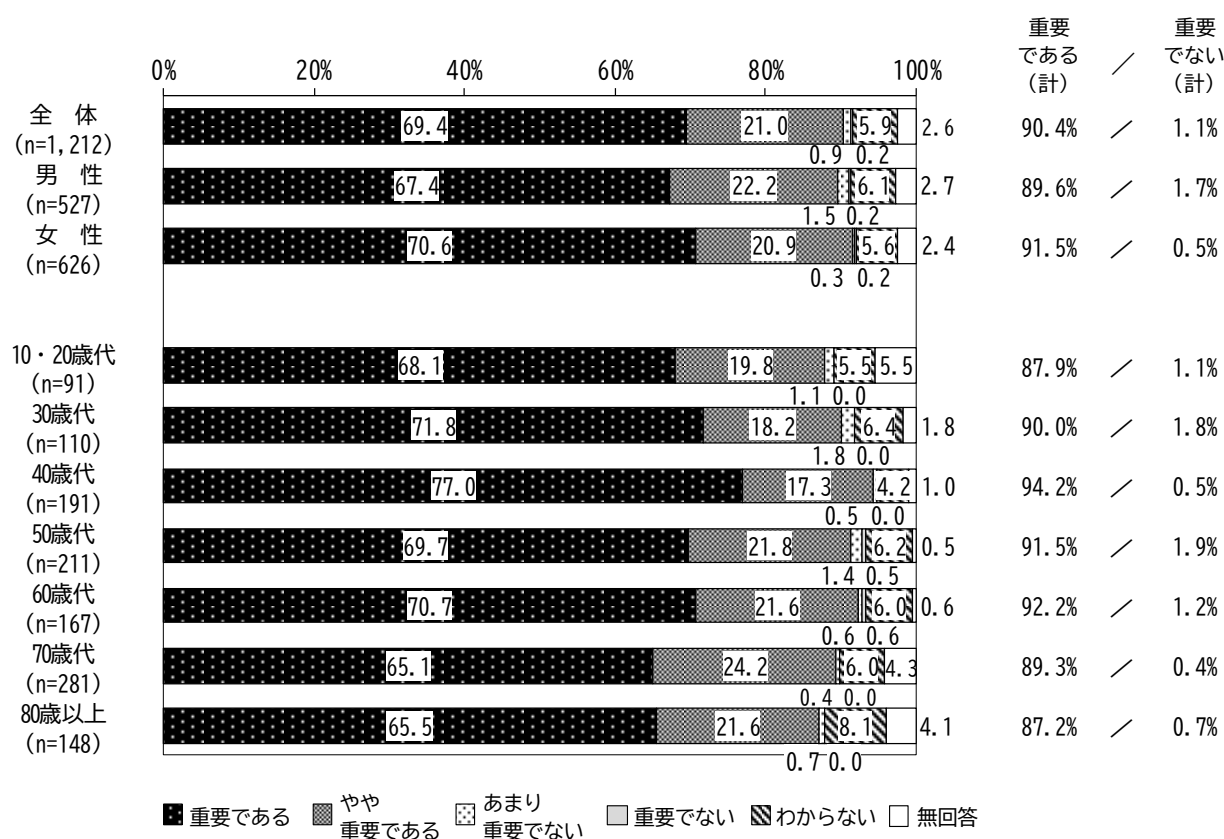
【施策6】地域医療 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・かかりつけ医を見つけようと思っても近くに病院などが無い。
- ・医療体制がまったく充実していない。休日・夜間の急病時とても困った。
- ・休日・夜間業務はよいと思うが、かかりつけ医はそもそも内科的に元気・健康だといない。
- ・そもそも病院自体が少ないことを問題視してほしい。
- ・病院、医療の体制より、高度な治療ができる施設が必要だから。
- ・市民にとってもっと充実した医療機関が必要だと思う。
- ・地域により偏りがある。
- ・そもそもよい病院がない。がん検診も自己負担。交通費かけて市外に行ってます。

取組の重要度は、「重要である」が 69.4%と最も多く、「やや重要である」が 21.0%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 90.4%と約9割であった。
重要度のスコアは 3.745 で、35 施策の中で2位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、「重要である」は女性の方がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「40 歳代」が 94.2%と最も高く、最も低い「80 歳以上」でも 87.2%と、全ての年代で8割台を超えている。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

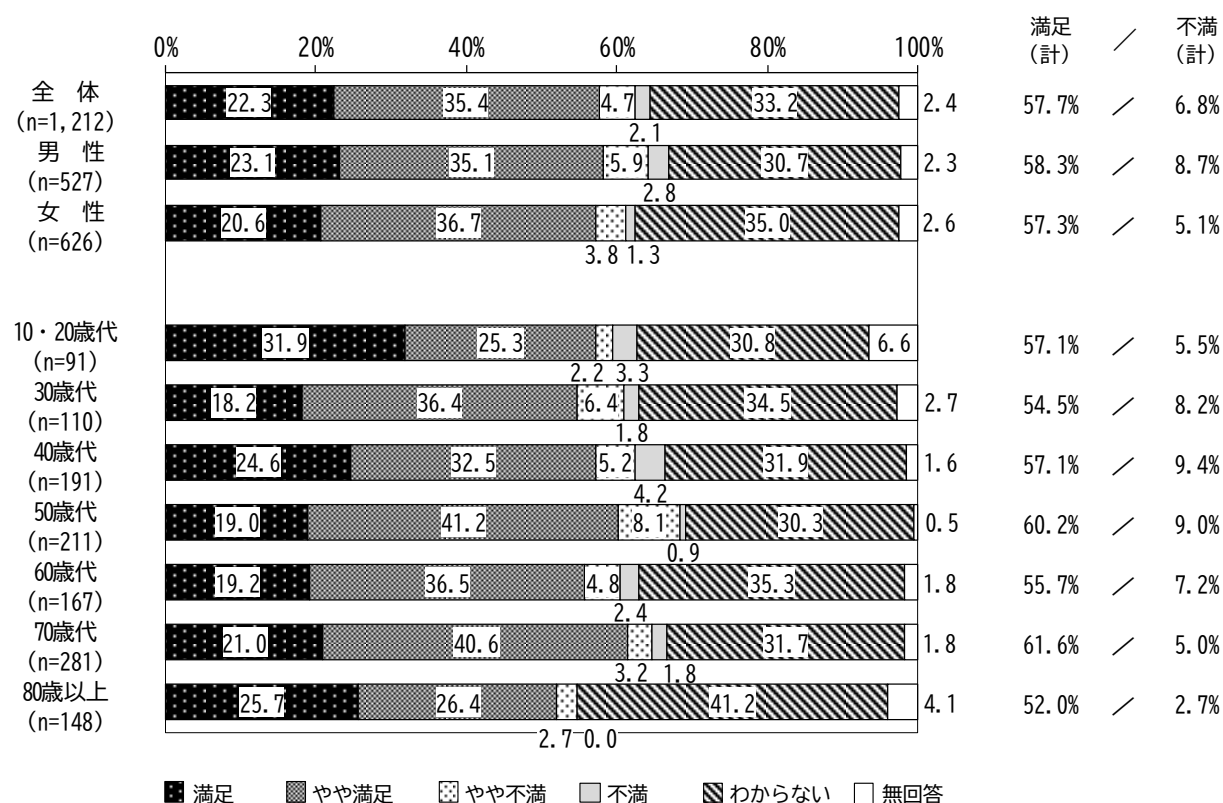
(7)【施策7】スポーツ

施策概要：競技スポーツや健康増進に繋がるスポーツの推進に取り組むため、市総合スポーツ大会、市駅伝競走大会などの開催や市内の小中学校の体育館等の運動施設を開放するとともに、ポールを使ったウォーキングであるノルディック・ウォークの普及に取り組んでいます。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 35.4%と最も多く、「わからない」が 33.2%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 57.7%と6割を下回った。
満足度の順位は、35 施策の中で 28 位であった。

性別で見ると、【満足（計）】では大きな差は見られなかったが、「わからない」は女性の方が 4.3 ポイント高い。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70 歳代」（61.6%）、「50 歳代」（60.2%）では6割を超えたが、「80 歳以上」では 52.0%と低い。



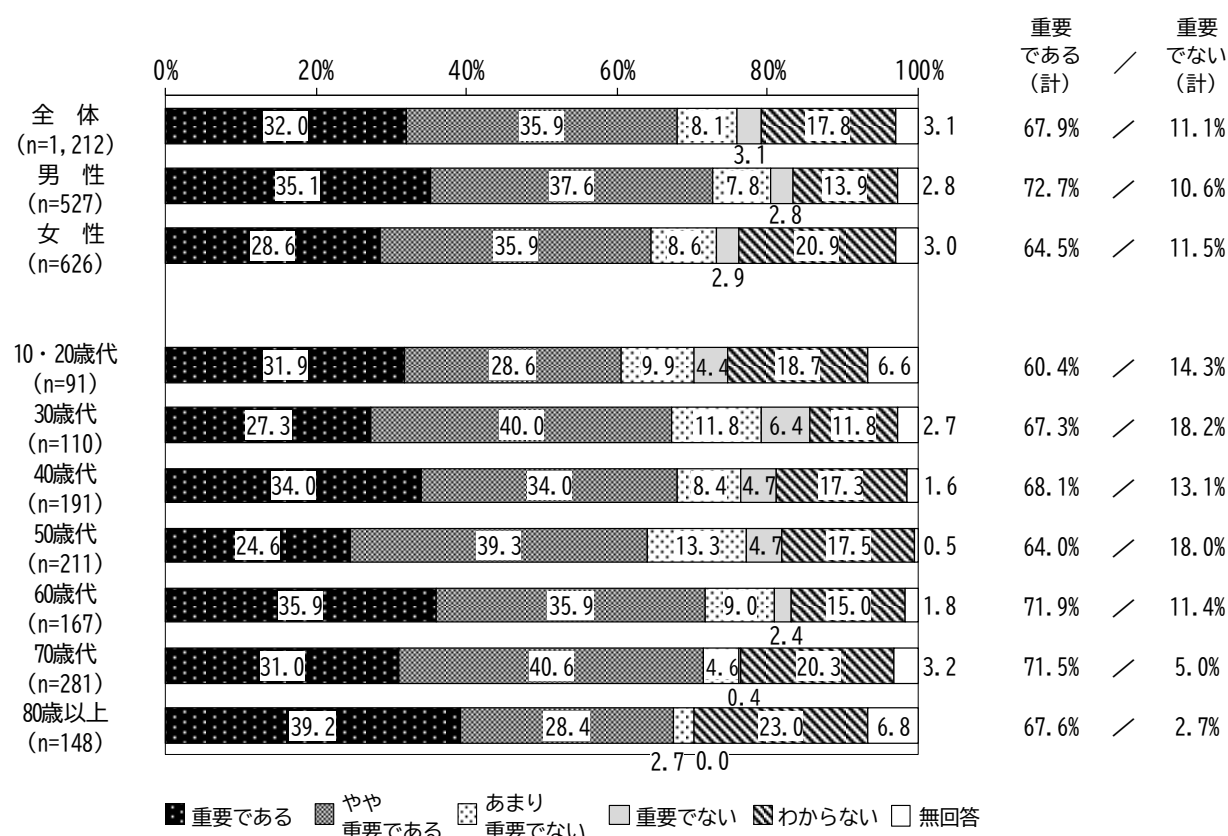
本施策【施策7】スポーツに関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・多くの市民に浸透するような方法を考えてほしいです。
- ・いずれも聞いたことがない取組。サービスの対象が老人、子供のいる家庭のみなのだと推察。
- ・ほとんどが市の中央か南に施設がある。車がないので行けない。
- ・健康のため市営のプールを作してほしい。市内にないのは不満。
- ・参加の呼びかけがない。
- ・他の自治体に比べ、スポーツ振興等全然遅れている。もっと地域で誇れる競技があっても良いと思う。プロ野球・Ｊリーグは無理でも、少年時から育成できる競技があれば。
- ・どのように運動施設を利用していいのかわからない。
- ・ノルディックウォークを取り入れた理由は？！

取組の重要度は、「やや重要である」が 35.9%と最も多く、「重要である」が 32.0%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 67.9%と 7 割近くであった。重要度のスコアは 3.225 で、35 施策の中で 33 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は男性の方が 8.2 ポイント高く、特に「重要である」は男性の方が 6.5 ポイント高い。一方で、女性は「わからない」が 7.0 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「60 歳代」（71.9%）、「70 歳代」（71.5%）では 7 割を超えているが、「10・20 歳代」（60.4%）では約 6 割と低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

(8)【施策8】子育て支援、保育環境

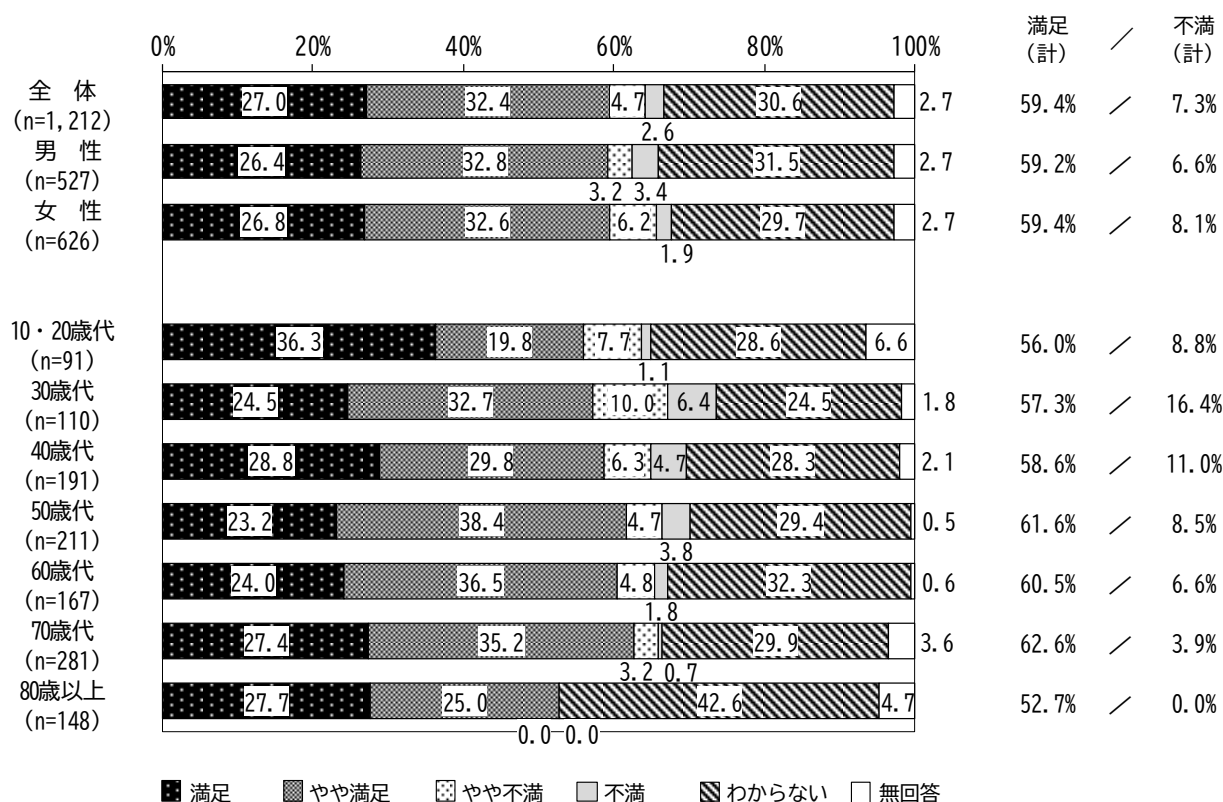
施策概要：子育て世帯が安心して生活できるよう、デパート等で使える**子育て商品券を出生時に支給**するほか、**ひとり親家庭の方への相談・支援**に取り組んでいます。また、子育てと仕事の両立が出来る環境を提供するため、**待機児童の解消**に努めているほか、子どもが病気でも仕事を休むことができない保護者のために、一時的に子どもを預かる**病児保育事業**を行っています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 32.4%と最も多く、「わからない」が 30.6%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 59.4%とほぼ6割であった。

満足度の順位は、35 施策の中で 26 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70 歳代」で 62.6%と最も高く、「50 歳代」（61.6%）、「60 歳代」（60.5%）でも約6割となっているが、その他の年代では6割を下回り、「80 歳以上」では 52.7%と低い。



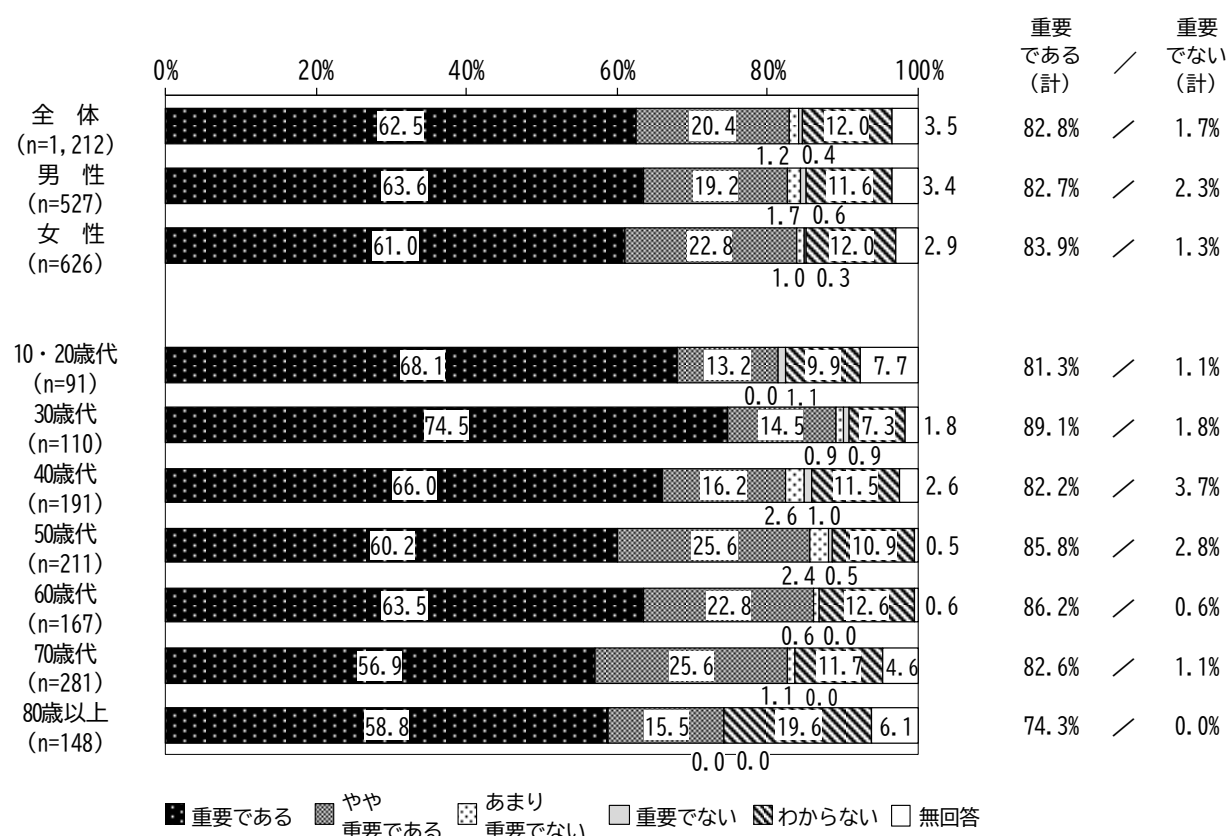
【施策8】子育て支援、保育環境 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・商品券は近くのスーパーで使えますか？デパートならあまり役に立たない。病児保育は受入数が少ないのでは？
- ・子育て世代の意見をもっと反映させるような工夫をしてほしい。所得制限など不要である。
- ・保育園が順番待ちですぐに預けることができない。
- ・待機児童解消などは素晴らしい取組ですが、商品券は無駄です。子育てで一番大変なのは学費です。
- ・ひとり親家庭だけでなく、必要としてる家庭の相談、支援もしてほしい。
- ・ひとり親家庭だけでなく、どの家庭においても子育てと仕事の両立が叶う環境を整えて頂きたいです。

取組の重要度は、「重要である」が 62.5%と最も多く、「やや重要である」が 20.4%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 82.8%と 8割を超えた。重要度のスコアは 3.715 で、35 施策の中で 5 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「30 歳代」（89.1%）でほぼ 9 割と高いが、「80 歳以上」（74.3%）は 7 割台半ばと低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Aゾーン【重点改善施策】に分類され、重要施策であると認識されており、満足度を高めていく必要があることから、従来の施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

(9)【施策9】青少年健全育成

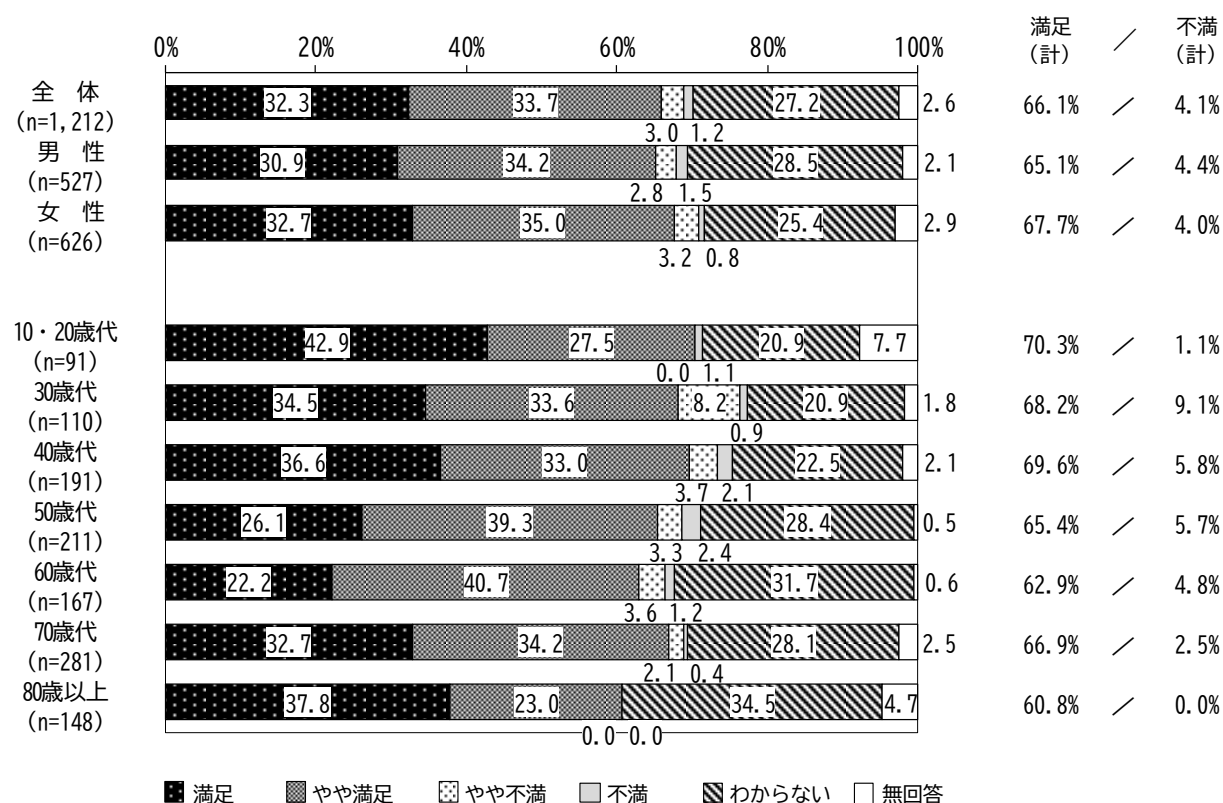
施策概要：保護者の就労等により、保護者が家にいない放課後や休日でも子どもが安心して過ごせるよう、市内施設等で他の保護者や地域の大人が見守る放課後児童クラブ及びあやせっ子ふれあいプラザ事業を行っています。また、専門カウンセラーによる青少年相談室や多世代の方々が交流できる居場所の提供などにより、青少年の健全育成に取り組んでいます。

取組に対する満足度は、「やや満足」が33.7%と最も多く、「満足」が32.3%と続いている。【満足(計)】(「満足」と「やや満足」の合計)は66.1%であった。

満足度の順位は、35 施策の中で 13 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足(計)】は「10・20 歳代」(70.3%)と7割を超え、「40 歳代」(69.6%)、「30 歳代」(68.2%)でも6割近くとなっている。一方で、「80 歳以上」は60.8%と最も低い。



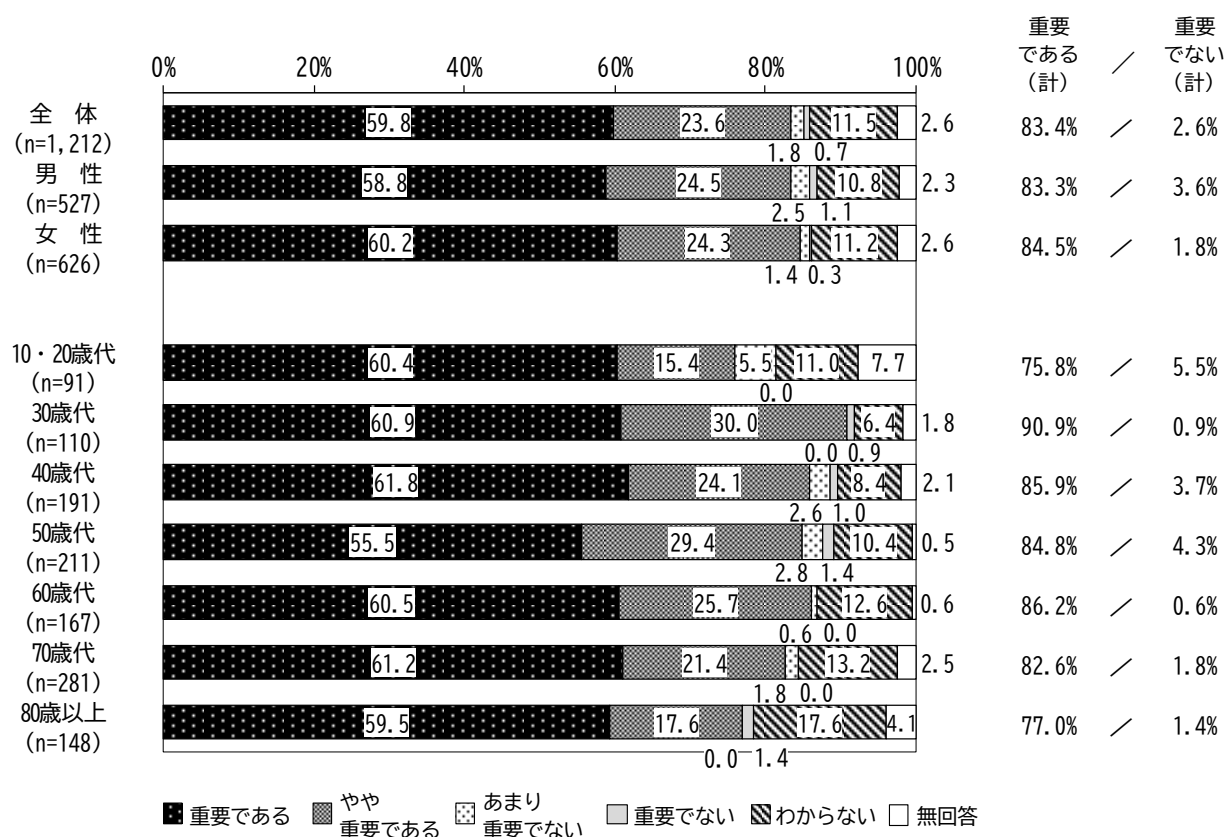
【施策9】青少年健全育成 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・放課後児童クラブに入りたいくても入れない事態がある。定員不足。
- ・学童の数が少ない。市が経営する施設を増やして、預ける時間も長くしてほしい。とにかく学童が少ない。ふれあいプラザも時間を長くしてほしい。
- ・参加したくても誰に言っていないかわからない。情報が無い。
- ・利用状況が不明。相談が必要な青少年がこの取組を知っているのか疑問。
- ・内情を理解していないからなんとも言えませんが、青少年相談室は本当に機能していますか。学校などでそのようなものがありましたが、本当に必要な人はそこに行くことができない事も多いです。スマホやPCから文章でアクセスしてもっと身近にしていっても良いかと思ひます。
- ・引きこもり等の専門カウンセラー相談と共に、アウトリーチ相談等も含めて、より体制強化が必要。

取組の重要度は、「重要である」が 59.8%と最も多く、「やや重要である」が 23.6%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 83.4%と 8割を超えた。
重要度のスコアは 3.657 で、35 施策の中で 8位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「30 歳代」（90.9%）は 9割を超えて高いが、「10・20 歳代」（75.8%）、「80 歳以上」（77.0%）は 7割台と低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

2 安心・安全

(10) 【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり

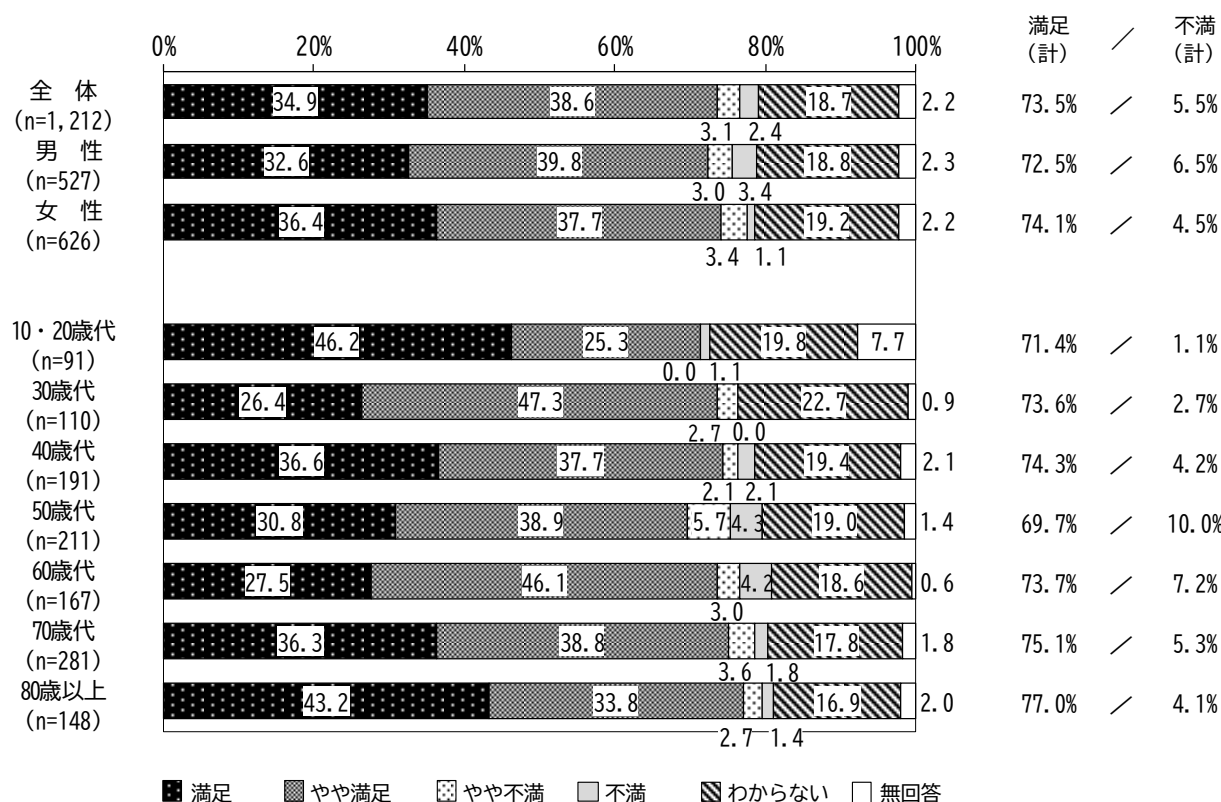
施策概要：防災訓練の実施などを通じ、防災体制の強化に取り組むとともに、避難所の**非常用食料等の調達、災害用仮設風呂やマンホールトイレの整備**など、災害対策の充実に努めています。また、災害時に備え、**民間事業者と連携し、物資の提供体制を構築**しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が38.6%と最も多く、「満足」が34.9%と続いている。【満足(計)】(「満足」と「やや満足」の合計)は73.5%と7割を超えた。

満足度の順位は、35 施策の中で6位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、女性の方が「満足」がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、【満足(計)】は「80歳以上」で77.0%と最も高く、「70歳代」(75.1%)、「40歳代」(74.3%)でも7割台半ばとなっているが、「50歳代」(69.7%)は7割を下回った。



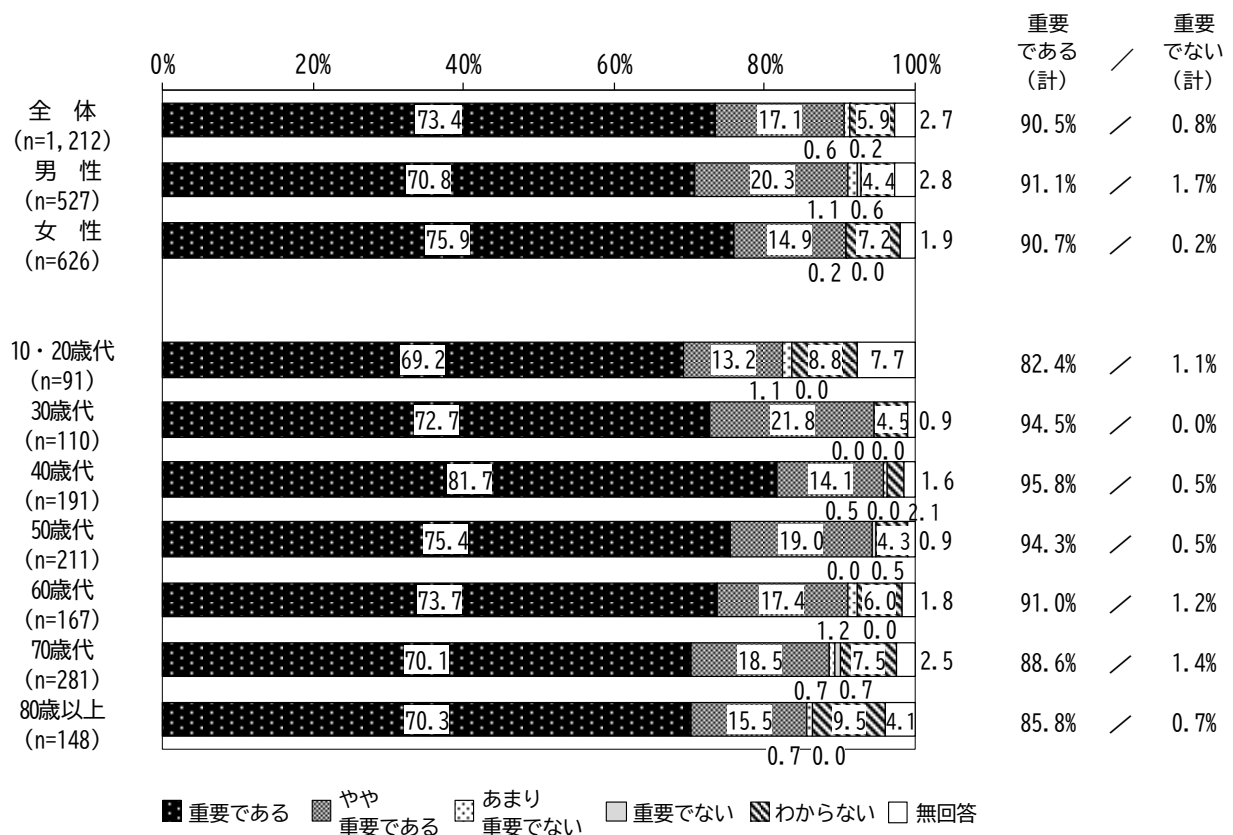
【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・取組の周知がなされていないと感じます。
- ・避難所に行けない、または行かない人の食料等の調達はどうなっているのか？避難民に届くのか？
- ・自治会の防災訓練で倉庫やマンホール等見せてもらったが、もっと広くPRした方がよい。わかりやすく。基本的には自己責任で備えないといけないと思っているが…。
- ・災害時に備えて、個人（家）にも備えに対しての取組をアピールした便利なものを教えて欲しい。
- ・住民の数に対する避難所、施設がないと思う。
- ・防災訓練は形骸化しているし、避難所は近くに二カ所あるがまずどちらに行くのかよく分からない等、災害時について全体的にぼんやりしている。

取組の重要度は、「重要である」が 73.4%と最も多く、「やや重要である」が 17.1%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 90.5%と9割を超えた。重要度のスコアは 3.792 で、35 施策の中で1位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】では大きな差は見られなかったが、「重要である」は女性の方が 5.1%高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「40 歳代」で 95.8%と最も高く、「30 歳代」（94.5%）、「50 歳代」（94.3%）でも9割台半ばとなっているが、「10・20 歳代」では 82.4%と低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

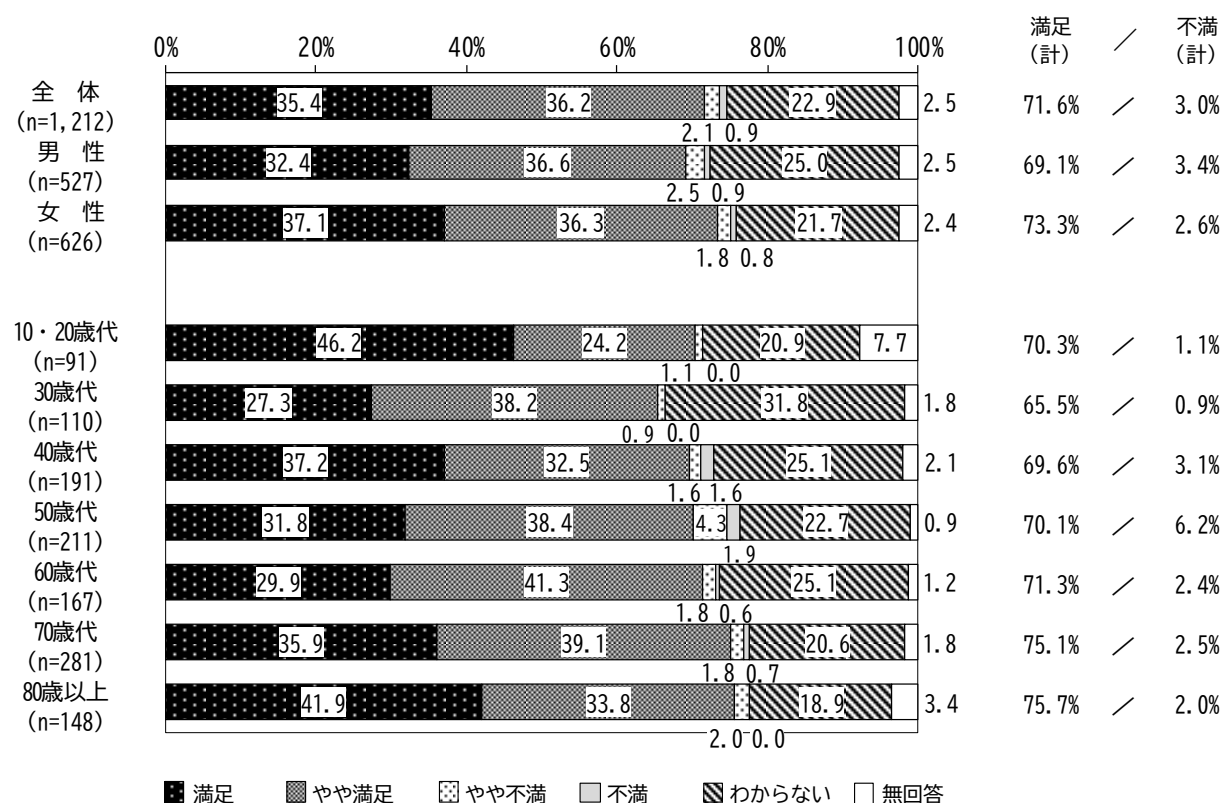
(11)【施策 11】火災予防と消防力

施策概要：救命率の向上と住宅の防災対策を図るため、**救命講習会を実施**し、救命処置の普及啓発を行っているほか、**住宅用火災警報器の維持管理を推進**しています。また、**女性消防吏員が当直勤務を行うために必要な施設を整備**し、女性消防吏員の活躍推進を図っています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が36.2%と最も多く、「満足」が35.4%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は71.6%と約7割であった。
 満足度の順位は、35 施策の中で9位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は女性の方が4.2 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「80 歳以上」（75.7%）、「70 歳代」（75.1%）で7割台半ばと高いが、「30 歳代」（65.5%）、「40 歳代」（69.6%）では7割を下回った。



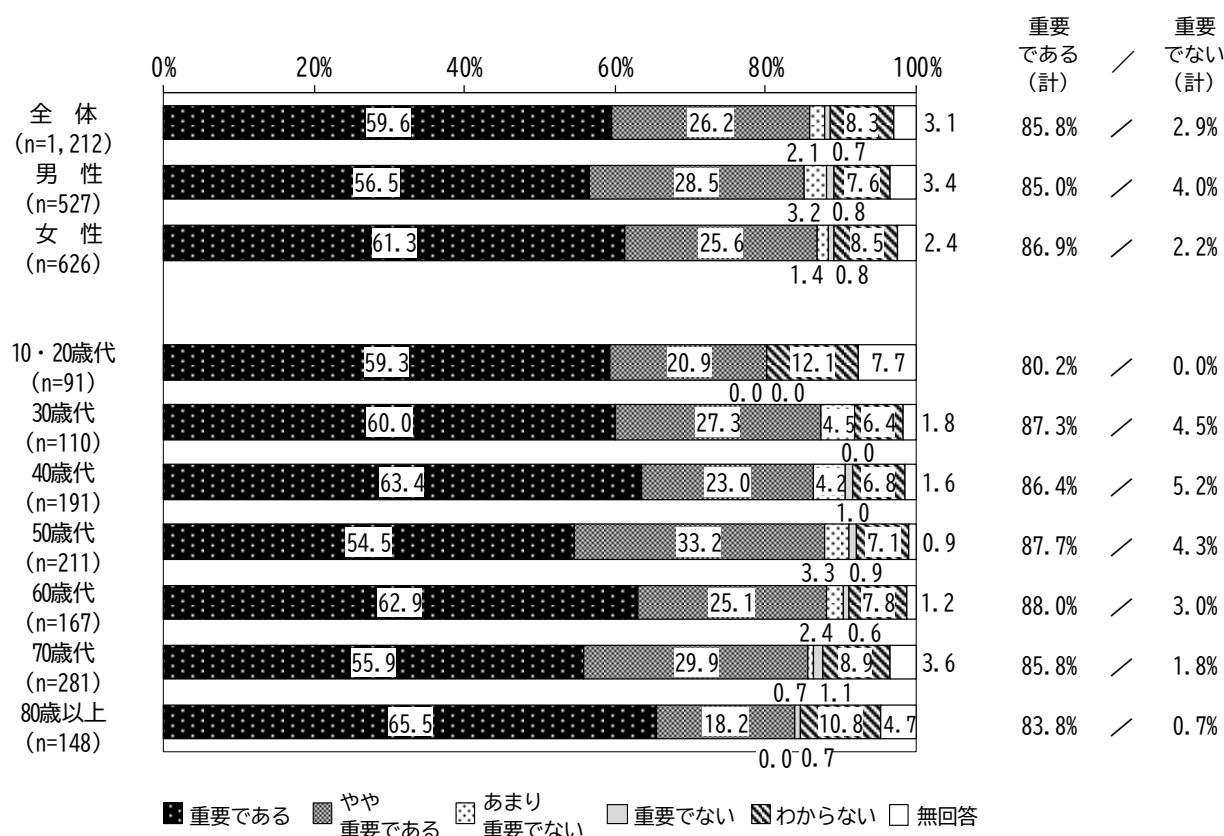
【施策 11】 火災予防と消防力 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・住宅用火災警報器の維持管理を推進とは何をしているのかわからない。
- ・火災報知器は自己管理が基本だと思うが、消防員等が個別に回って点検した方が良い。
- ・救命講習会は月 2～3 回市民のために講習して欲しい（一般市民誰でも）。
- ・救命講習会など予定が合えば積極的に参加したいが、開催の周知がなされていない。
- ・男女平等の空気に押されても、消防その他危険な仕事にまで無理やり「女性活躍」を推進するのは、現場知らずの所業ではないか（もちろん希望者を否定してはいけないが）。
- ・もっと実施していることを公開すべき。

取組の重要度は、「重要である」が 59.6%と最も多く、「やや重要である」が 26.2%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 85.8%と 8 割台半ばを占めた。重要度のスコアは 3.631 で、35 施策の中で 12 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】では大きな差は見られなかったが、「重要である」は女性の方が 4.8 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「60 歳代」で 88.0%と最も高く、最も低い「10・20 歳代」でも 80.2%と、全ての年代で 8 割を超えた。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

(12)【施策 12】防犯対策

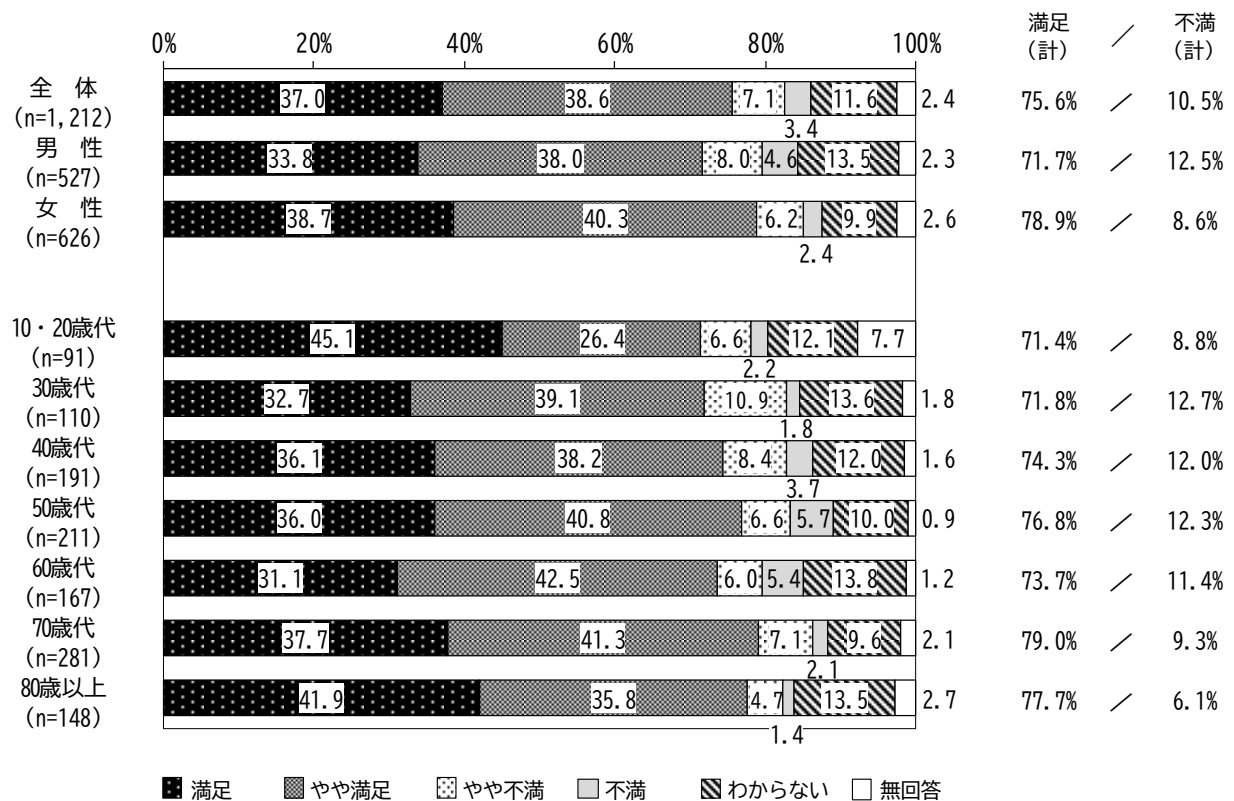
施策概要：地域の安全確保・防犯思想の普及を図るため、パトロール車による市内巡視や災害情報、防犯情報等を配信しているほか、防犯カメラ付き防犯灯の設置や、子どもや高齢者、女性などの緊急避難所として、市内に約 840 箇所の「あやせ 110 番の家」を設置しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が38.6%と最も多く、「満足」が37.0%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は75.6%と全体の4分の3を占めた。

満足度の順位は、35 施策の中で3位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は女性の方が7.2ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70 歳代」が79.0%と最も高いが、「10・20 歳代」（71.4%）、「30 歳代」（71.8%）では7割程度であった。



【施策 12】防犯対策 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・不審者の情報が配信されるが、その後不審者がどうなったのか不明なので不安が残る。
- ・防犯カメラはもう少し付けるべきだと思います。ゴミ捨て場の不法投棄が多いです。児童の安全のためにもいろんな所に付けるべきです。
- ・110 番の家がちゃんと機能しているのかイマイチわからず、入りづらい。
- ・市内に約 840 箇所「あやせ 110 番の家」があっても、どこにあるのか知らないから緊急時に使えない。
- ・子どもの帰宅後や夜のパトロールをもっと増やしてほしい。
- ・パトロールをしている所を見たことがない。特定エリアのパトロール？
- ・警察署がないのでもっと力を入れるべき。
- ・街灯など少ない所が多く、夜は怖い。

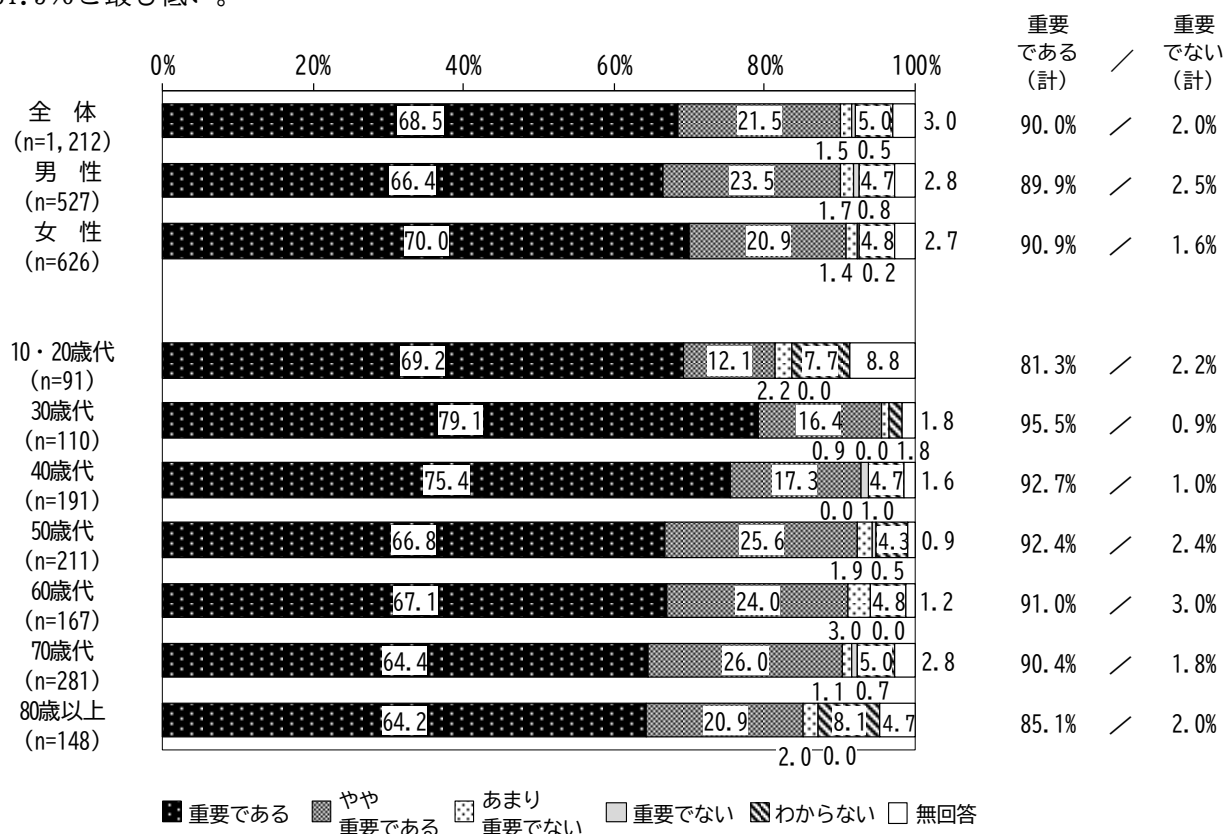
取組の重要度は、「重要である」が 68.5%と最も多く、「やや重要である」が 21.5%と続いている。

【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 90.0%と 9 割を占めた。

重要度のスコアは 3.717 で、35 施策の中で 4 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、「重要である」は女性の方がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「30 歳代」で 95.5%と最も高く、「10・20 歳代」で 81.3%と最も低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

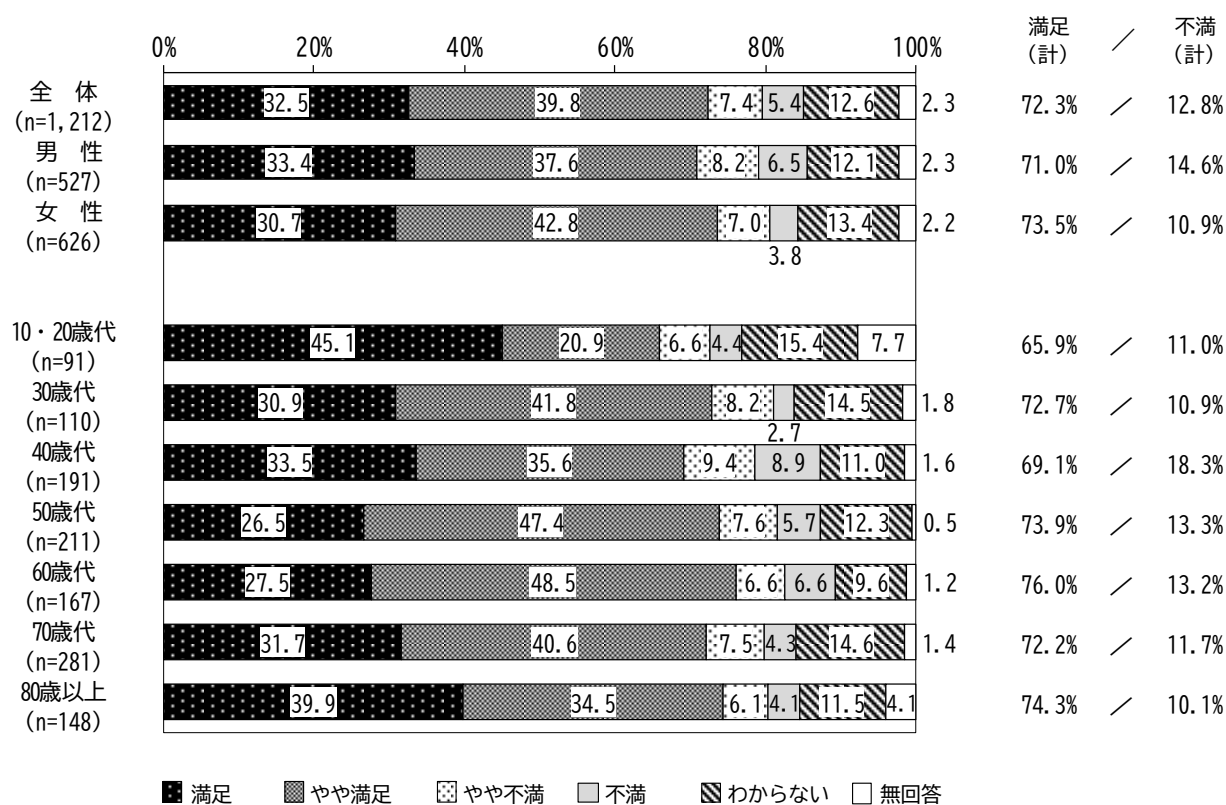
(13)【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク

施策概要：交通安全の意識啓発や交通事故防止を図るため、交通安全教室の開催や交通指導員による通学路での街頭指導、交差点における車止めポールの設置を行っています。
また、綾瀬市スマートインターチェンジの開通など、交通状況の変化に対応するため、市内全域の道路を整備しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が39.8%と最も多く、「満足」が32.5%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は72.3%と7割を超えた。
満足度の順位は、35 施策の中で7位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「60 歳代」が76.0%と最も高い。「10・20 歳代」は65.9%と最も低い、「満足」だけで見ると45.1%と他の年代と比べて最も高くなっている。



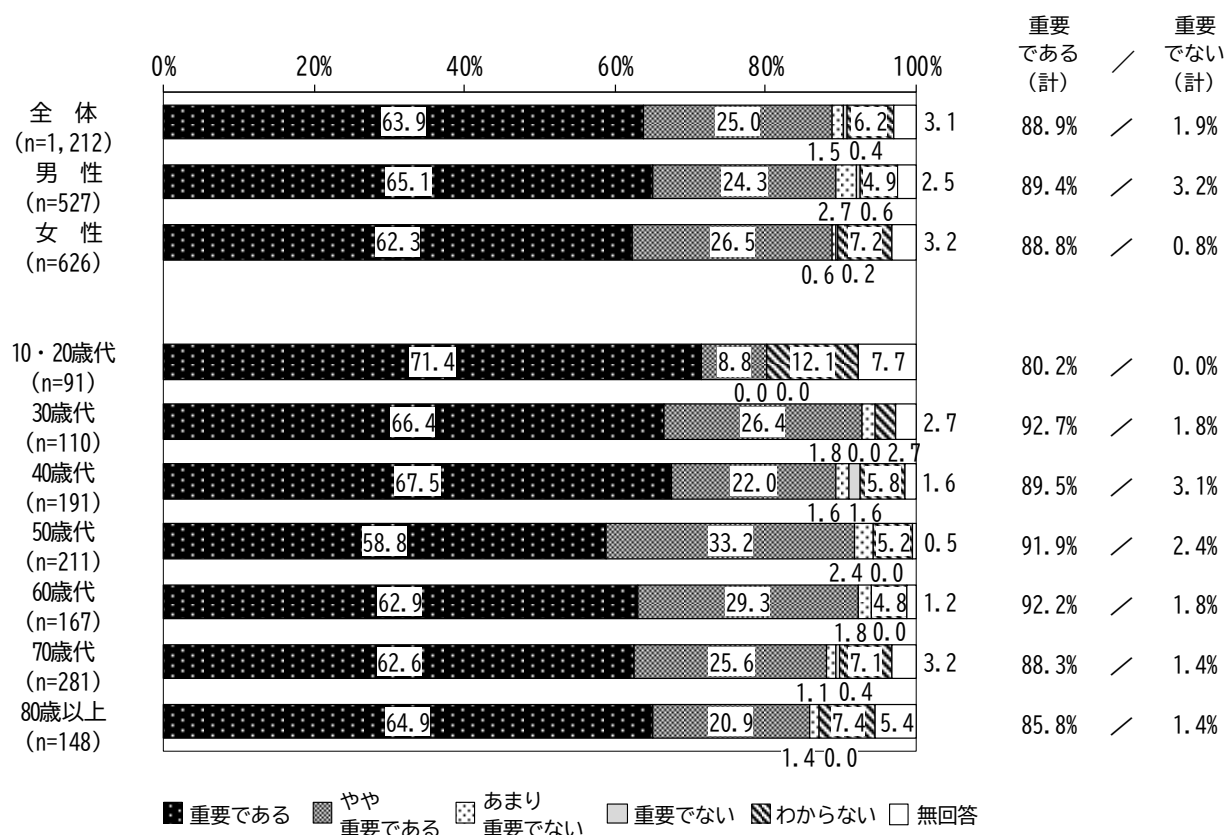
【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・スマートインターは便利かもしれないが、道路の渋滞が増えて迷惑。交通マナーの悪い人間が増えた。
- ・通学路での街頭指導者がほとんどいない。道が狭いのでいてほしい。道路の表示が消える、又は薄い。スピードを出す車が多いため危ない。
- ・幹線道路は優先されて補修できていますが、その他の道路や道路標示が未整備。
- ・整備が追いついていない。大型トラックが増え、歩道が狭かったりすれ違えなかったり危険な箇所が多すぎる。
- ・ポールが位置がかえって危なく感じる場所がある。
- ・危険な通学路が多い。通学路となっている大通りは全てガードレールを設置すべき。

取組の重要度は、「重要である」が 63.9%と最も多く、「やや重要である」が 25.0%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 88.9%と 9 割に近い。
重要度のスコアは 3.678 で、35 施策の中で 7 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「30 歳代」で 92.7%と最も高く、「60 歳代」（92.2%）、「50 歳代」（91.9%）でも 9 割を超えている。「10・20 歳代」では 80.2%と最も低いが、「重要である」だけで見ると 71.4%と他の年代と比べて最も高くなっている。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

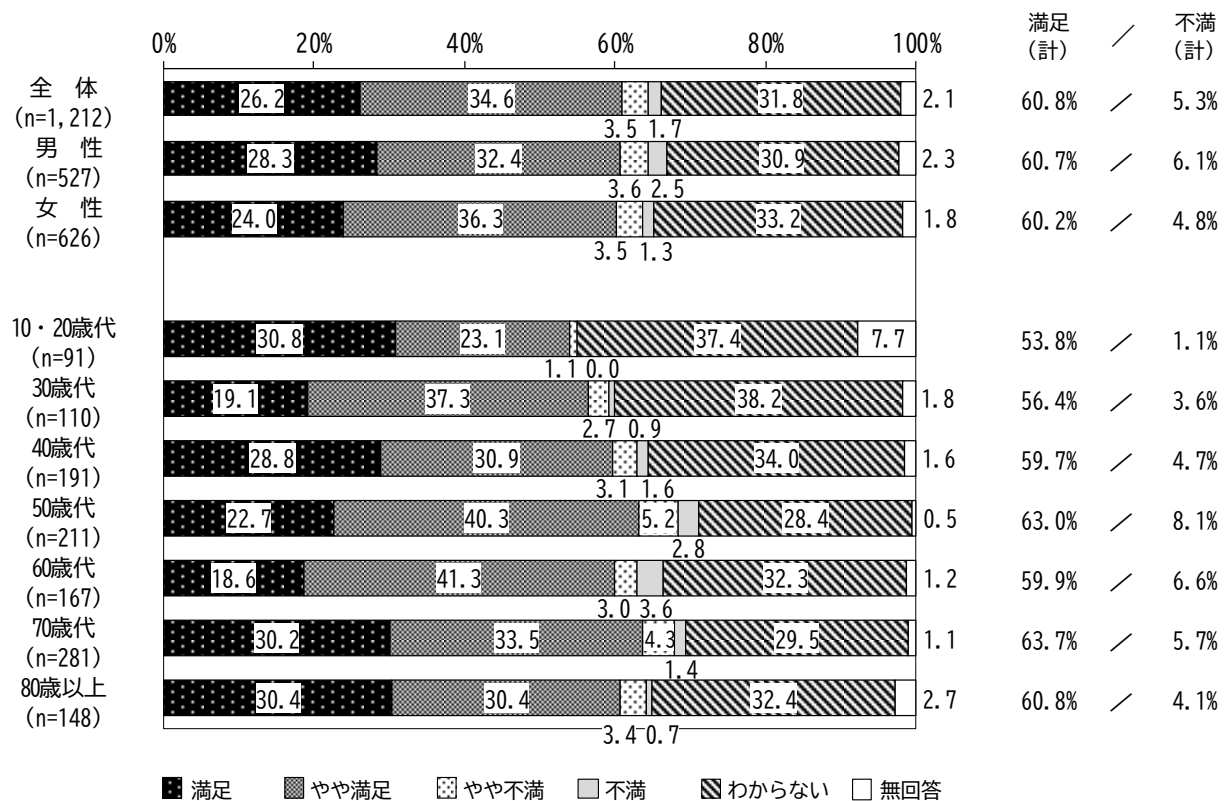
(14)【施策 14】 市民相談

施策概要：市民が抱えている諸問題の解消のため、法律相談等の各種相談を受け付けており、消費生活相談では、架空請求や商品トラブルへの助言を行うとともに、被害に遭わないための啓発活動として、消費者問題出前講座を実施しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 34.6%と最も多く、「わからない」が 31.8%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 60.8%と約 6 割であった。
 満足度の順位は、35 施策の中で 23 位であった。

性別に見ると、**【満足（計）】**では大きな差が見られなかったが、「満足」は男性の方が 4.3 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、**【満足（計）】**は「70 歳代」が 63.7%と最も高く、「50 歳代」（63.0%）、「80 歳以上」（60.8%）でも 6 割を超えているが、「10・20 歳代」は 53.8%と最も低い。



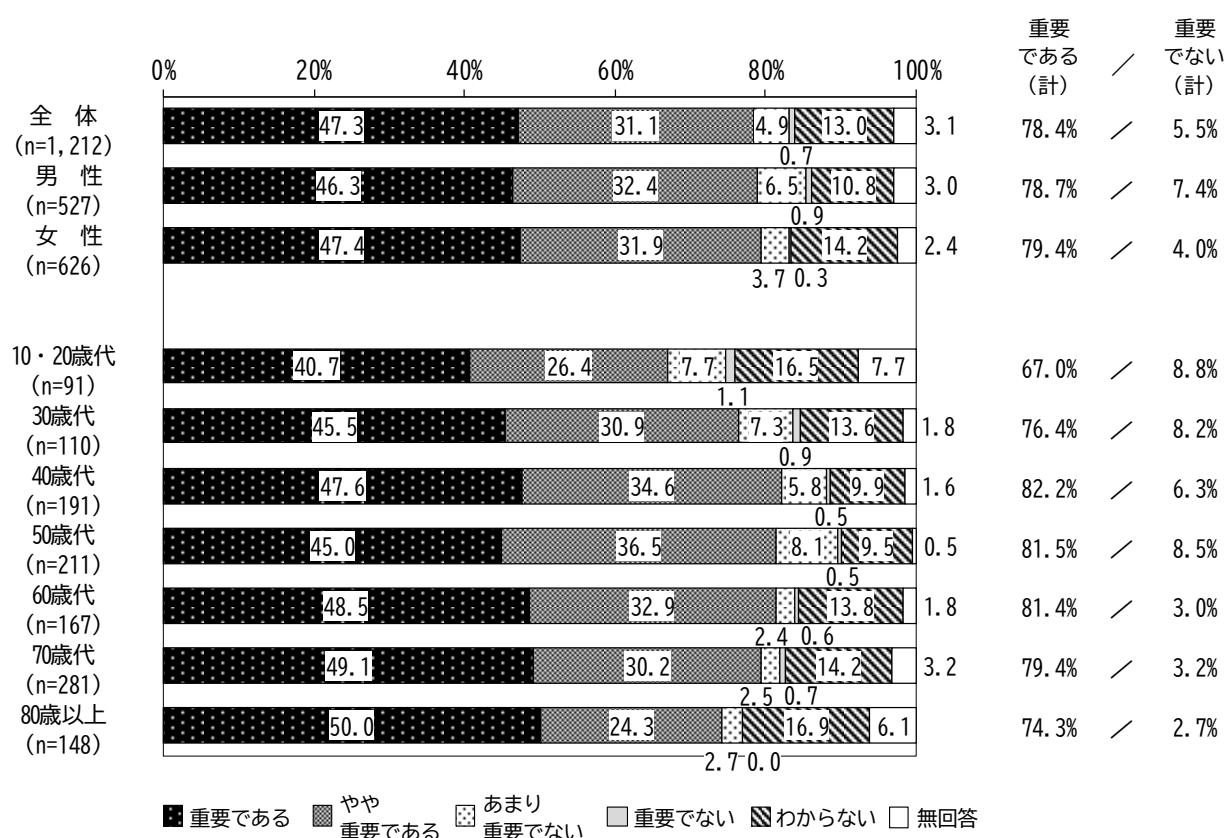
【施策 14】 市民相談 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・ 周知されていない。
- ・ 実施していることが情報として入ってきにくい。広報に問題？
- ・ 市の相談に行っても時間が短く、親身に考えてくれない。
- ・ 相談しても解決に至らない。弁護士費用の助成等必要。
- ・ 時間や曜日が限られるため利用しづらい。一度の相談では解決しない。
- ・ 消費者問題出前講座の存在があまり知られてない。問題があった際は消費者庁に直接連絡してしまう。
- ・ 相談員の人数を増やし、市民が相談できる、しやすいようにしてほしい。

取組の重要度は、「重要である」が 47.3%と最も多く、「やや重要である」が 31.1%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 78.4%と 8 割近い。
重要度のスコアは 3.490 で、35 施策の中で 23 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「40 歳代」で 82.2%と最も高く、「50 歳代」（81.5%）、
「60 歳代」（81.4%）でも 8 割を超えているが、「10・20 歳代」（67.0%）は 7 割を下回った。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

(15)【施策 15】基地対策、基地との新たな関わり

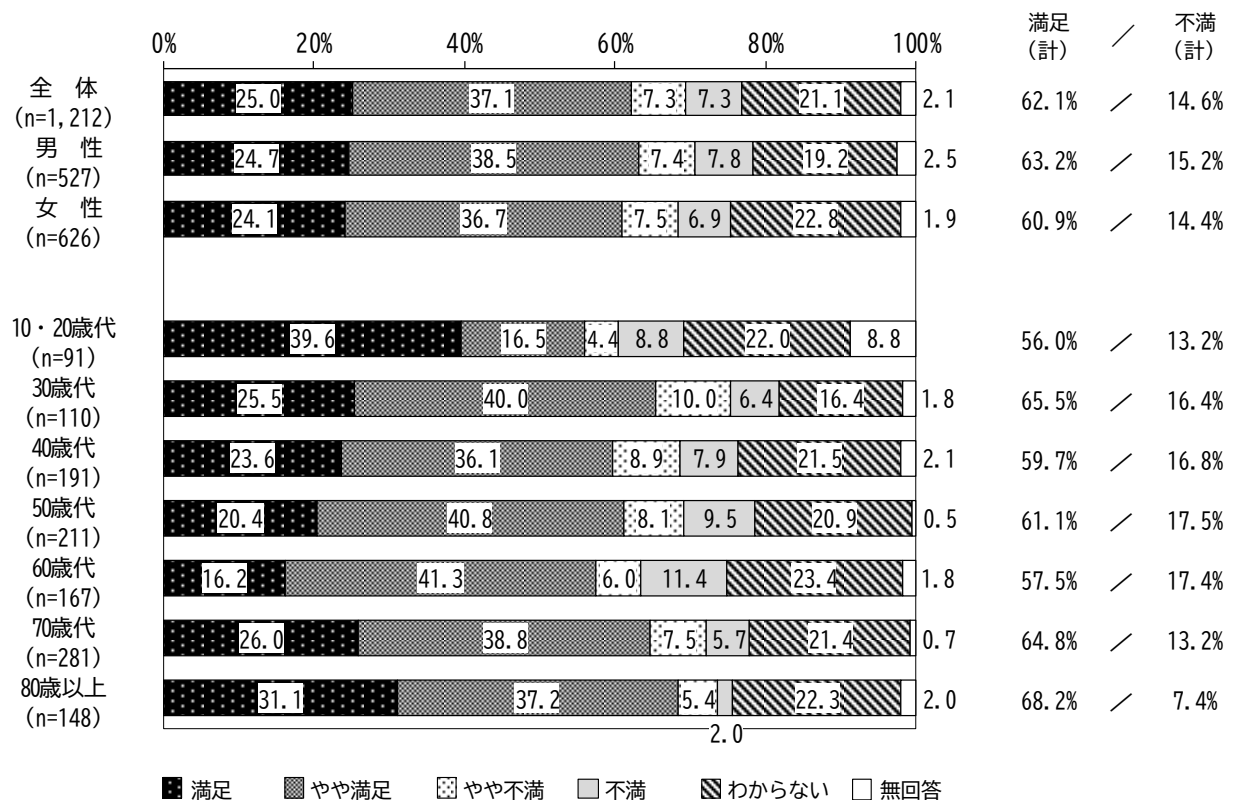
施策概要：基地の整理・縮小・返還を基本姿勢に、市民負担の軽減を図るため、住宅防音工事などの騒音対策の充実、航空機の安全対策の徹底等を政府や米軍に求めています。
一方で返還が実現するまで、基地を地域資源として活用するため、施設の共同使用、日米交流を促進しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が37.1%と最も多く、「満足」が25.0%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は62.1%であった。

満足度の順位は、35 施策の中で 17 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「80 歳以上」が68.2%と最も高く、「30 歳代」（65.5%）、「70 歳代」（64.8%）でも 6 割台半ばとなっている。「10・20 歳代」は56.0%と最も低いが、「満足」だけで見ると 39.6%と他の年代と比べて最も高い。



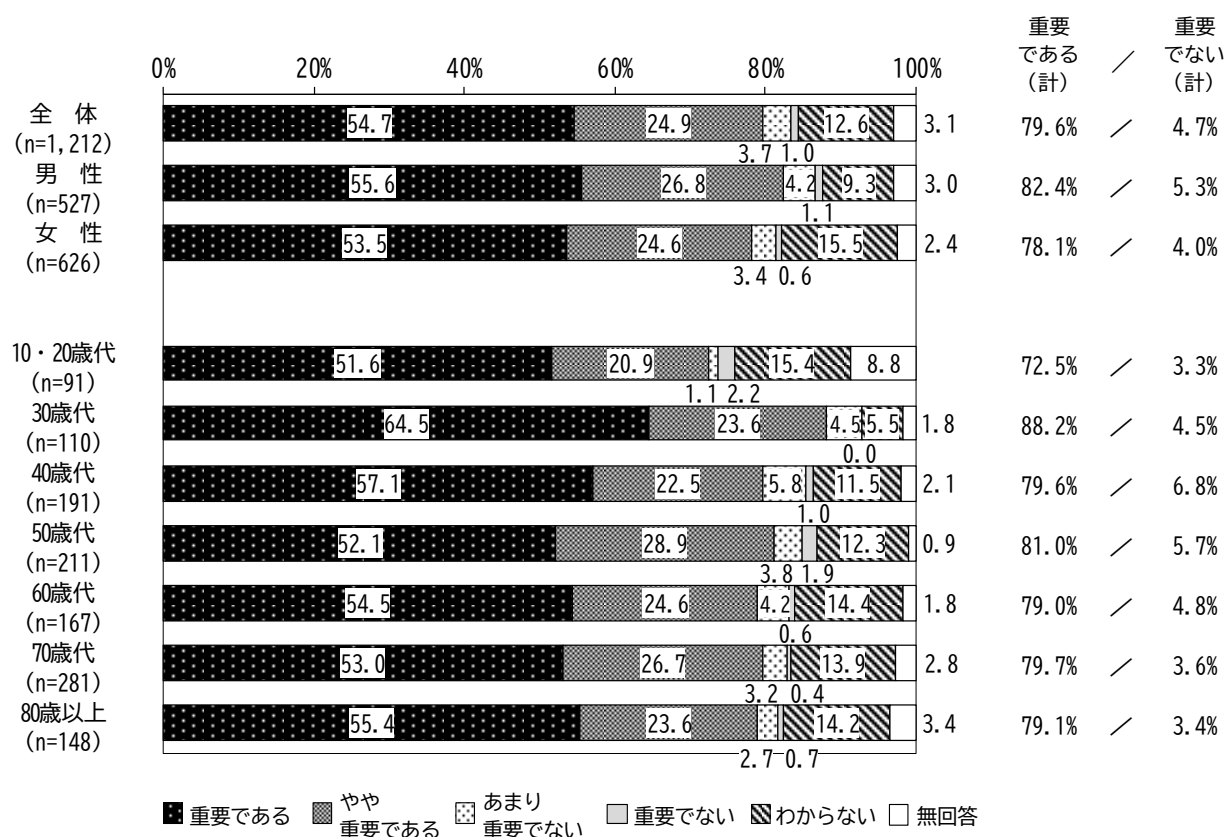
【施策 15】 基地対策、基地との新たな関わり に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・住宅防音工事について、市民へのインフォメーションが伝達不足。
- ・助成金で行う防音工事の条件が厳しい。
- ・住宅騒音工事が一部の人（居住年数）が厚い恩恵を受けて、居住年数が 30 年未満の居住者への住宅防音工事補助がない。
- ・現在の国際情勢から、基地返還を声高に唱えることは国益を損ない、綾瀬市のイメージを低下に繋がりかねません。日米交流を強化して、市民の基地に対するネガティブなイメージをポジティブなものに変えていくような政策を企画・実施してほしい。
- ・工事の順番がいつになっても回ってこない。
- ・防音工事をしてくれる所の基準が不明。同じようにうるさいのに区域と区域外で分けられてしまう。
- ・もっと文化交流を行い、綾瀬市独自の強みを生み出していくべきと考えるから。

取組の重要度は、「重要である」が 54.7%と最も多く、「やや重要である」が 24.9%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 79.6%とほぼ8割であった。重要度のスコアは 3.581 で、35 施策の中で 15 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は男性の方が 4.3 ポイント高くなっている。一方で、女性は「わからない」が 6.2 ポイント高い。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「30 歳代」で 88.2%と最も高く、「50 歳代」（81.0%）でも 8 割を超えているが、「10・20 歳代」（72.5%）は 7 割台前半にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、**Aゾーン【重点改善施策】**に分類され、重要施策であると認識されており、満足度を高めていく必要があることから、従来の施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

3 都市づくり

(16) 【施策 16】 公共交通ネットワーク

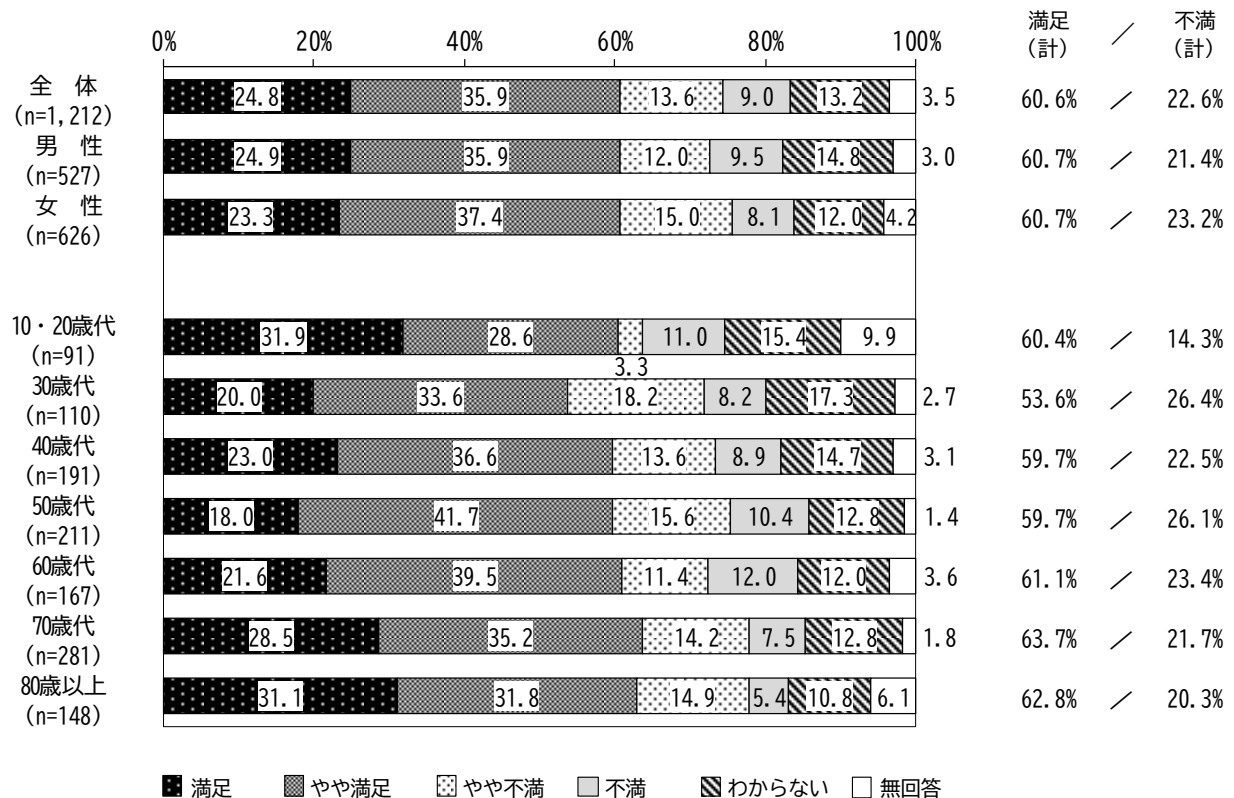
施策概要：地域公共交通の利便性向上を図るため、社会状況の変化やあらゆる世代に対応した移動手段の充実に向けたコミュニティバスの再編や新たな交通手段導入の検討を行っています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が35.9%と最も多く、「満足」が24.8%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は60.6%と約6割であった。

満足度の順位は、35 施策の中で 25 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70 歳代」が 63.7%と最も高く、「80 歳代」が 62.8%と続くが、「30 歳代」では 53.6%と最も低い。

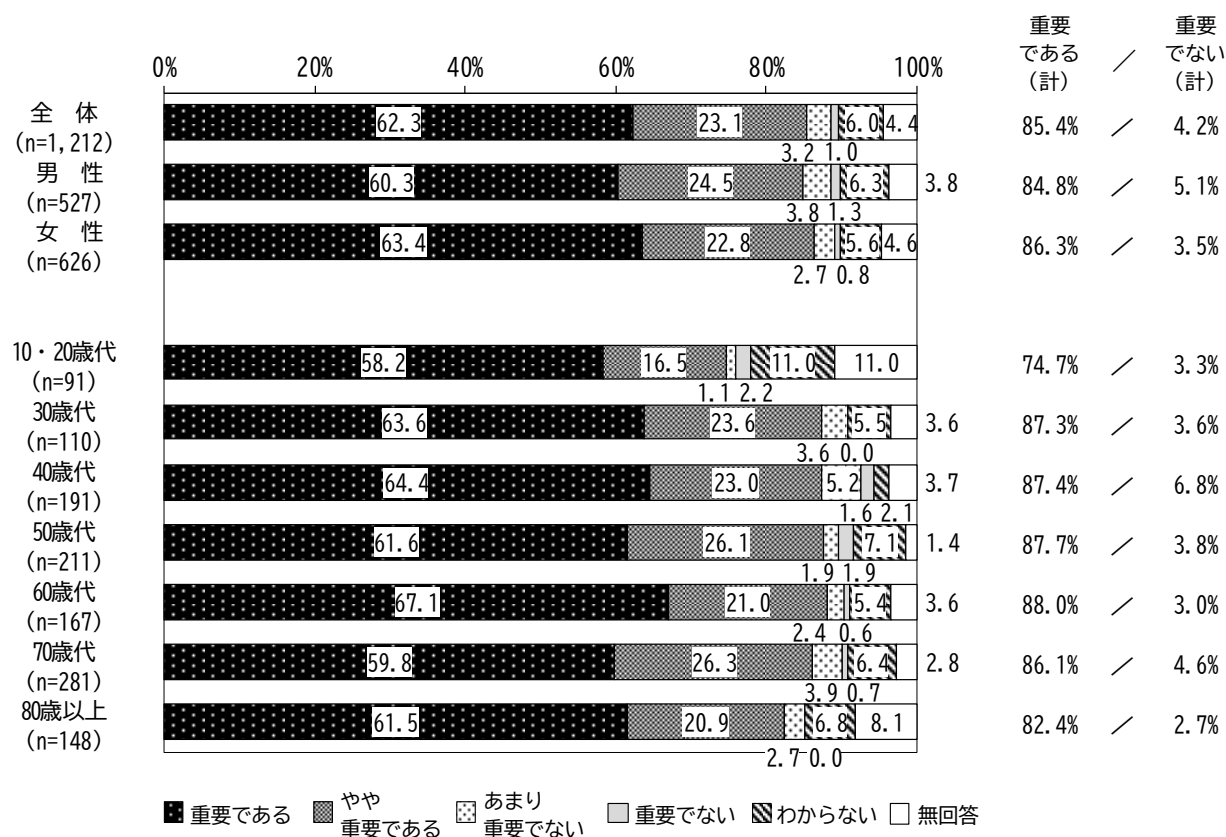


【施策 16】公共交通ネットワーク に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・コミュニティバスの本数が少なく、利用したい時間帯に運行してない。
- ・鉄道誘致を進めて欲しい。
- ・コミュニティバスの経路を再考してほしい。路線バスとコミバスの経路が重複している。
- ・駅のない綾瀬市として交通の便をもう少し細かく考える必要がある（コミバスは本数が少なすぎる）。
- ・コミュニティバスのバス停が遠く、使うことができない。
- ・コミュニティバスの支払いで PASMO が使えたら嬉しい。バスが小さい上に次の便までかなり間があるので、途中乗車する場合に乘れるのか不安になる。
- ・市内に駅がないのだからもっと安い値段で海老名まで行けるようにしてほしい。コミュニティバスは実質老人向けだから、若い人や通勤、通学に向けた交通手段を市で導入してほしい。

取組の重要度は、「重要である」が 62.3%と最も多く、「やや重要である」が 23.1%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 85.4%と 8 割台半ばを占めた。重要度のスコアは 3.637 で、35 施策の中で 10 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、「重要である」は女性の方がわずかに高くなっている。年代別に見ると、【重要である（計）】は「30 歳代」以上の年代では 8 割を超えており、「60 歳代」で 88.0%と最も高いが、「10・20 歳代」（74.7%）は 7 割台半ばにとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、**Aゾーン【重点改善施策】**に分類され、重要施策であると認識されており、満足度を高めていく必要があることから、従来の施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

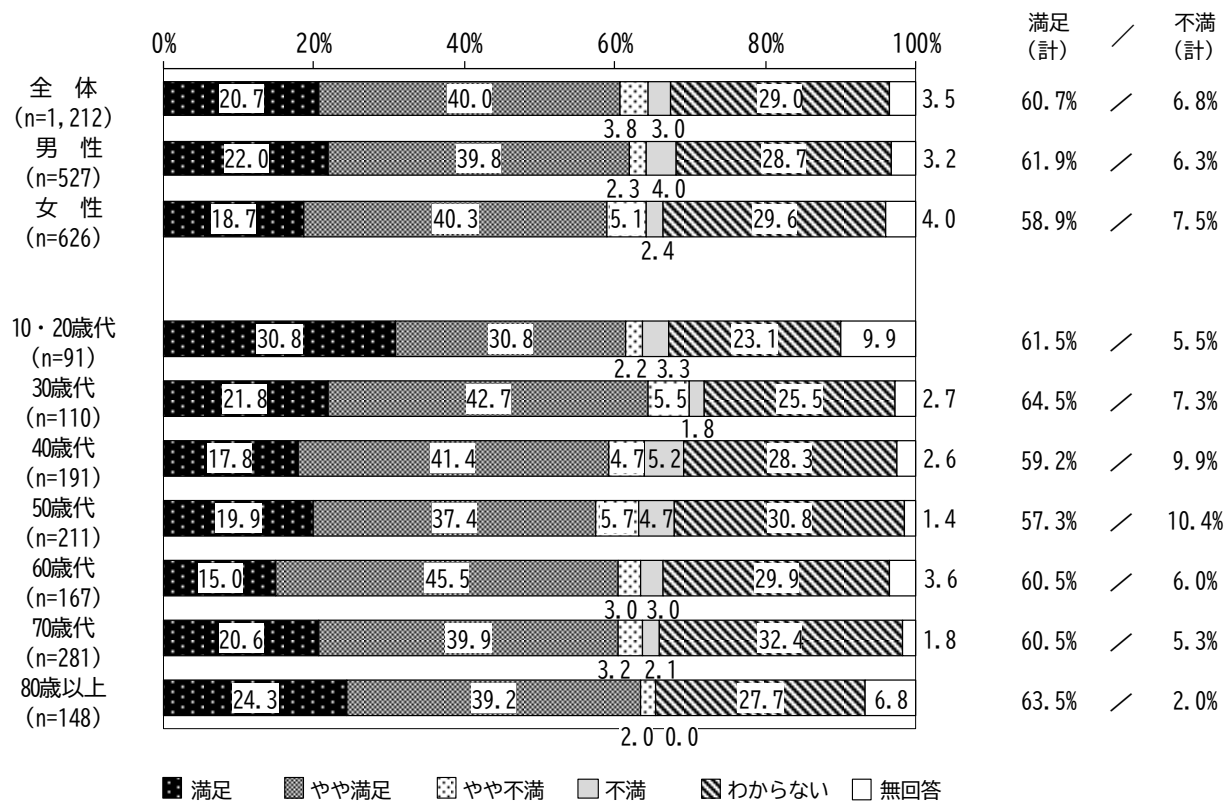
(17)【施策 17】住宅、景観

施策概要：市民が過ごしやすく、安全性が確保された住環境の整備を図るため、木造住宅及び危険なブロック塀等の耐震化に係る費用の一部を助成しているほか、市営住宅の維持管理、良好な景観を維持するための規制や誘導などを行っています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 40.0%と最も多く、「わからない」が 29.0%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 60.7%と約 6 割であった。
満足度の順位は、35 施策の中で 24 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、【満足（計）】は男性の方がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「30 歳代」が 64.5%と最も高く、「80 歳代」が 63.5%と続くが、「50 歳代」（57.3%）、「40 歳代」（59.2%）では 6 割を下回った。



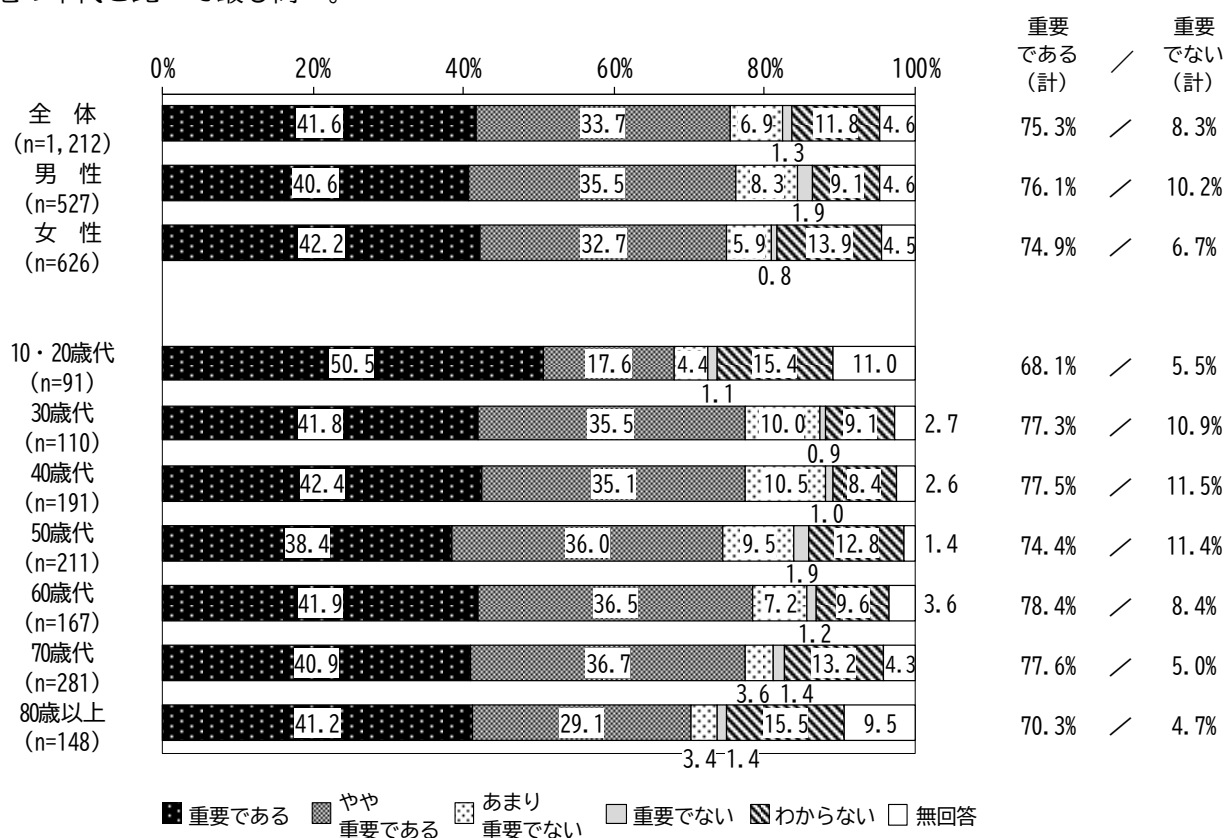
【施策 17】住宅、景観 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・助成があること知らない。補助に関してもっとアピールする、もしくはわかりやすい情報開示を行うべき。
- ・取組はいいと思うが、進展は感じられない。
- ・街の景観も重要だが、空き家が多すぎる。
- ・耐震化はもちろんですが、老朽化や不法投棄についてもう少し力を入れて欲しいと思うところがあります。
- ・危険なブロック塀があり、担当部署に連絡したが、対応が遅い！！
- ・住宅の危険なブロックがある家は高齢者が多く、その方たちに告知ができていない。空き家の場合はどうするのか？
- ・道路に面さないブロック塀が補助対象外であることが不満。

取組の重要度は、「重要である」が41.6%と最も多く、「やや重要である」が33.7%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は75.3%と全体の4分の3を占めた。重要度のスコアは3.383で、35施策の中で28位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は大きな差が見られなかったが、「わからない」は女性の方が4.8ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「30歳代」以上の年代では7割を超えており、「60歳代」で78.4%と最も高い。「10・20歳代」は68.1%と最も低いが、「重要である」だけで見ると50.5%と他の年代と比べて最も高い。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

(18)【施策18】公園

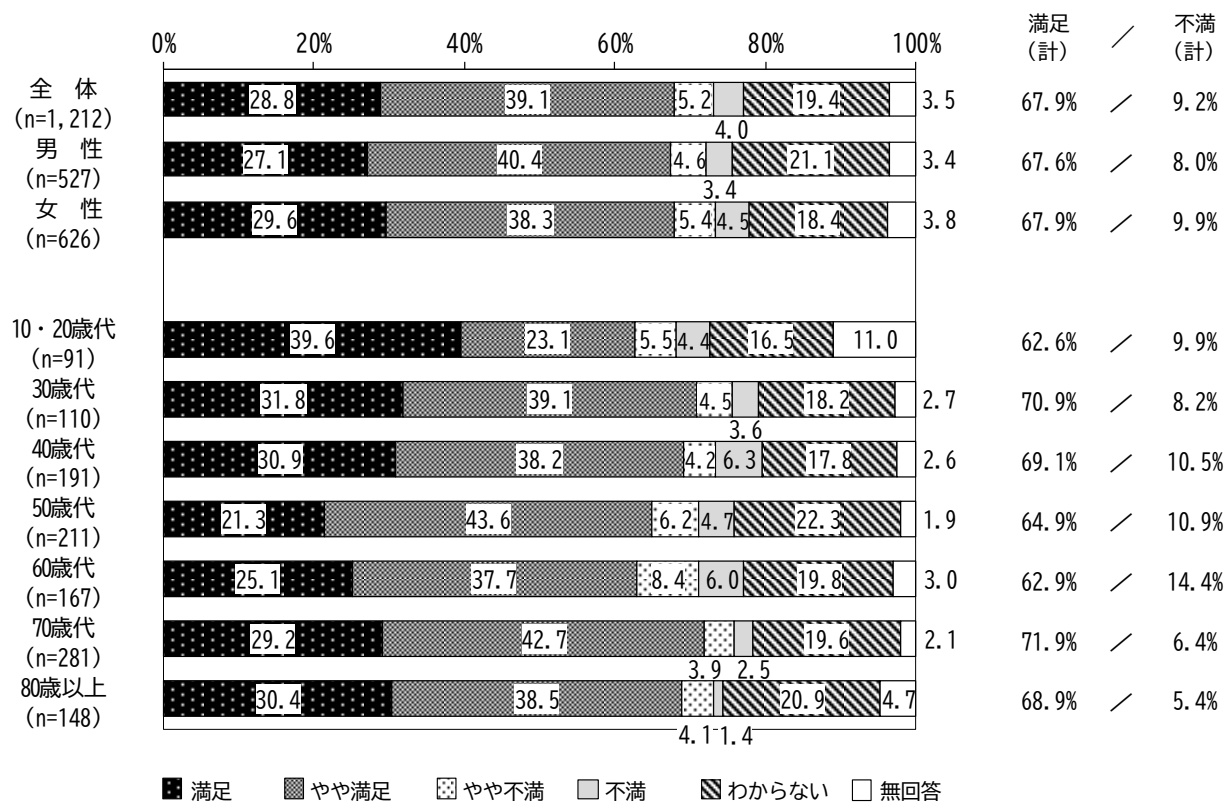
施策概要：公園のにぎわいと魅力の創出を図るため、公園内のオープンスペースを活用した**キッチンカー導入事業**を実施しています。また、**市のバラを主軸とした魅力ある公園づくり**として、スポーツのみならず、市内イベントの開催場所ともなる多目的フィールドのオープンを含めた**光綾公園の再整備**を進めています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が39.1%と最も多く、「満足」が28.8%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は67.9%と7割に近い。

満足度の順位は、35施策の中で12位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70歳代」が71.9%と最も高く、「30歳代」（70.9%）でも7割を超えている。「10・20歳代」は62.6%と最も低いが、「満足」だけで見ると39.6%と他の年代と比べて最も高い。



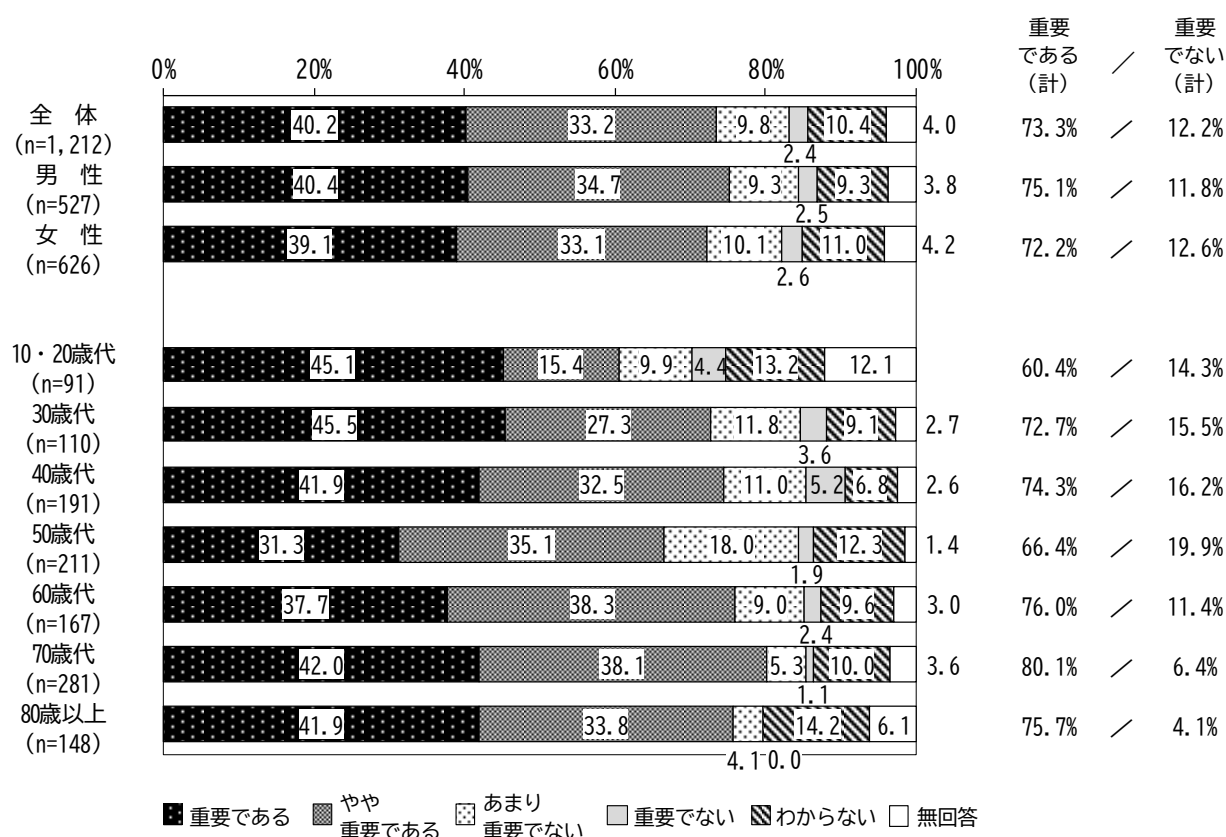
【施策 18】公園 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・キッチンカーが公園に来るのはよいことと思うが料金が高すぎ。市でサービス券を出すなどの助成をしてほしい。
- ・地区の公園は草だらけで整備不十分。
- ・綾瀬市全体的に公園内トイレが不衛生かつ暗く、子供が使いにくい。水道も手が届かない。オムツ替えスペースや子供トイレなど、各公園のトイレを新設してほしい。
- ・子供がボール遊びができる公園が少なすぎる。安全性や見栄えばかり注目するのが公園の意義とは思えない。子供の育成の場が公園ではないかと思うのだが。
- ・駐車場が狭いので期待があまりできない。
- ・どんなに整備されても光綾公園まで行く路線がありません（高齢者は免許返納で…）。
- ・ペットが増えてるので、ドッグラン的な物を作ってもらえるとありがたい。

取組の重要度は、「重要である」が 40.2%と最も多く、「やや重要である」が 33.2%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 73.3%と7割を超えた。
重要度のスコアは 3.299 で、35 施策の中で 29 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「70 歳代」（80.1%）では8割を超えて高く、「10・20 歳代」は 60.4%と最も低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Dゾーン【維持施策】に分類され、重要であるとは認識されていないが、ある程度の満足は得られていることから、現在の水準を維持できるように着実に取組を推進していくとともに、施策の重要性についてさらにアピールしていく必要がある。

(19)【施策 19】下水道、河川

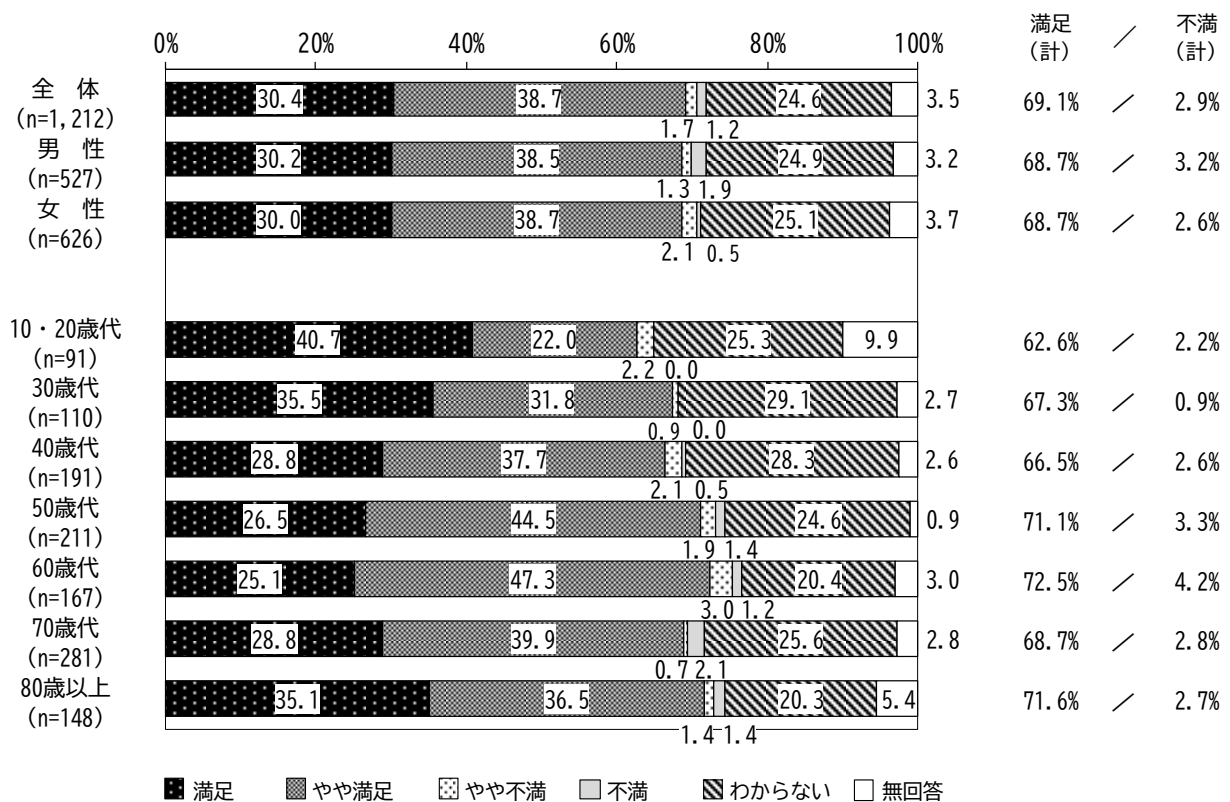
施策概要：健康で快適な市民生活を確保するため、老朽化対策として、計画的に污水管や終末処理場の修繕・改築に取り組んでいます。また、下水道を整備する計画が無い区域における生活環境の悪化防止を図るため、合併処理浄化槽への転換に係る費用の一部を助成しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が38.7%と最も多く、「満足」が30.4%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は69.1%とほぼ7割であった。

満足度の順位は、35 施策の中で 11 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「60 歳代」が72.5%と最も高く、「80 歳以上」（71.6%）、「50 歳代」（71.1%）でも7割を超えている。「10・20 歳代」は62.6%と最も低いが、「満足」だけで見ると40.7%と他の年代と比べて最も高い。



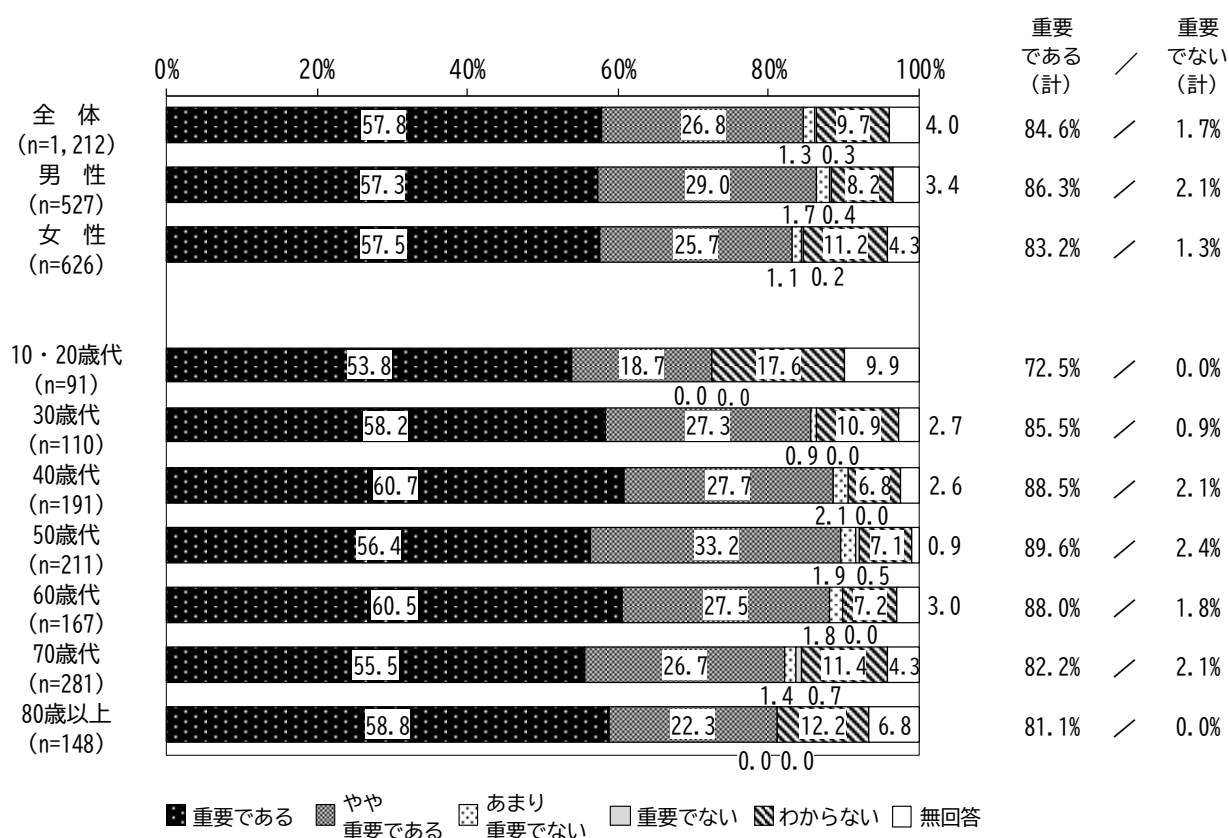
【施策 19】下水道、河川 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・下水工事が出来ていない所があったり、基準をもっと緩めてほしい。
- ・どこで何をしてどのくらい負担をするのか全く不明である。
- ・本下水の接続が近隣の市に比べ遅い。
- ・目の前の家はまだ合併処理浄化槽を使っていて排水口に流れて臭い。
- ・整備の遅れで不平等感がある。特に浄化槽くみ取りで一社独占は納得いかない。
- ・下水道料金が高いと思います。
- ・住民に費用を負担させるのはやめるべき。

取組の重要度は、「重要である」が 57.8%と最も多く、「やや重要である」が 26.8%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 84.6%と 8 割台半ばを占めた。重要度のスコアは 3.647 で、35 施策の中で 9 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、【重要である（計）】は男性の方がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「50 歳代」が 89.6%と最も高く、「40 歳代」（88.5%）、「60 歳代」（88.0%）でも 9 割近いが、「10・20 歳代」（72.5%）は 7 割台にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

4 産業振興

(20) 【施策 20】 工業振興、企業誘致

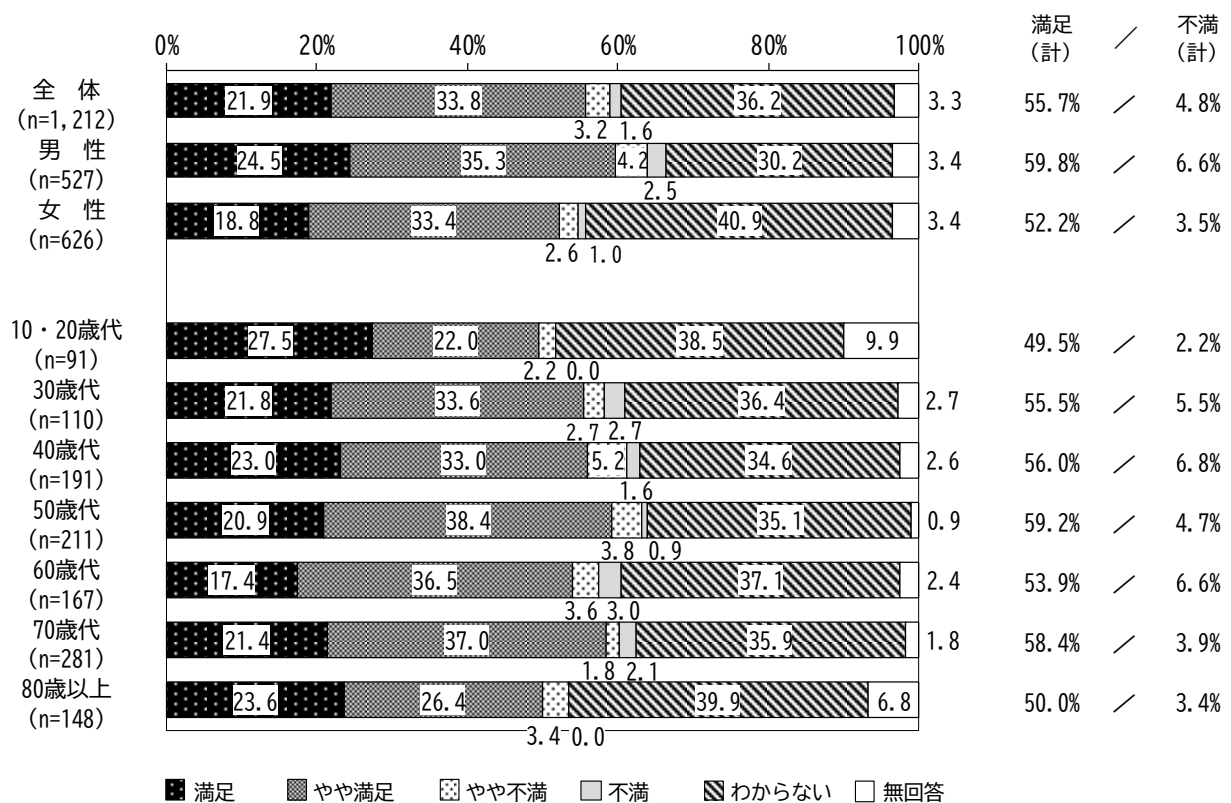
施策概要：市内企業の活性化を図るため、デジタル化やSDGsの推進、カーボンニュートラルの実現に取り組む市内企業を支援するほか、ものづくりのまちとしての魅力を広く発信しています。また、市内産業の活性化と市民の雇用機会を創出するため、新規立地する企業と事業拡大する既存企業を支援しています。

取組に対する満足度は、「わからない」が36.2%と最も多く、「やや満足」が33.8%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は55.7%と5割台半ばであった。

満足度の順位は、35 施策の中で31 位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は男性の方が7.6 ポイント高く、「わからない」は女性の方が10.7 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「50 歳代」が59.2%と最も高く、「70 歳代」が58.4%と続くが、「10・20 歳代」（49.5%）は5割を下回った。



【施策 20】工業振興、企業誘致 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

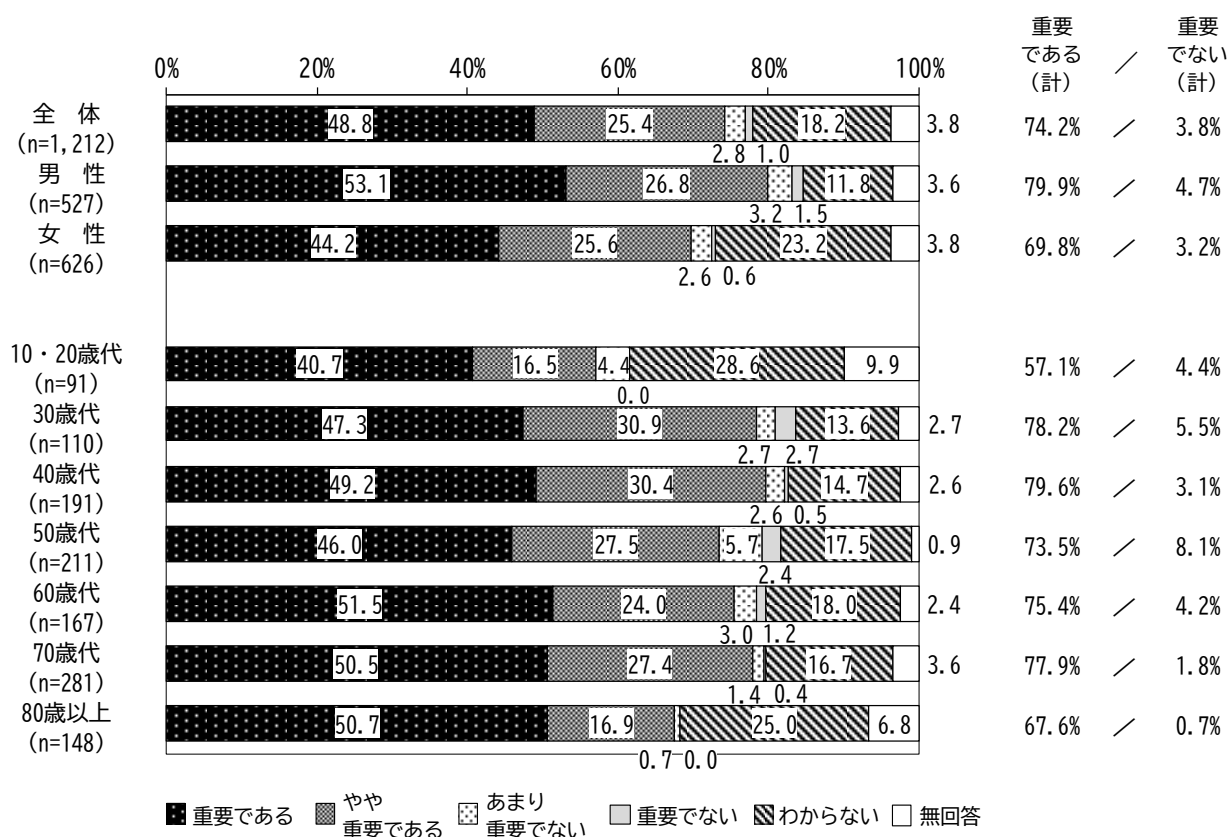
- ・企業誘致も良いが、市民の雇用拡大に関連していないのでは？
- ・地域産業の基幹となる大規模工場の誘致をして欲しい。
- ・どのような分野の産業をどのような（方法・環境）と手順で（育成・誘致）するか不明。
- ・企業誘致のためにはどうしても交通網を増やしていただきたい。鉄道や交差点を広げるとか。
- ・SDGsやカーボンニュートラルが本当に正しいことなのか分からない。
- ・タウンヒルズ、消防署跡地の誘致を期待しています。
- ・新規立地する企業には周辺住民の生活に悪影響が及ばないよう、事前に市民との調整をしっかり行ってほしい。

取組の重要度は、「重要である」が 48.8%と最も多く、「やや重要である」が 25.4%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 74.2%と全体の4分の3近くを占めた。

重要度のスコアは 3.564 で、35 施策の中で 17 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は男性の方が 10.1 ポイント高く、「わからない」は女性の方が 11.4 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「40 歳代」で 79.6%と最も高く、「30 歳代」が 78.2%と続くが、「10・20 歳代」（57.1%）は6割を下回った。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

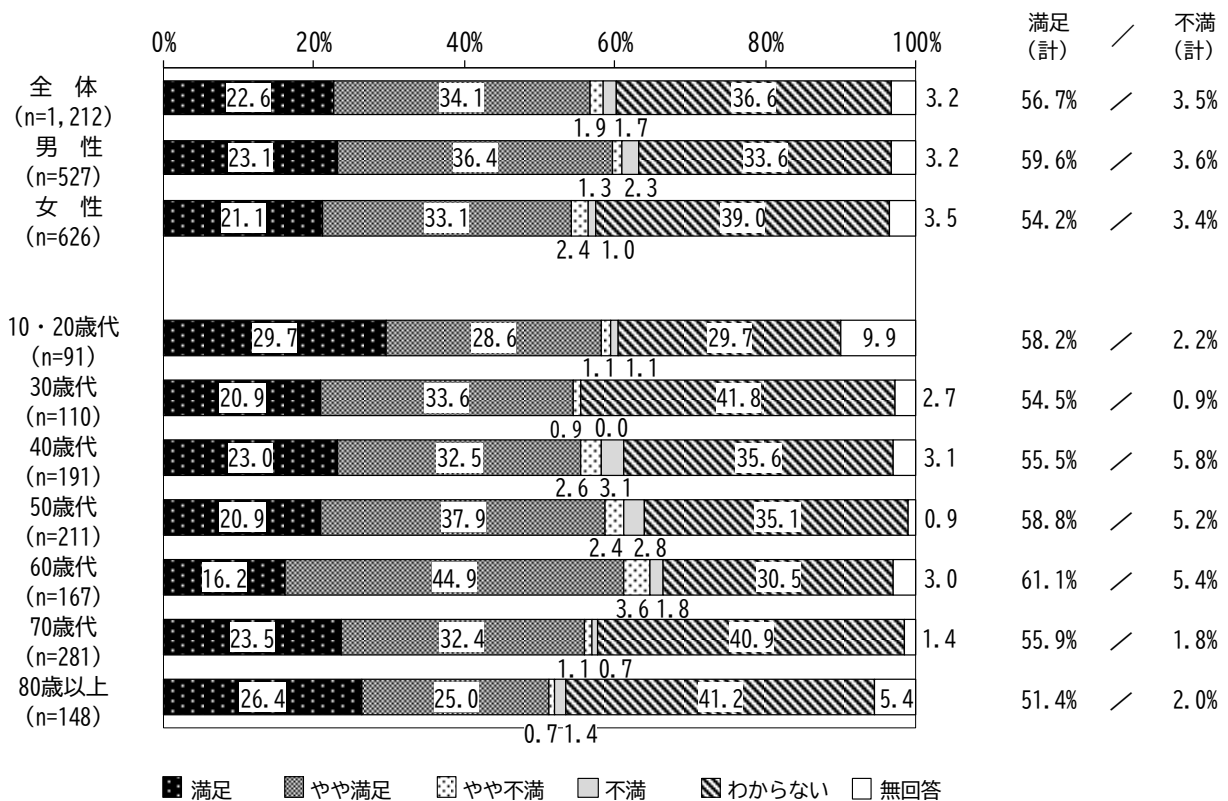
(21)【施策 21】労働環境

施策概要：障がい者や女性などの労働参加を促進させるため、障がい者雇用報奨金や職場環境改善の支援制度を構築しているほか、市内企業が退職金制度を確立させることで、従業員の安心感に繋げるため、退職金共済掛金の一部を支援しています。

取組に対する満足度は、「わからない」が 36.6%と最も多く、「やや満足」が 34.1%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 56.7%と 5 割台半ばであった。
満足度の順位は、35 施策の中で 30 位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は男性の方が 5.4 ポイント高く、「わからない」は女性の方が 5.4 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「60 歳代」（61.1%）が 6 割を超えて最も高く、「50 歳代」（58.8%）、「10・20 歳代」（58.2%）と続くが、「80 歳以上」は 51.4%にとどまった。



【施策 21】労働環境 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

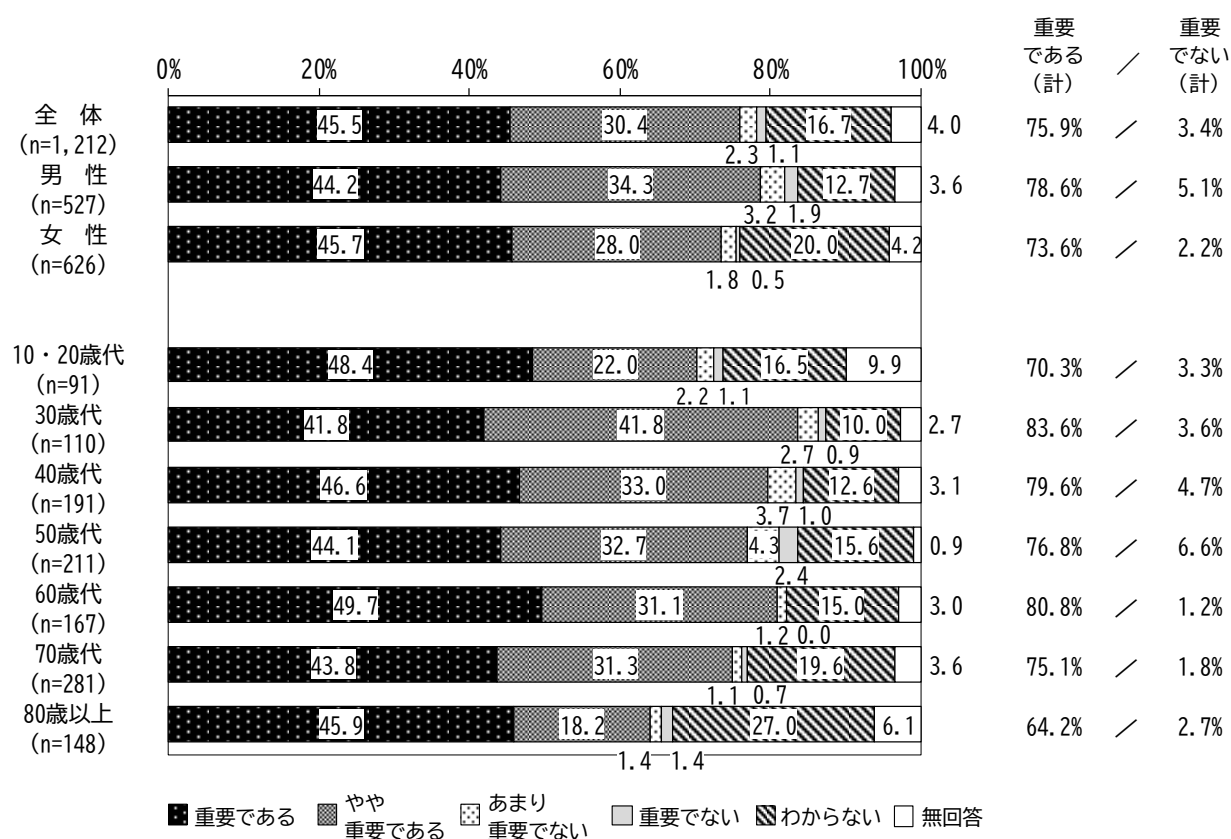
- ・制度がわかりにくい。必要な人に伝わる努力をしてほしい。
- ・現状取り組みの成果を感じていない。
- ・雇用を広げることは大切ですが、一部の人の退職金等を税金で補う必要はないと思う。
- ・職場環境や退職金は企業がやること。行政に関わる必要はない。障害者雇用は賛成。
- ・どの程度効果があるのか疑問。
- ・末端企業まで伝わっていない。

取組の重要度は、「重要である」が 45.5%と最も多く、「やや重要である」が 30.4%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 75.9%と全体の4分の3を占めた。

重要度のスコアは3.517で、35 施策の中で 20 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は男性の方が 5.0 ポイント高く、「わからない」は女性の方が 7.3 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「30 歳代」が 83.6%と最も高く、「60 歳代」（80.8%）も 8 割台となっているが、「80 歳以上」（64.2%）は 6 割台にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

(22)【施策 22】商業振興、観光振興

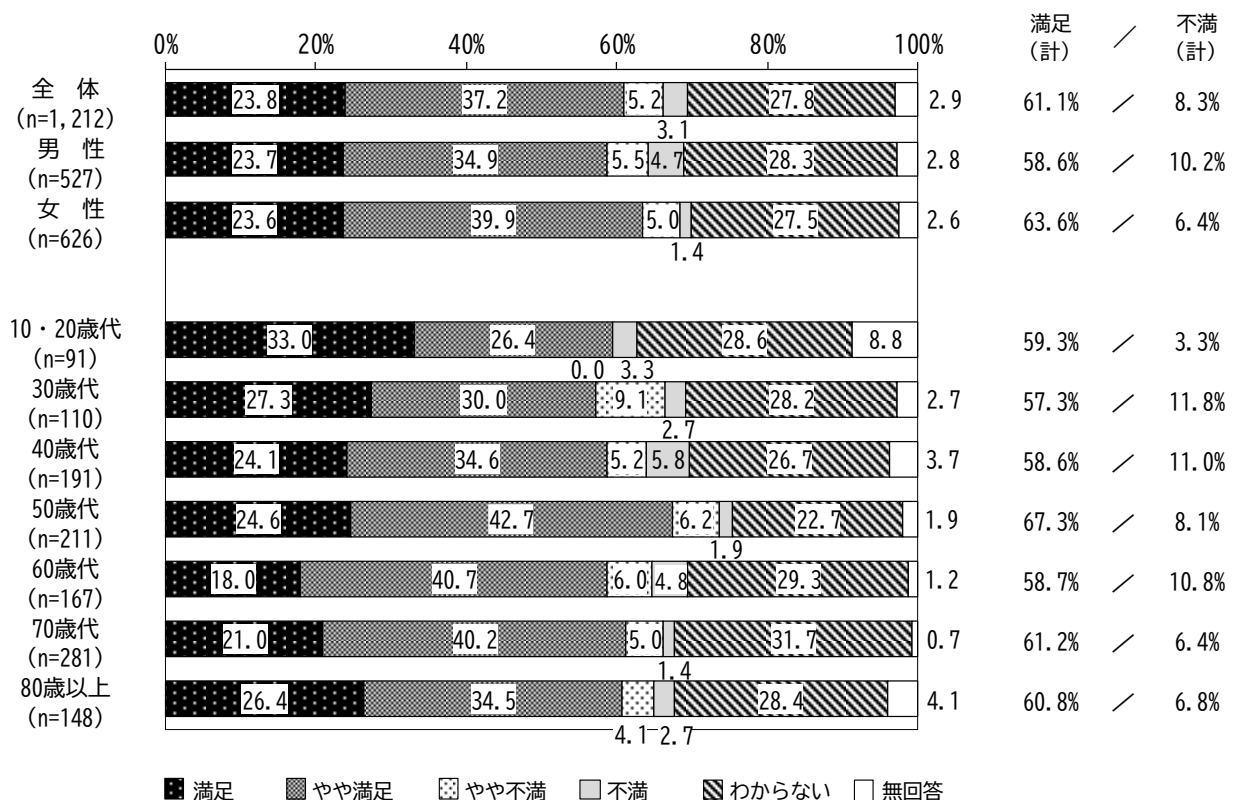
施策概要：市内商業を活性化させるため、市内商業者が行う商品の開発や販売促進に係る費用を補助するとともに、ロケ地看板の設置やロケ地マップの作成、飲食店等との連携によるサイクルスタンプラリー（びゅ〜っとあやせ）やトウモロコシを活用した観光イベントの開催など、本市ならではの観光事業を展開しています。また、実行委員会が開催する観光イベント Ayase Baseside Festival の開催を支援し、市内観光を推進しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 37.2%と最も多く、「わからない」が 27.8%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 61.1%と 6 割を超えた。

満足度の順位は、35 施策の中で 20 位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は女性の方が 5.0 ポイント高い。

年代別に見ると、【満足（計）】は「50 歳代」が 67.3%と最も高く、「70 歳代」（61.2%）、「80 歳以上」（60.8%）と続くが、「30 歳代」では 57.3%と最も低い。

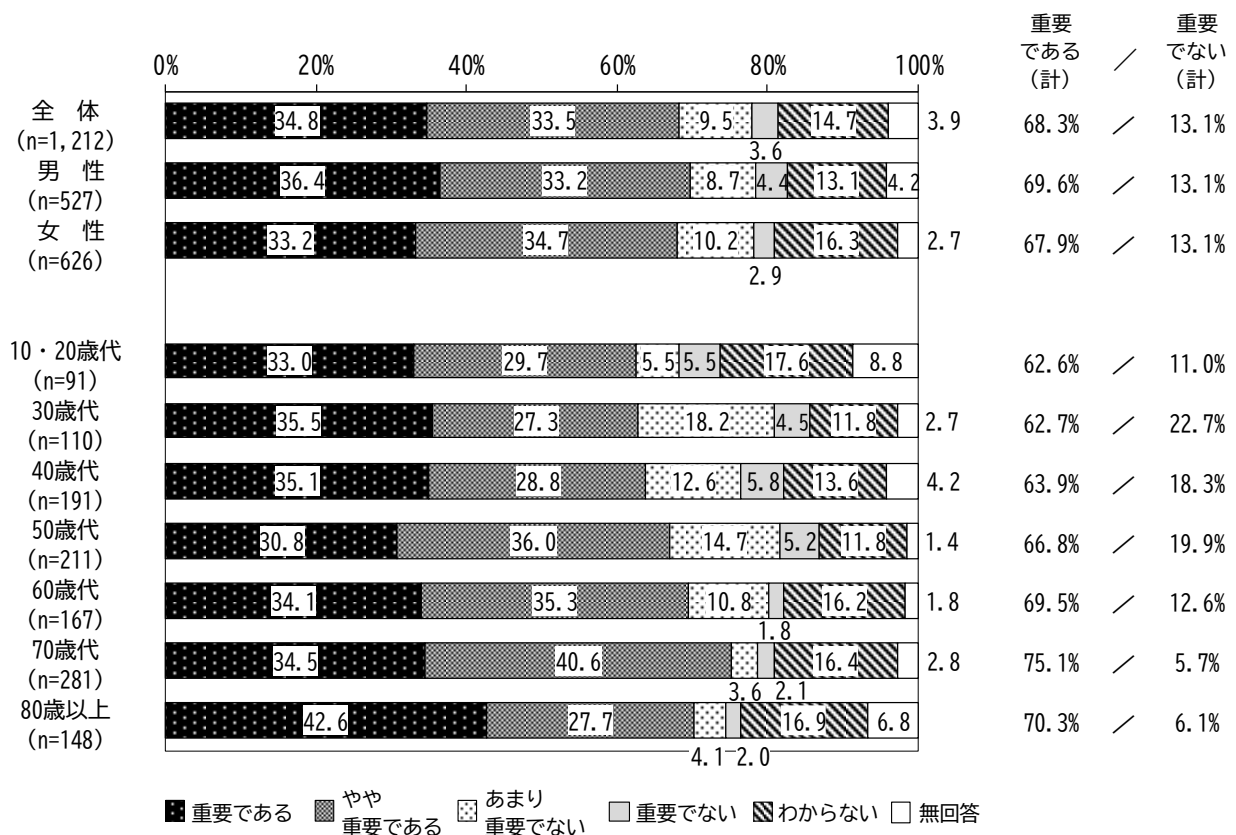


【施策 22】商業振興、観光振興 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・ イベント開催など知らない。もっと SNS などでも進めて欲しい。
- ・ ロケ地看板は必要でしょうか？マップがあれば十分かと思います。そのお金を他に利用してほしい。
- ・ タウンヒルズ周辺以外、これといった店が少ない。産業道路沿いにもっと誘致を！それと綾瀬の特産開発を！
- ・ もっと綾瀬の美味しいものをアピールしたり、道の駅を作って観光を盛んにして欲しい。
- ・ もともとの観光地ではないので無理にする必要はないのでは。静かな綾瀬でもよいのではと思います。
- ・ PR 不足と交通アクセスの不便さが相乗して効果的なアピールにつながっていない。
- ・ イベントはどれも土日なので参加する機会がない。観光としては今一つな感じ。ロケ地よりアニメの舞台になった地の方が面白いのでは？

取組の重要度は、「重要である」が 34.8%と最も多く、「やや重要である」が 33.5%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 68.3%と 7 割近くを占めた。重要度のスコアは 3.222 で、35 施策の中で 34 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、「重要である」は男性の方がわずかに高くなっている。年代別に見ると、【重要である（計）】は「70 歳代」が 75.1%と最も高く、「80 歳以上」（70.3%）も 7 割台となっているが、「40 歳代」より下の年代では 6 割台前半にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

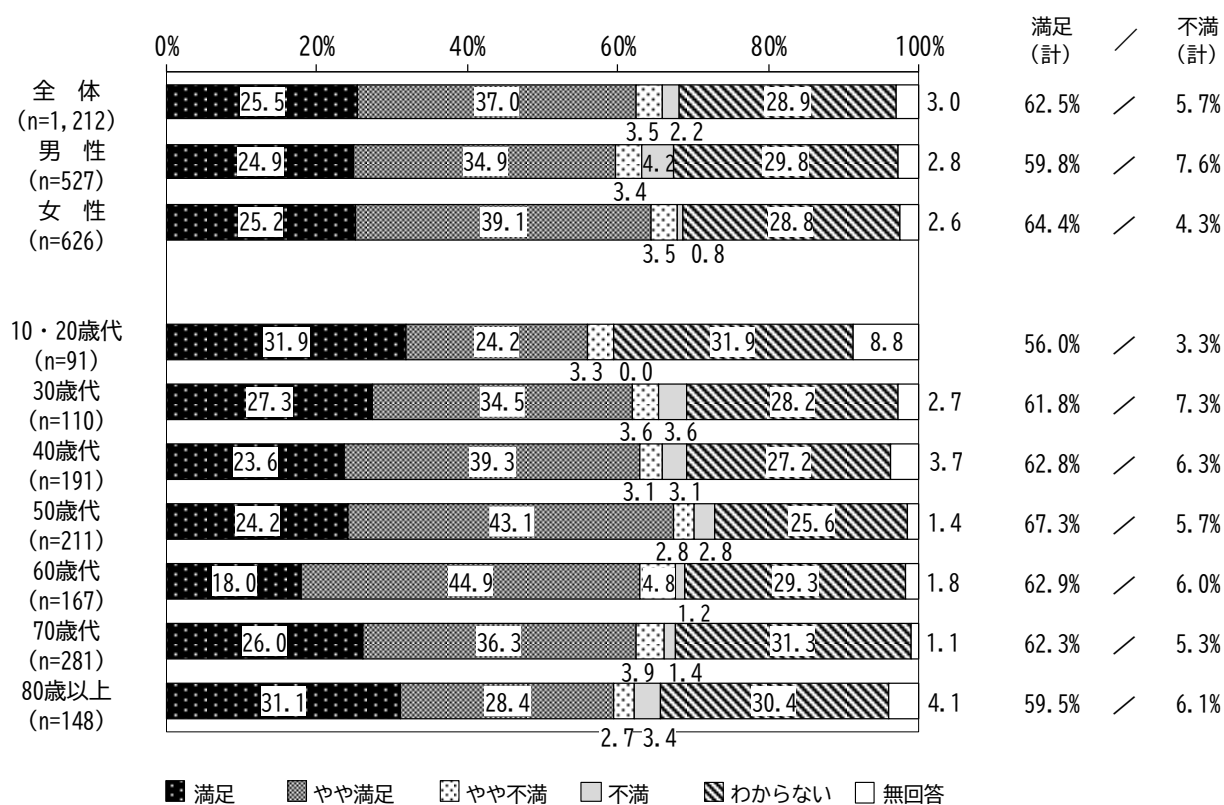
(23)【施策 23】農業振興、農地保全

施策概要：大消費地近郊の立地を活かした都市型農業を推進するため、菜速 あやせコーン®をはじめとした朝採れ野菜のPRや施設整備を行っています。また、農業の担い手不足を解消するため、新規就農者の発掘や農業へのボランティア人材を養成するとともに、不耕作地の発生防止に力を入れています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 37.0%と最も多く、「わからない」が 28.9%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 62.5%であった。
満足度の順位は、35 施策の中で 15 位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は女性の方が 4.6 ポイント高い。

年代別に見ると、【満足（計）】は「50 歳代」が 67.3%と最も高いが、「10・20 歳代」（56.0%）、
「80 歳以上」（59.5%）では 6 割を下回った。



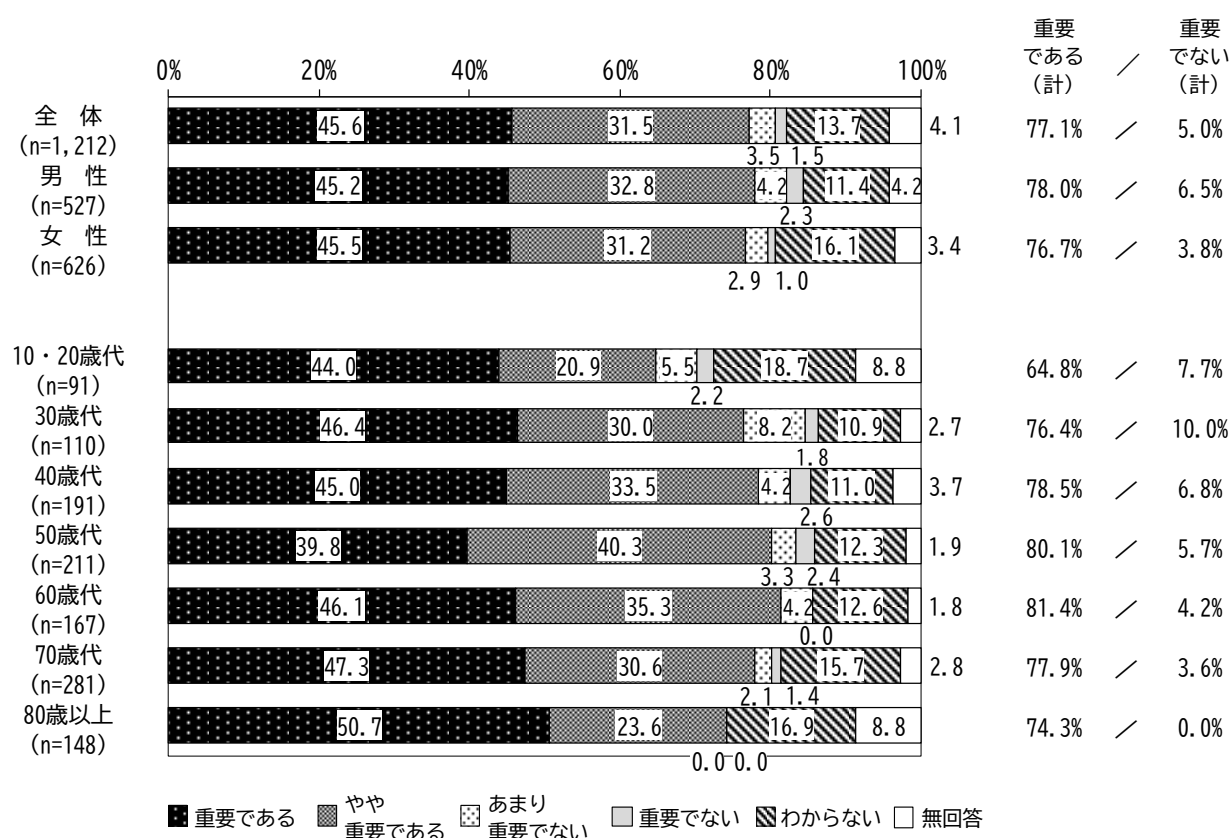
【施策 23】 農業振興、農地保全 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・やはりPRが少ない。もっと対外的にPRすべし。
- ・具体的にどんなことがされているのか情報として入ってこない。
- ・綾瀬産の野菜がどこで手に入るのかがPRできていない。既存のスーパーに売場を確保するなど方法はあると思う。
- ・市民が地元農産物を買える機会が少ない。
- ・道の駅をつくってそこで新鮮野菜を販売して欲しい。
- ・将来展望とそれに対する実現の手順が不明確。
- ・不耕作地と思われる農地の集団経営策などを一考すべきでは？

取組の重要度は、「重要である」が 45.6%と最も多く、「やや重要である」が 31.5%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 77.1%と 8 割近くを占めた。重要度のスコアは 3.476 で、35 施策の中で 24 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】では大きな差が見られなかったが、「わからない」は女性の方が 4.7 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「60 歳代」が 81.4%と最も高く、「50 歳代」（80.1%）も 8 割台となっているが、「10・20 歳代」（64.8%）は 6 割台にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

5 教育・文化

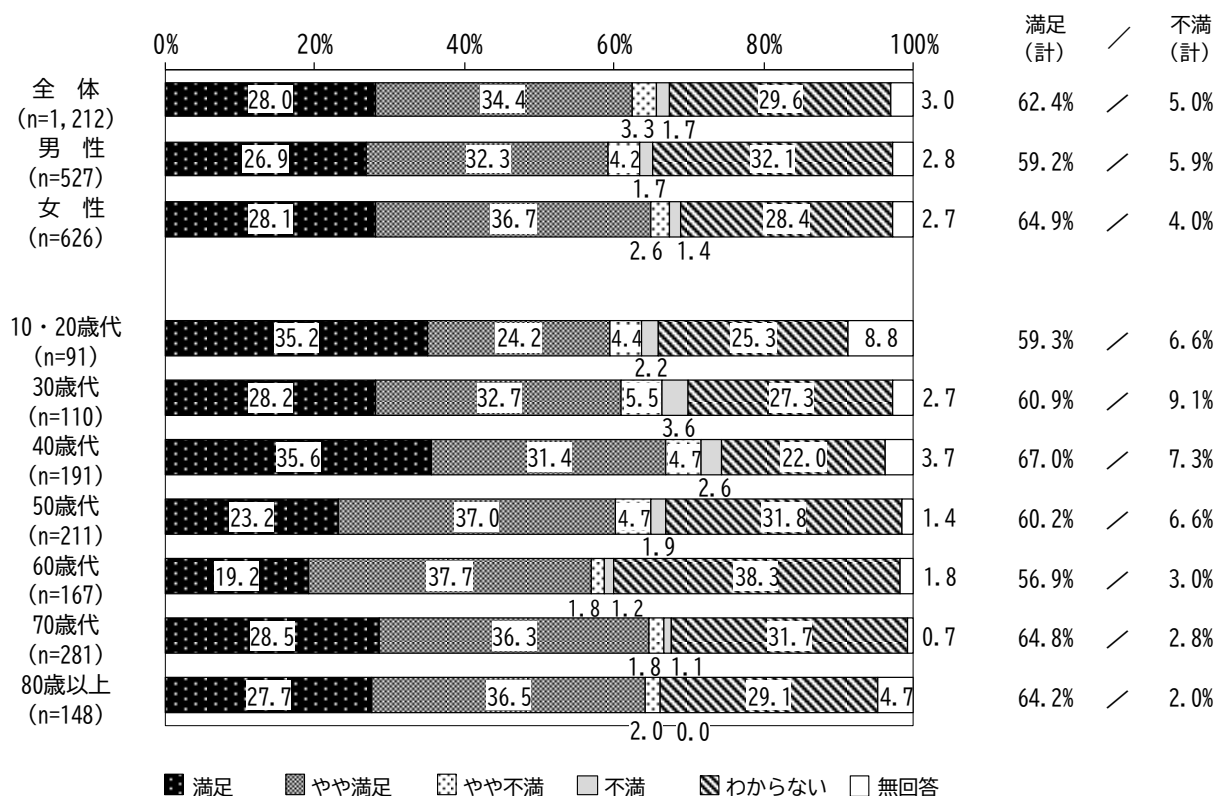
(24) 【施策 24】 学校教育

施策概要：読書を通して考える力や創造力を高めていくため、児童・生徒への1人1冊配本事業、学校図書館蔵書の充実、学校司書の勤務時間数の増を一体的に実施し、子どもの読書活動を推進しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が34.4%と最も多く、「わからない」が29.6%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は62.4%であった。
満足度の順位は、35 施策の中で16 位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は女性の方が5.7 ポイント高い。

年代別に見ると、【満足（計）】は「40 歳代」が67.0%と最も高いが、「60 歳代」（56.9%）、「10・20 歳代」（59.3%）は6割を下回った。



【施策 24】学校教育 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

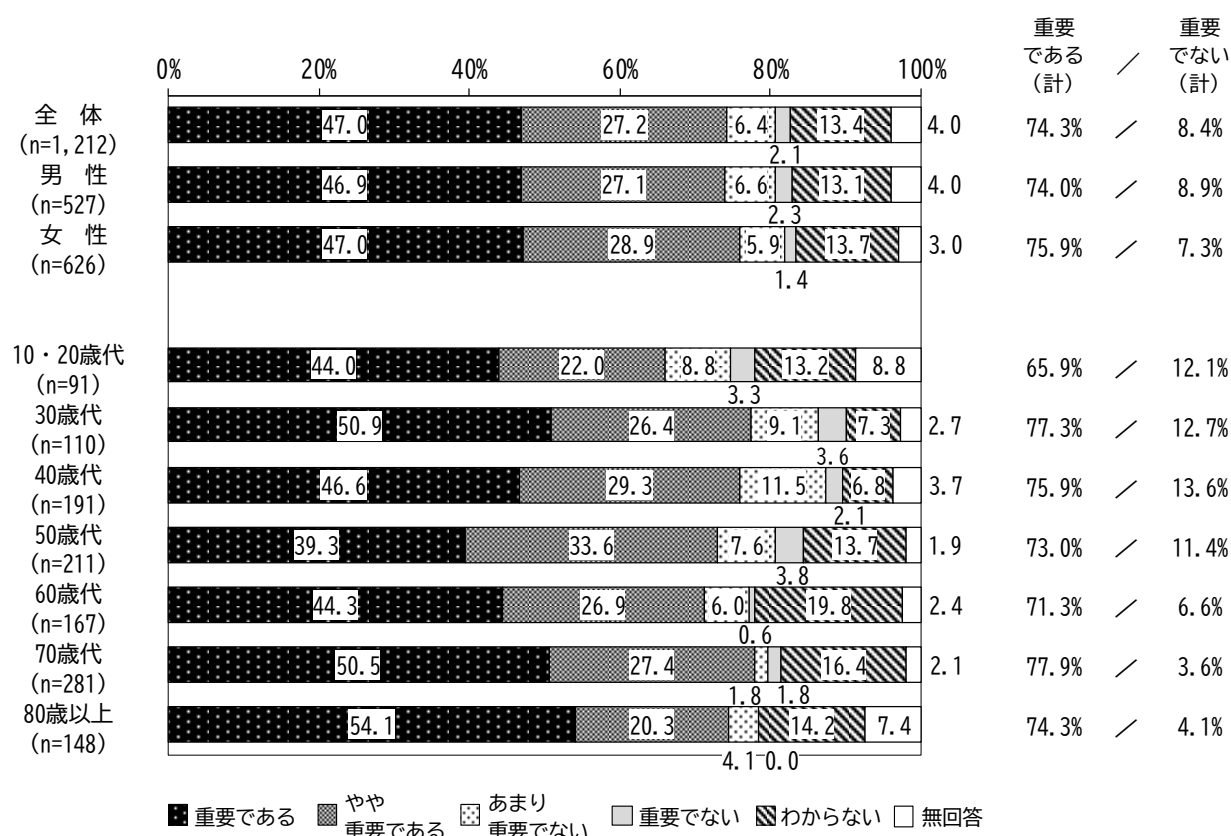
- ・ 1 人 1 冊配本は意味がない。親が努力することだと思う。
- ・ 子どもへの読書推進など取り組みが不透明。推進されてない。
- ・ それをした事で、実際にどれだけの成果が出てるのか不透明。
- ・ それぞれ好みがあるので配本をされても読まない。他にも方法があるのでは？
- ・ 子供の考える力や創造力を高めるのに、施策の方が柔軟性がなさ過ぎると感じます。
- ・ 学校よりも市の図書館を充実させたほうが良いのでは。
- ・ 近隣だと海老名や大和の図書館がとても魅力的です。図書館とカフェや美術館やホールが融合した魅力的な文化複合施設が綾瀬にも欲しい。

取組の重要度は、「重要である」が 47.0%と最も多く、「やや重要である」が 27.2%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 74.3%と全体の4分の3近くを占めた。

重要度のスコアは 3.442 で、35 施策の中で 25 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「70 歳代」で 77.9%と最も高く、「30 歳代」が 77.3%と続くが、「10・20 歳代」（65.9%）は6割台にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

(25)【施策 25】学校教育環境

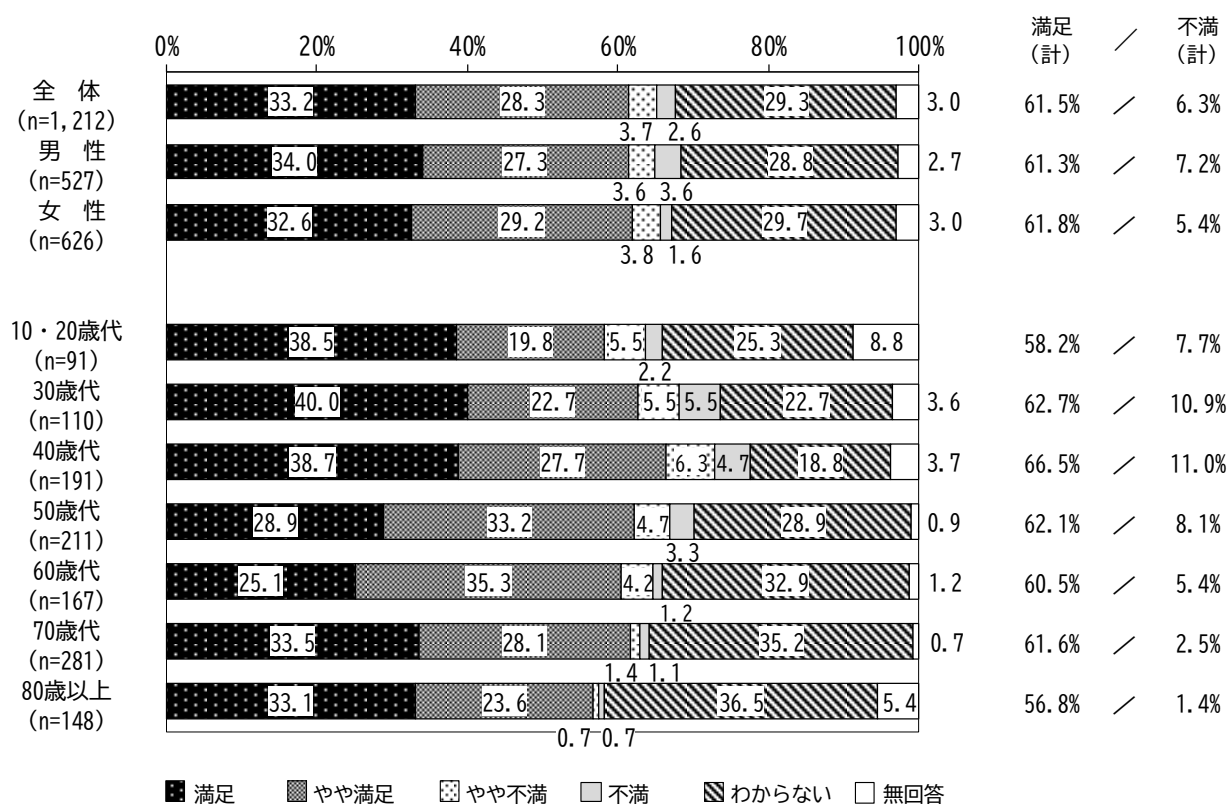
施策概要：ICT機器を活用した効果的な授業を実施するため、デジタル教科書や児童・生徒 1人1台のタブレット端末を整備しているほか、家庭学習でのオンライン教材の活用を図るため、モバイルWi-Fiルーターの貸出しを行っています。

取組に対する満足度は、「満足」が33.2%と最も多く、「わからない」が29.3%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は61.5%と約6割であった。

満足度の順位は、35施策の中で19位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「40歳代」が66.5%と最も高いが、「80歳以上」（56.8%）、「10・20歳代」（58.2%）では6割を下回った。



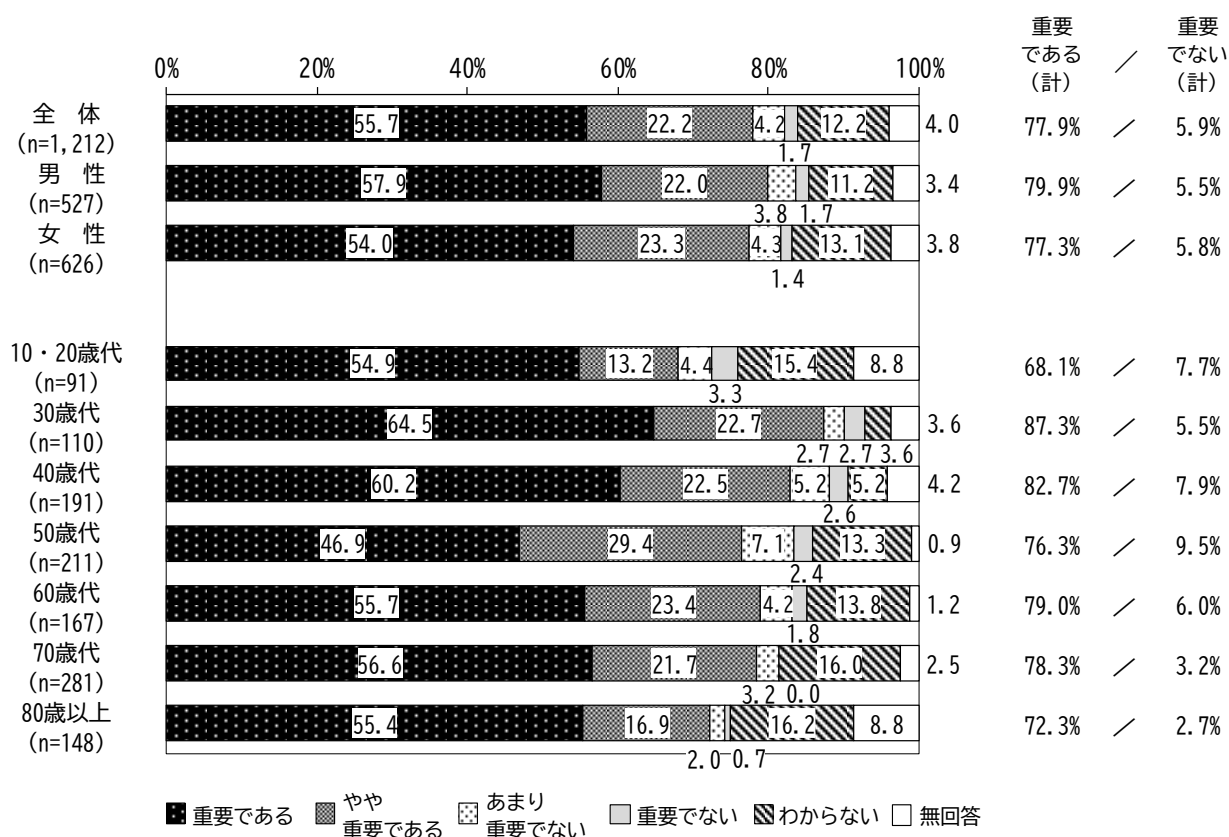
【施策 25】 学校教育環境 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・重いので持ち帰りが大変。あまり意味のあるように思えない。持つなら教科書は全部タブレットにした方がよい。
- ・デジタル化はもっと大きくなってからでよい。小中学生はもっと生（なま）の関わりの中での学習がよい。
- ・コロナの状況でもっと積極的にオンライン授業してほしかった。
- ・目が疲れやすくなるので、昔ながらの紙と上手く使い分けるべき。
- ・子どもの特性に合わせた授業内外での活用にもぜひ活かしてほしいです。
- ・タブレットは使い方によっては有効な学習ツールと思いますが、一つ間違えると危険なものにもなりうることを、生徒児童だけでなく教員も学ぶ機会をもっと作ってもらいたいと思います。

取組の重要度は、「重要である」が 55.7%と最も多く、「やや重要である」が 22.2%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 77.9%と 8 割近くを占めた。重要度のスコアは 3.573 で、35 施策の中で 16 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、「重要である」は男性の方がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「30 歳代」が 87.3%と最も高く、「40 歳代」（82.7%）も 8 割台となっているが、「10・20 歳代」（68.1%）は 6 割台にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

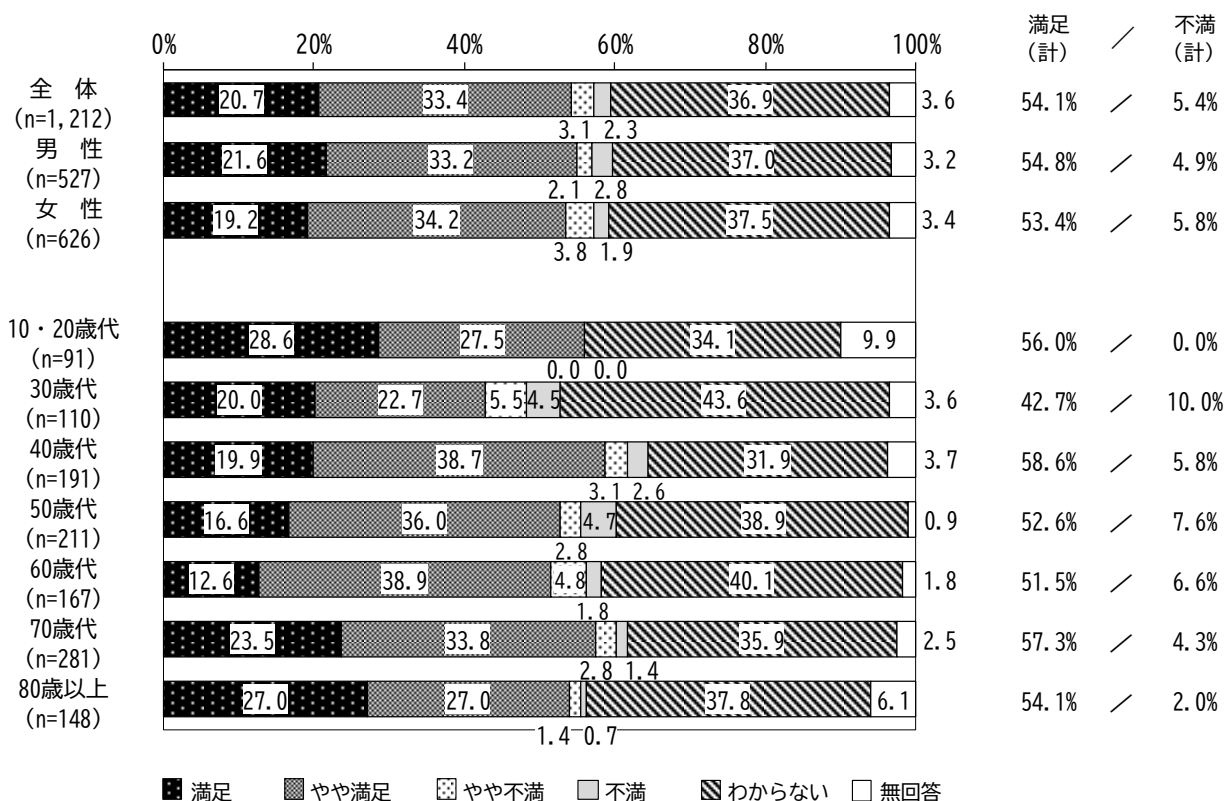
(26) 【施策 26】生涯学習

施策概要：市民の学習活動の支援や学習機会の提供のため、健康や芸術、教育など様々な分野の講師の紹介を行うほか、図書館や公民館などの施設を設置し講座の開催や学びの場を提供しています。また、P T A活動の支援や家庭の教育力の向上を図る講演会を開催しています。

取組に対する満足度は、「わからない」が 36.9%と最も多く、「やや満足」が 33.4%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 54.1%と 5 割台半ばにとどまった。
満足度の順位は、35 施策の中で 32 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「40 歳代」が 58.6%と最も高く、「70 歳代」が 57.3%と続くが、「30 歳代」（42.7%）は 4 割台にとどまった。



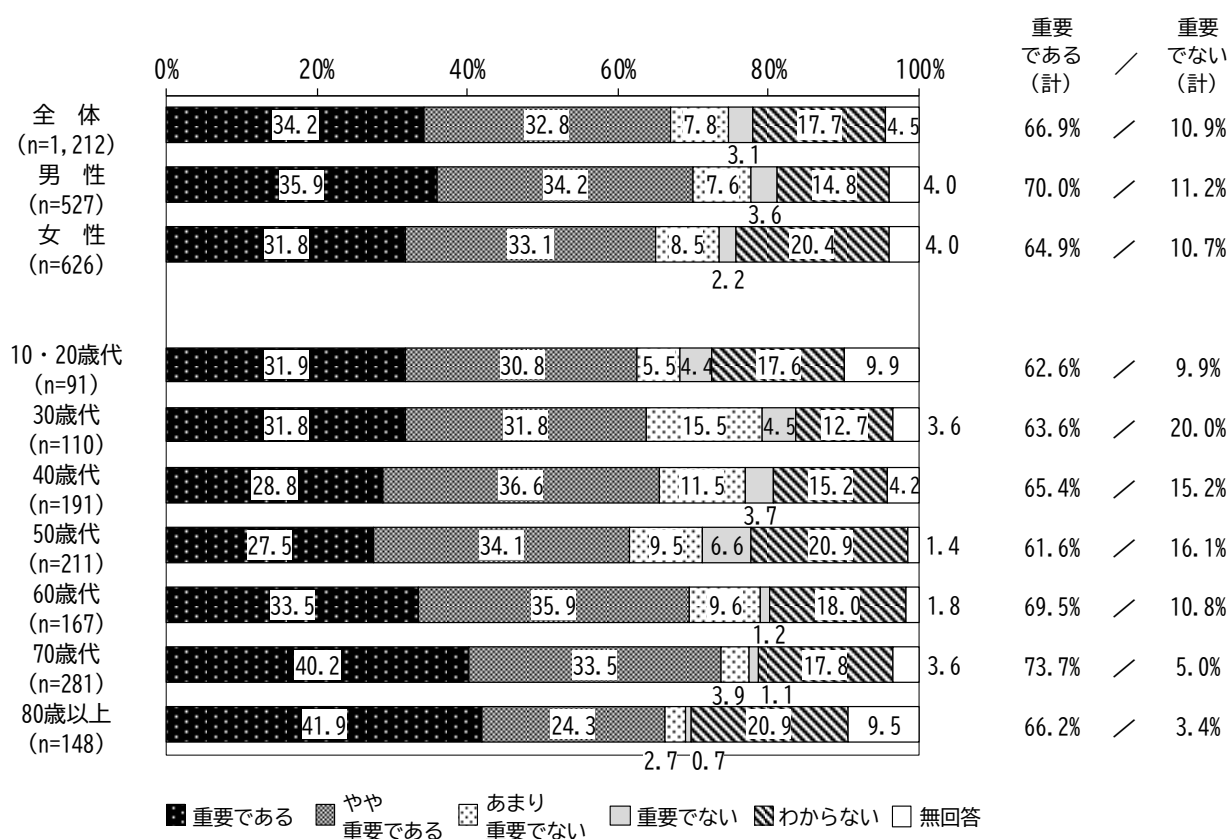
【施策 26】生涯学習 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・情報が伝わってこない。広報活動をもっとすべきでは？
- ・サークルなどは平日昼間が多いかなと。勤務しているからこそ学びたいこともあるので、夜や土日也希望いです。
- ・他市のようにもっといろいろな講座をやってほしい。
- ・具体的にどのような講座がいつどこで開催されているかの情報へのアクセスがしにくい。
- ・PTA活動はやってた時、負担だった。支援するなら別角度からの方がよい。
- ・市立図書館の設備を充実させてもらいたいです。また、PTA活動に関しては、現在の生活環境からくる問題点を考えて、その必要性を含め検討する時だと思います。
- ・もっとためになる講師を呼んでほしい。正直なところこれまでの講演などで行ってみたいと思えるものがなかった。誰に来てほしいと思って企画しているのかが全然見えてこない。

取組の重要度は、「重要である」が 34.2%と最も多く、「やや重要である」が 32.8%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 66.9%と6割台半ばであった。重要度のスコアは 3.260 で、35 施策の中で 30 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は男性の方が 5.1 ポイント高く、「わからない」は女性の方が 5.6 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「70 歳代」（73.7%）が7割を超えて最も高く、「60 歳代」（69.5%）もほぼ7割となっているが、「50 歳代」は 61.6%と最も低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

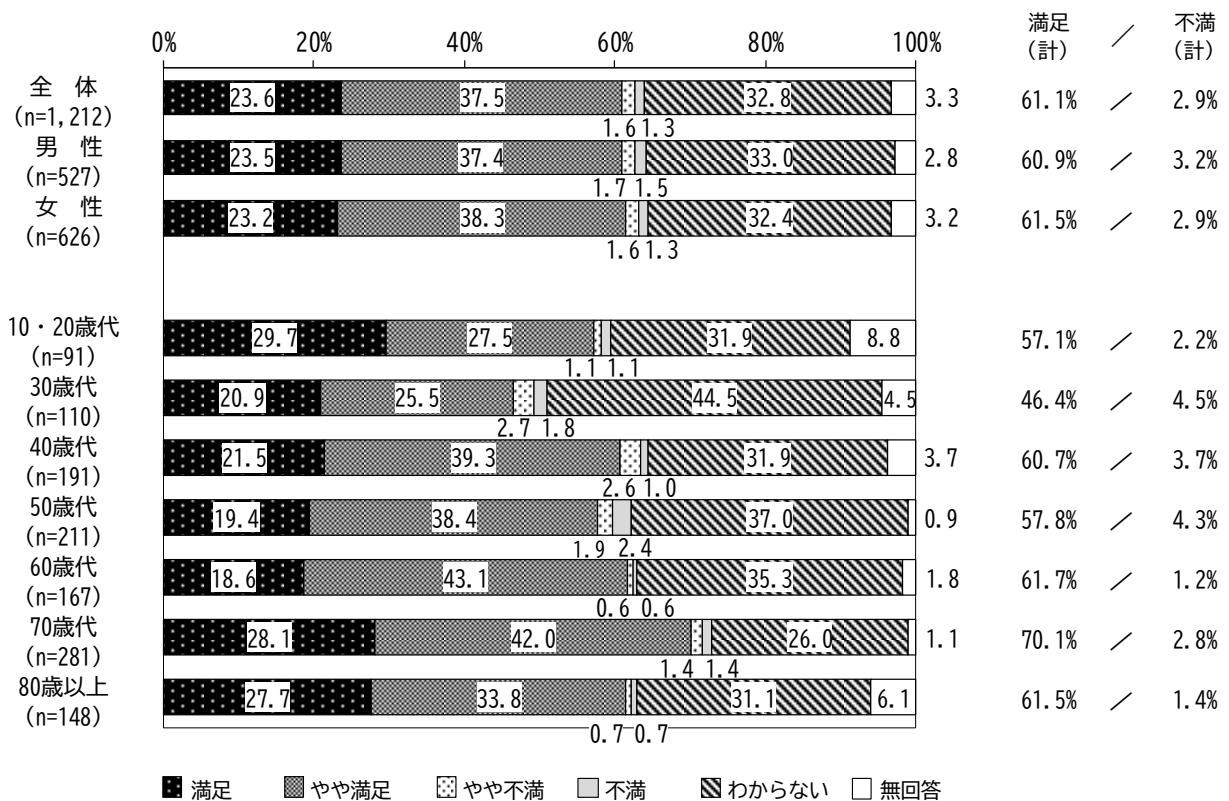
(27)【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動

施策概要：市民が行っている絵画・書道・音楽などの文化芸術活動を発表する場として、あやせ文化芸術祭等を開催しているほか、優れた文化芸術の鑑賞の機会を市民に提供しています。また、地域に伝承されてきた民俗芸能の保存維持や後継者を育成するため、伝統芸能活動を推進しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 37.5%と最も多く、「わからない」が 32.8%と続いている。
 【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 61.1%と約6割であった。
 満足度の順位は、35 施策の中で 20 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70 歳代」（70.1%）が7割を超えて最も高いが、「30 歳代」（46.4%）は4割台にとどまった。



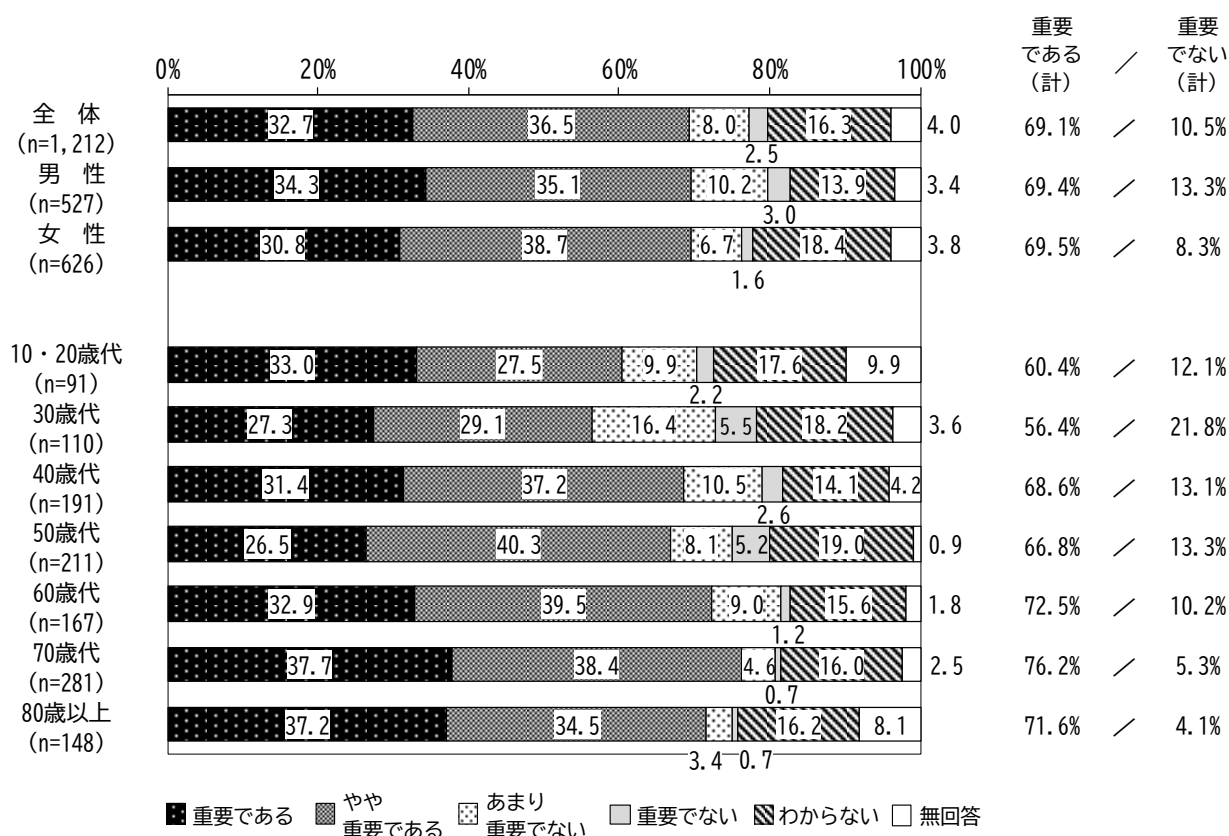
【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活動 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・PR不足が気になる。せっかく皆が努力して開催するが、当事者のみの開催になってしまう。
- ・高齢者の発表会が近年なくなってさびしい。かなり参加者が多かったので残念に思った人、グループが多かった。本祭ではハードルが高い。ただし、コロナ後は状況が変わると思う。
- ・情報発信が少ない。
- ・どこでやってるのか。やってたとしても行ける距離にない。
- ・海老名や相模大野のホールと比べると、有名なアーティストのコンサートや演劇の催しの機会が少なすぎる。

取組の重要度は、「やや重要である」が 36.5%と最も多く、「重要である」が 32.7%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 69.1%とほぼ7割であった。重要度のスコアは 3.248 で、35 施策の中で 31 位であった。

性別に見ると、【重要でない（計）】（「あまり重要でない」と「重要でない」の合計）は男性の方が 5.0 ポイント高く、「わからない」は女性の方が 4.5 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「70 歳代」が 76.2%と最も高く、「60 歳代」（72.5%）、「80 歳以上」（71.6%）も 7 割台となっているが、「30 歳代」（56.4%）は 6 割を下回った。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

6 環境

(28) 【施策 28】 みどりの保全、生活環境の保全

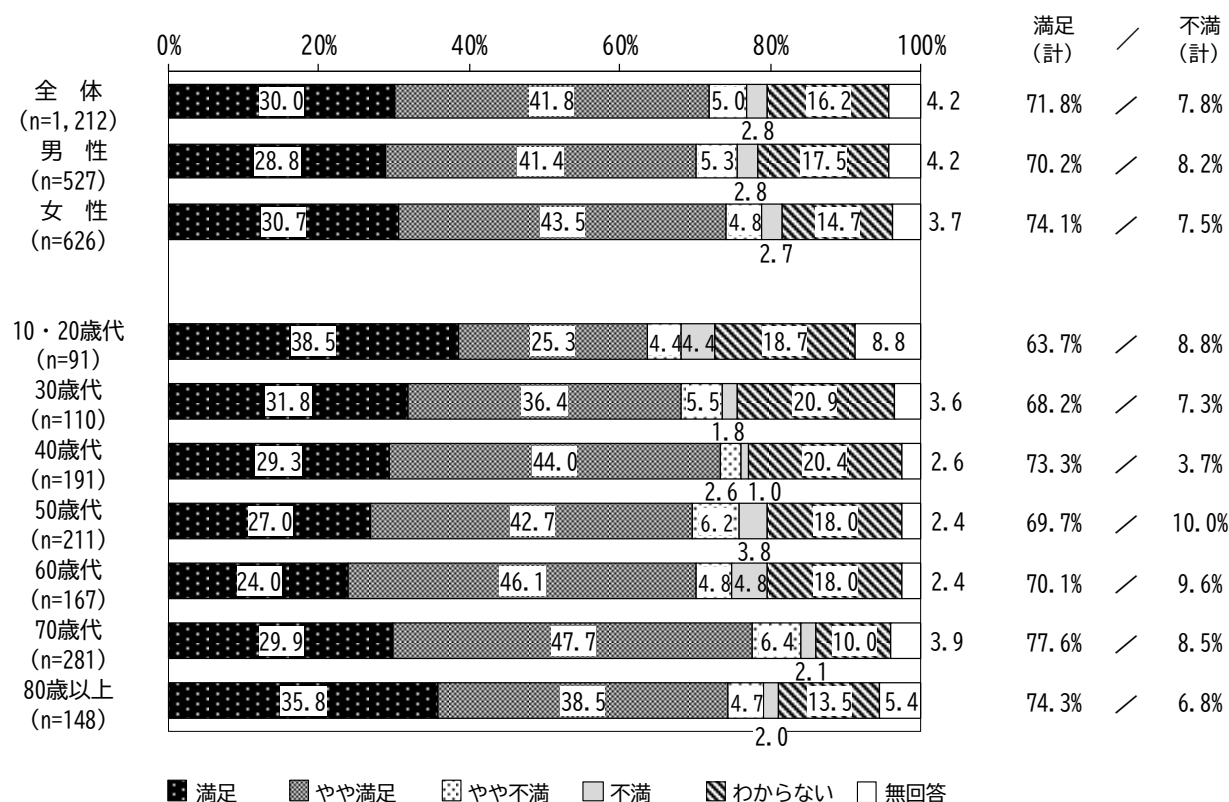
施策概要：生活環境の向上を図るため、「さわやか・あやせ」を合言葉として市内全地区の美化清掃を行う**美化キャンペーンを実施**しています。また、**緑地や樹木の保全、生垣設置、公園愛護活動への助成**を実施しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が41.8%と最も多く、「満足」が30.0%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は71.8%と7割を超えた。

満足度の順位は、35 施策の中で8位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、【満足（計）】は女性の方がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70 歳代」が77.6%と最も高く、「80 歳以上」が74.3%と続いている。「10・20 歳代」は63.7%と最も低いが、「満足」だけで見ると38.5%と他の年代と比べて最も高い。



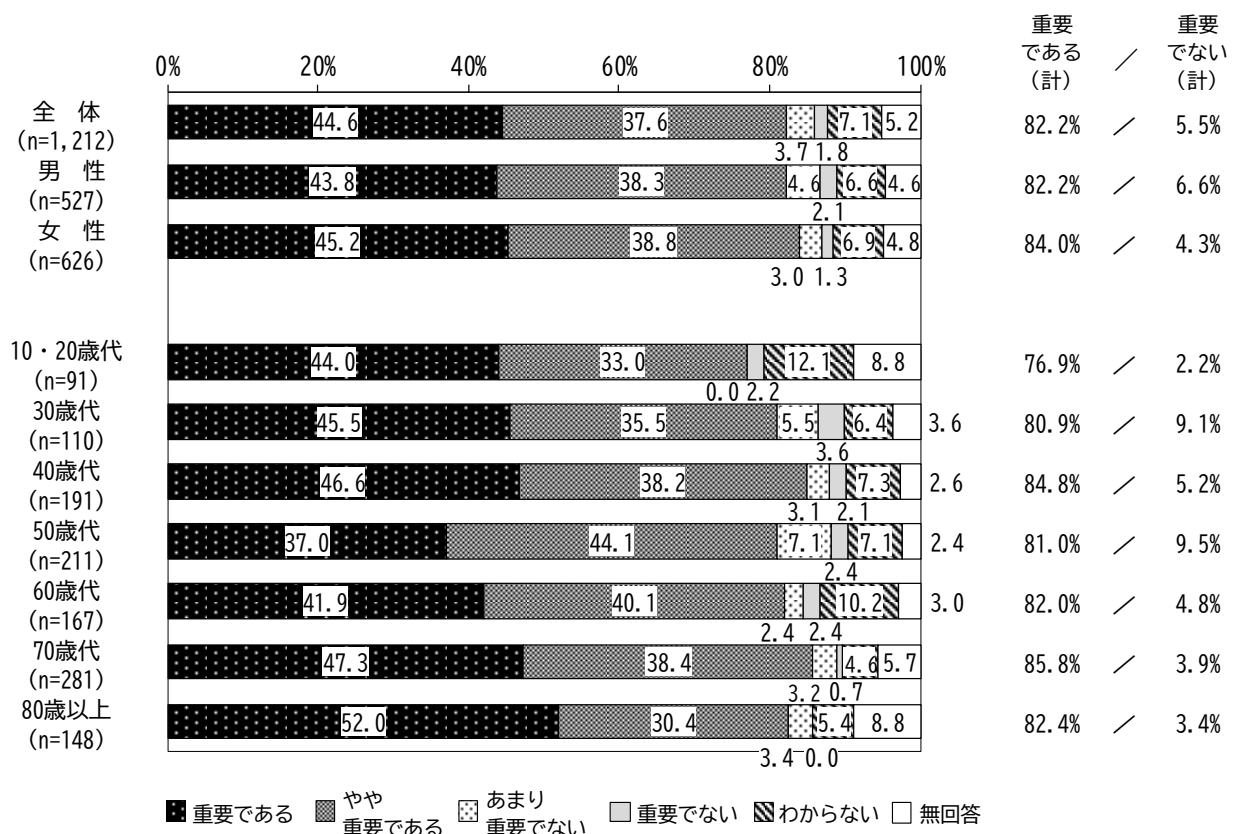
【施策 28】みどりの保全、生活環境の保全 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・コロナの影響なのか、キャンペーン活動が伝ってこない。
- ・緑の多い綾瀬は好きですが、整備が行き届いていない場所が多く見ていて気持ちのいいものではありません。
- ・市役所の周囲の道路側や中央分離帯等が草ぼうぼうで汚い。市の象徴なのでもっときれいにしてほしい。
- ・業者に任せてほしい。美化キャンペーンで自分たちが出るが苦痛。仕事がある。
- ・活動はとてもよい事だと思います。高齢化が進み、また自治会に所属していない人が増え、参加者がほとんどいなくて残念です。

取組の重要度は、「重要である」が 44.6%と最も多く、「やや重要である」が 37.6%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 82.2%と8割を超えた。重要度のスコアは 3.424 で、35 施策の中で 26 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「70 歳代」で 85.8%と最も高く、「40 歳代」が 84.8%と続くが、「10・20 歳代」（76.9%）は7割台にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

(29)【施策 29】環境負荷の低減

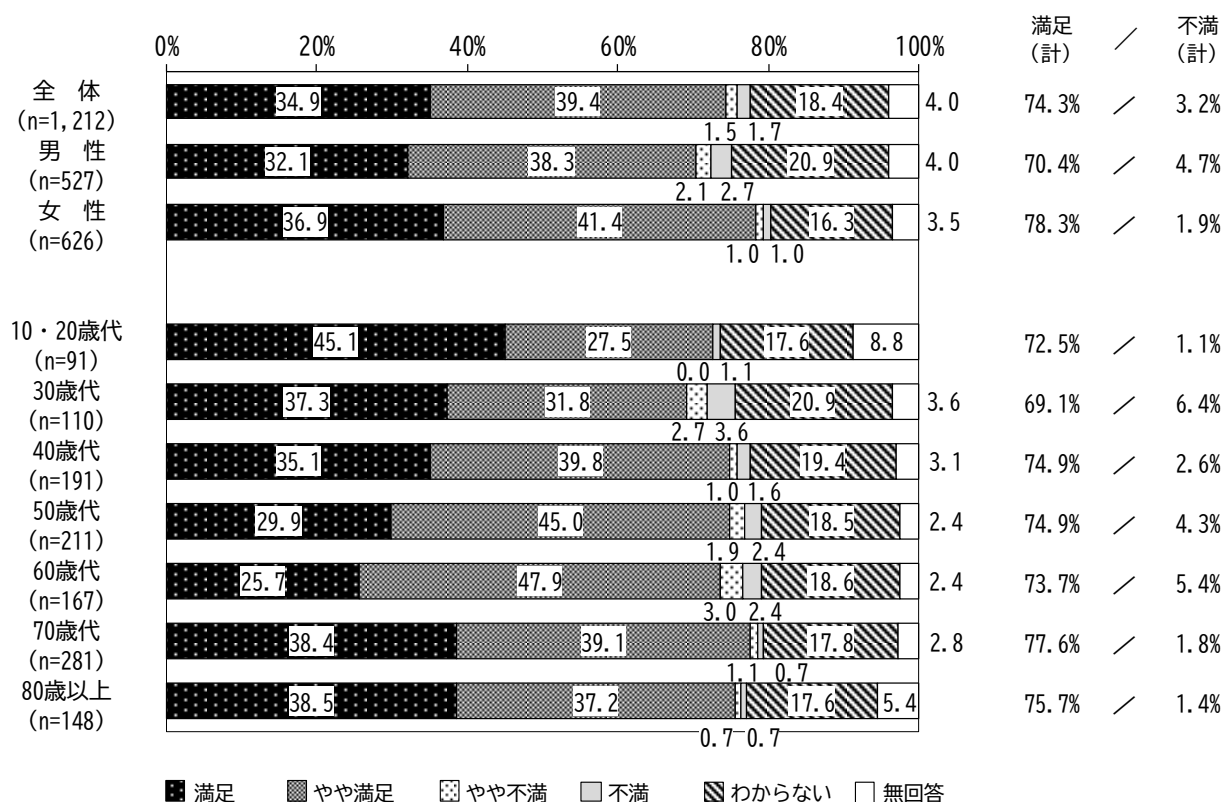
施策概要：地球温暖化対策を進めるため、終末処理場消化槽設置に伴う汚泥減量化と消化ガスによる発電事業や市内防犯灯、道路照明灯等の LED 化を行っているほか、太陽光発電設備を設置した際や電気自動車を購入した際に補助金を交付しています。また、水資源の有効活用として、雨水を市役所内トイレの洗浄等に再利用しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が39.4%と最も多く、「満足」が34.9%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は74.3%と全体の4分の3近くを占めた。

満足度の順位は、35 施策の中で5位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は女性の方が7.9 ポイント高く、「わからない」は男性の方が4.6 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70 歳代」が77.6%と最も高く、「80 歳以上」が75.7%と続くが、「30 歳代」（69.1%）は7割を下回った。



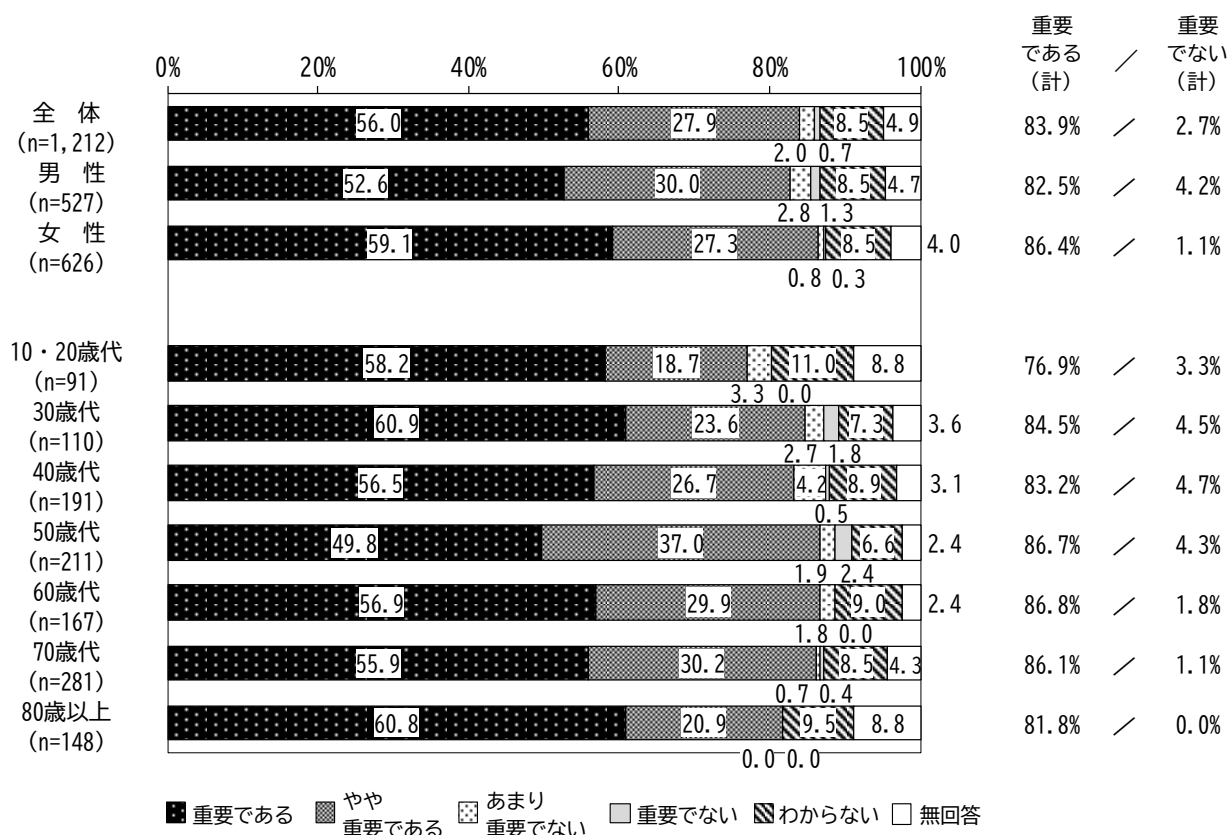
【施策 29】環境負荷の低減 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・ どの市でもやっているのでは？独自政策はないのか？
- ・ 住民の身近な部分の補助が足りない。もっと積極的に増やして欲しい。
- ・ 電気自動車用の充電施設がやや少ない。
- ・ 補助金？全く周知されていない。知らせようとする意識を感じない。
- ・ 現状のLED道路照明は暗すぎて、交通安全や防犯等の面で最悪だと考えます。また、太陽光発電と電気自動車に限定した助成金は不必要で不公平だと思いますので、即刻停止すべきと考えます。
- ・ 太陽光発電や電気自動車は総合的に考えたらエコではないと思う。

取組の重要度は、「重要である」が 56.0%と最も多く、「やや重要である」が 27.9%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 83.9%と 8 割を超えた。重要度のスコアは 3.607 で、35 施策の中で 13 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は傾向に大きな差が見られなかったが、「重要である」だけで見ると女性の方が 6.5 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「60 歳代」が 86.8%と最も高く、「50 歳代」（86.7%）、「70 歳代」（86.1%）と続くが、「10・20 歳代」（76.9%）は 7 割台にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

(30) 【施策 30】 資源の利活用

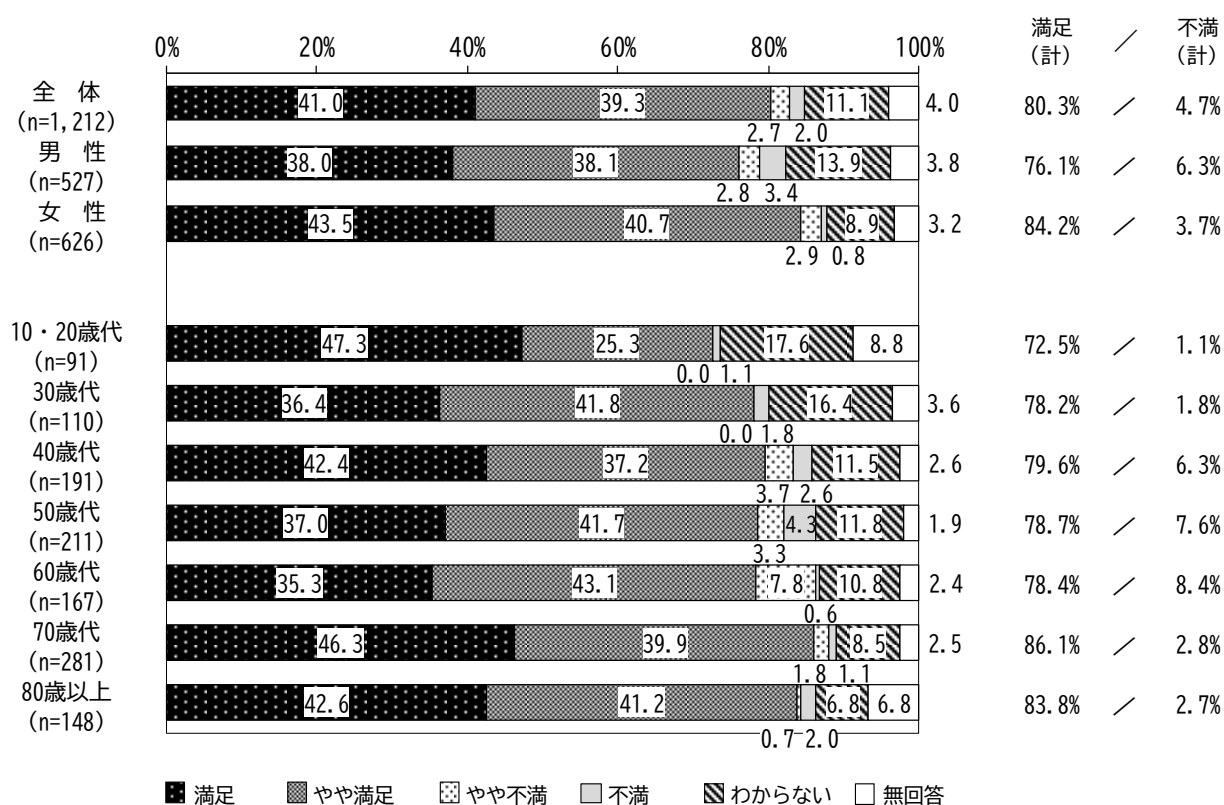
施策概要：限られた資源が焼却され、地球環境を悪化させるのを防ぐため、**資源の分別・利活用に取り組み**、「循環型社会」の構築を目指し、**焼却処理されるごみを減量化**しています。

取組に対する満足度は、「満足」が41.0%と最も多く、「やや満足」が39.3%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は80.3%と約8割であった。

満足度の順位は、35 施策の中で2位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は女性の方が8.1ポイント高く、「わからない」は男性の方が5.0ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70 歳代」が86.1%と最も高く、「80 歳以上」が83.8%と続いている。「10・20 歳代」は72.5%と最も低いが、「満足」だけで見ると47.3%と他の年代と比べて最も高い。



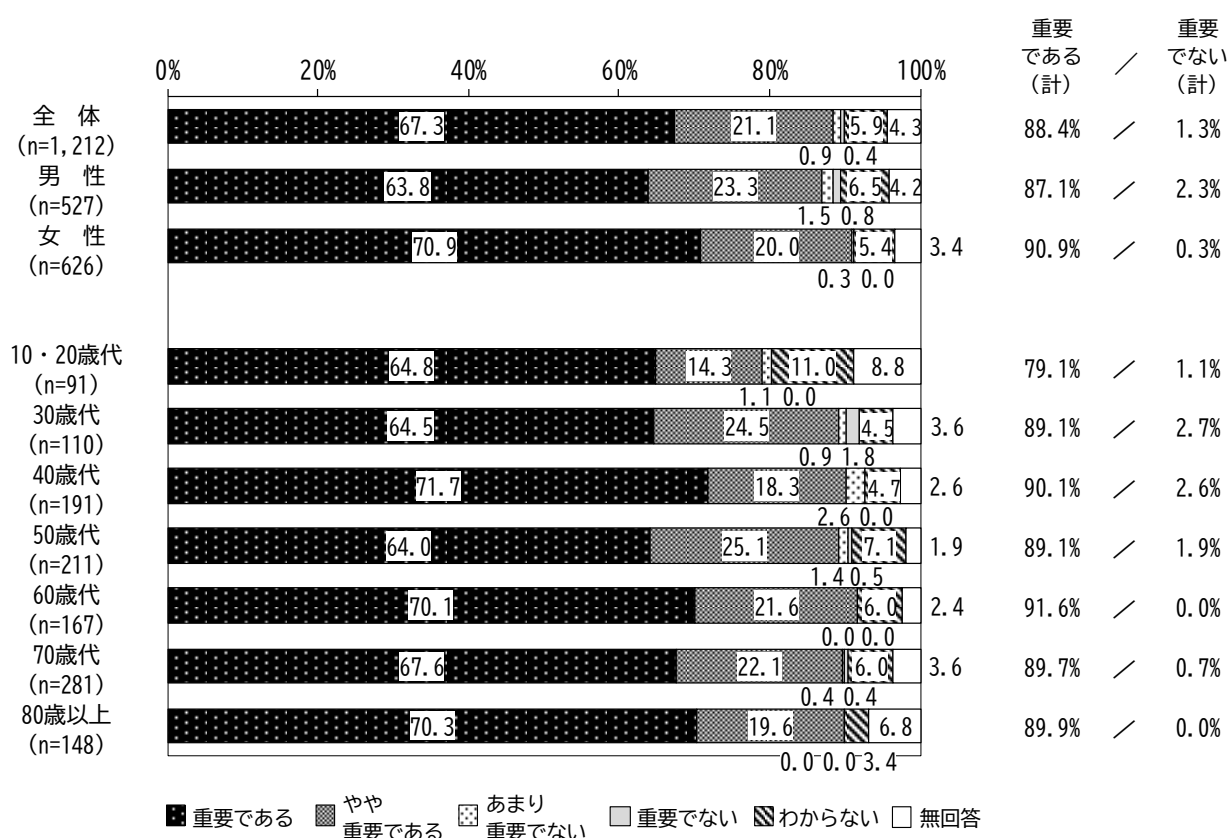
【施策 30】資源の利活用 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・個人でのゴミ分別ができていない。
- ・燃やすごみ、出せないごみの小冊子を出してください。年寄りには困ります。ネットなどできない。
- ・本当に利活用されているのかが見えてこない。無意味なことはしたくない。
- ・海老名、大和などのように、ゴミ袋を有料化しゴミの量を減らす対策を行うべき。
- ・相模原市のようにゴミ処理から資源回収したりして更に財源確保して欲しい。
- ・粗大ごみ処分の費用が他市に比べて高い。処分場の改築を望む。
- ・回収場所の維持管理が自治会 base で行われているが、非加入者も同様に利用していることに不公平感がある。

取組の重要度は、「重要である」が 67.3%と最も多く、「やや重要である」が 21.1%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 88.4%と 9 割近くを占めた。重要度のスコアは 3.731 で、35 施策の中で 3 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は大きな差が見られなかったが、「重要である」だけで見ると女性の方が 7.1 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「60 歳代」（91.6%）が最も高く、「40 歳代」（90.1%）も 9 割台となっているが、「10・20 歳代」（79.1%）は 7 割台にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Bゾーン【重点維持施策】に分類され、重要施策であると認識されており、現状ある程度の満足は得られているが、今後も現在の水準を維持・またはさらに満足度を高めていくため、着実に取組を推進する必要がある。

7 自治・行政

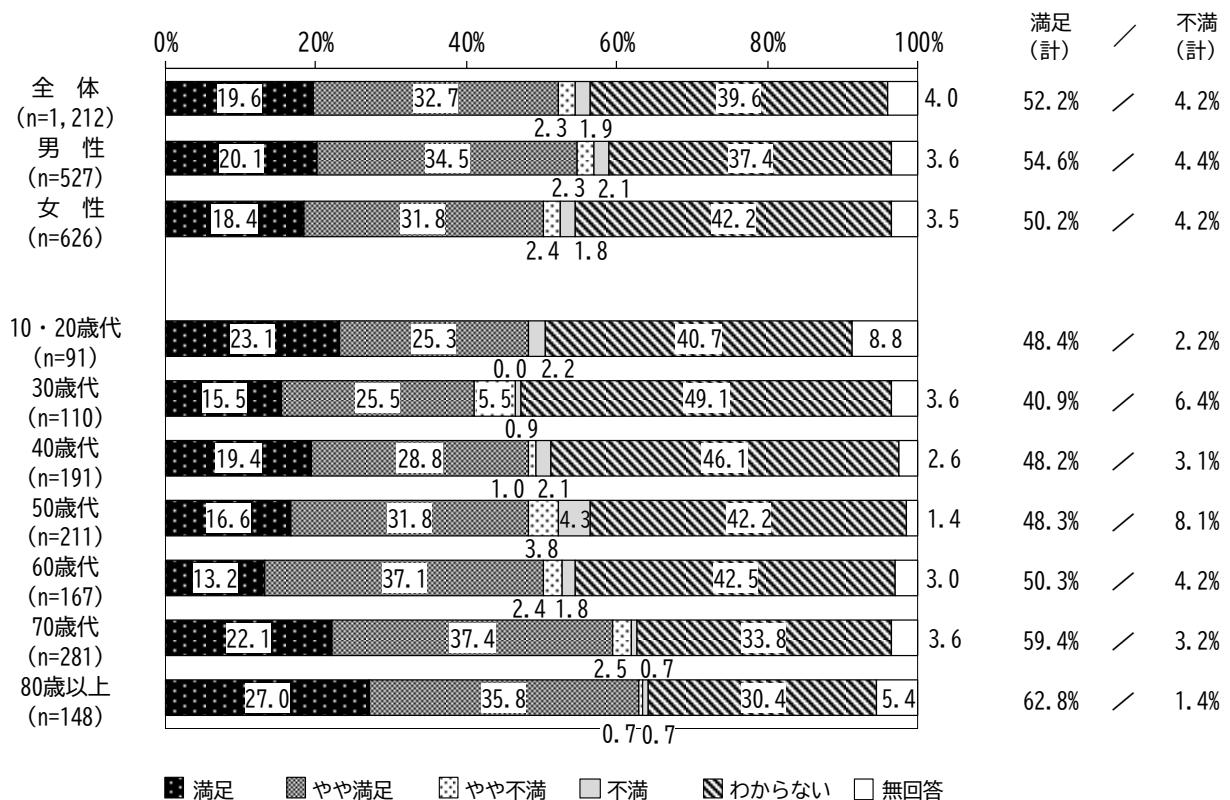
(31) 【施策 31】 コミュニティづくり

施策概要：市民活動や地域活動をサポートするため、中央公民館内に「市民活動センターあやせ」を設置しているほか、市民活動への財政的支援として、きらめき補助金制度や自治会活動への補助などを行っています。

取組に対する満足度は、「わからない」が 39.6%と最も多く、「やや満足」が 32.7%と続いている。
 【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 52.2%と 5 割台前半にとどまった。
 満足度の順位は、35 施策の中で 33 位であった。

性別に見ると、【満足（計）】は男性の方が 4.4 ポイント高く、「わからない」は女性の方が 4.8 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「80 歳以上」が 62.8%と最も高く、「70 歳代」が 59.4%と続くが、「30 歳代」（40.9%）は約 4 割にとどまった。



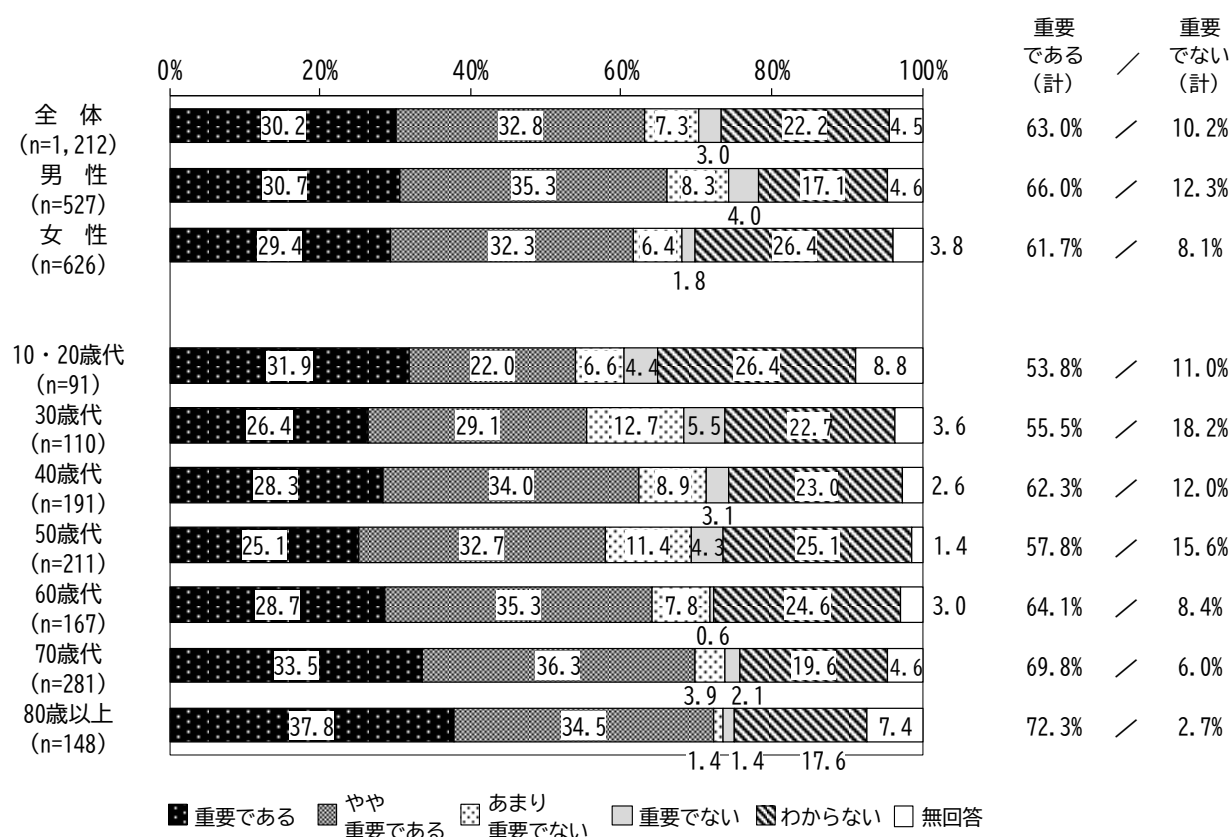
【施策 31】コミュニティづくり に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・補助金はともかく、自治会任せの部分が目立つ。
- ・古い自治会活動の見直しが必要だと思います。
- ・情報が伝わってこない。広報活動の強化が必要では。
- ・年々地域活動やつながりの希薄さを感じます。補助だけではなく、市全体で考えるべきことだと思います。
- ・自治会に入らない人がいる。不平等さを感じる。
- ・どのようなことが行われているのか知らない。
- ・自治会活動に関して、市からの補助が本当に市民一人一人のためになっているのか、しっかり見ていく必要があると思います。

取組の重要度は、「やや重要である」が 32.8%と最も多く、「重要である」が 30.2%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 63.0%であった。
重要度のスコアは 3.232 で、35 施策の中で 32 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は男性の方が 4.3 ポイント高く、「わからない」は女性の方が 9.3 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「80 歳以上」が 72.3%と最も高く、「70 歳代」が 69.8%と続くが、「10・20 歳代」は 53.8%と最も低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

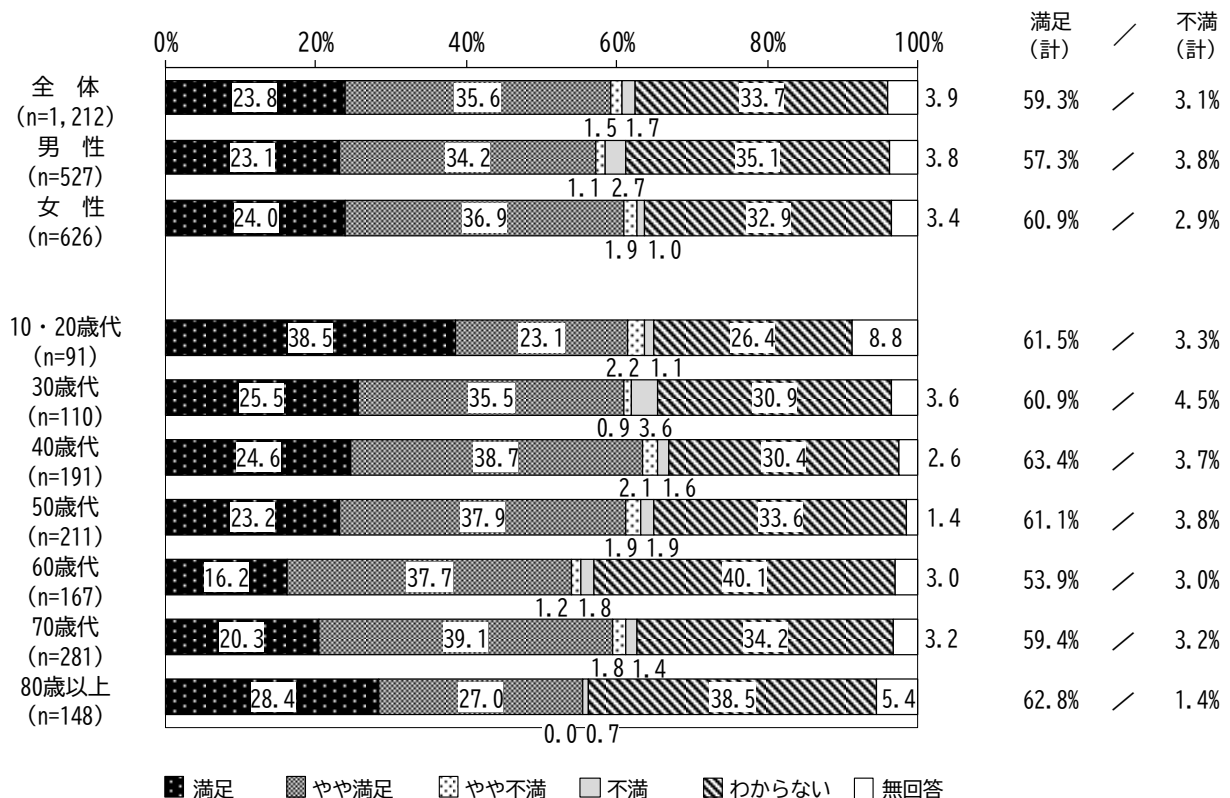
(32)【施策 32】多文化共生

施策概要：外国人市民が地域の一員として生活し、活躍できる環境を作るため、市役所窓口での通訳や生活ガイドブックの配付、ボランティアによる日本語教室の支援を行っています。また、日本人市民との相互理解・交流のため、あやせ国際フェスティバルを開催しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 35.6%と最も多く、「わからない」が 33.7%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 59.3%とほぼ6割であった。
満足度の順位は、35 施策の中で 27 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、【満足（計）】は女性の方がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、【満足（計）】は「40 歳代」が 63.4%と最も高く、「80 歳以上」が 62.8%と続くが、「60 歳代」は 53.9%と最も低い。



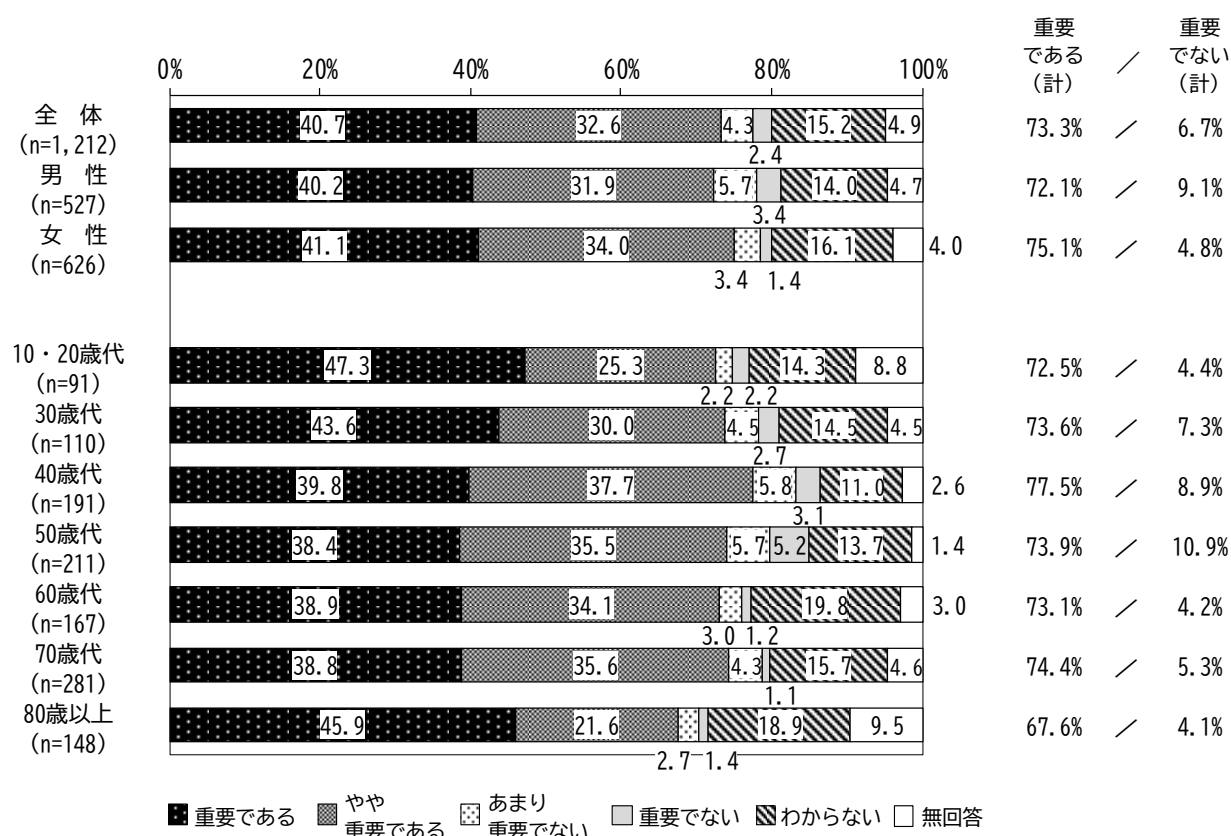
【施策 32】 多文化共生 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・ 待ちの環境から一歩前へ進む。市内でも外国人労働者の「協働」が求められています。外国人が困っている内容をまず把握し対策を。
- ・ 外国人に偏見は持っていないが、やはり治安が心配です。
- ・ やってみたいけど、どこでどうやって参加するのかわかりにくい。
- ・ 最近外国の方が増えていますが、皆さんこの取組を理解しているのでしょうか。
- ・ あやせ国際フェスティバルは有効的だが、もっと市民に伝わるように内容を告知した方が効果的かと思う。
- ・ 窓口に通訳者？を配置するより、これこそ翻訳アプリ等でデジタル化して経費を削減すべきだと思います。

取組の重要度は、「重要である」が 40.7%と最も多く、「やや重要である」が 32.6%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 73.3%と7割を超えた。
重要度のスコアは 3.395 で、35 施策の中で 27 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、【重要である（計）】は女性の方がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「40 歳代」が 77.5%と最も高く、「70 歳代」が 74.4%と続くが、「80 歳以上」（67.6%）は6割台にとどまった。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

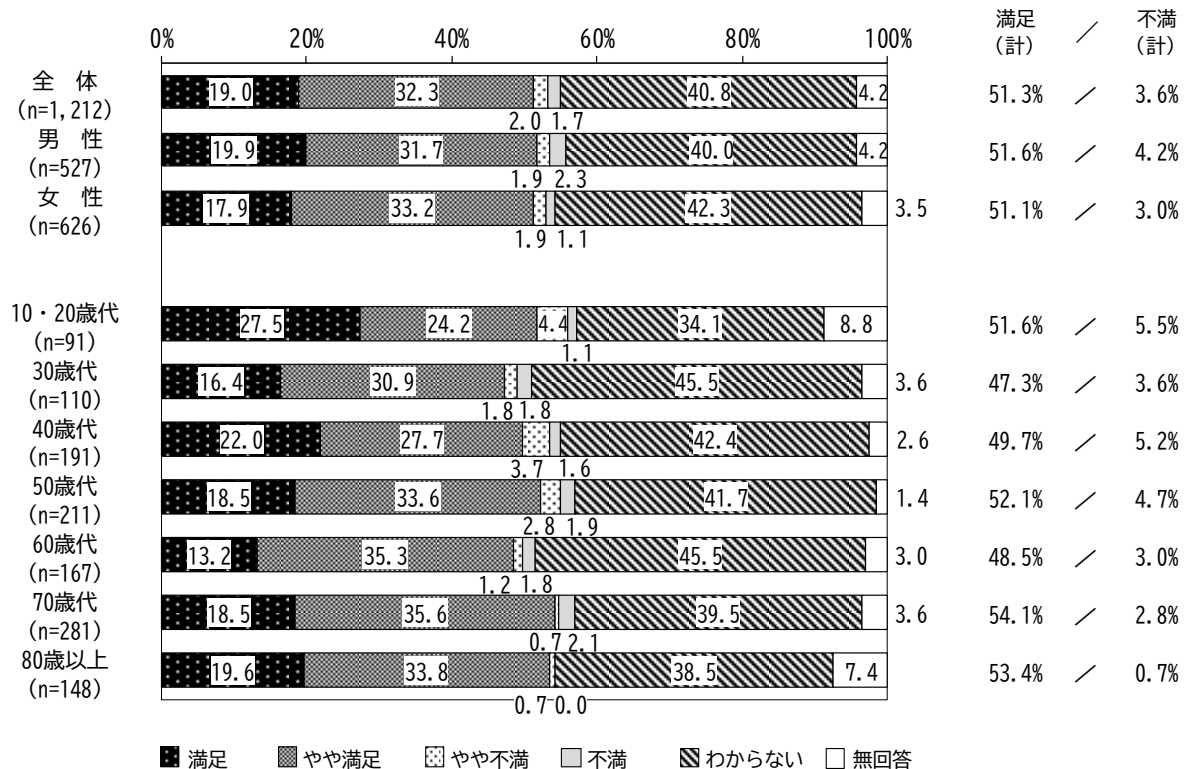
(33)【施策 33】人権擁護、平和活動

施策概要：平和意識の普及啓発と人権意識の高揚を図るため、人権・平和映画会の開催や人権相談を実施しています。また、男女共同参画社会への理解と関心を深めるため、標語コンクールを開催しています。

取組に対する満足度は、「わからない」が 40.8%と最も多く、「やや満足」が 32.3%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 51.3%と約5割にとどまった。
満足度の順位は、35 施策の中で 34 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「70 歳代」が 54.1%と最も高く、「80 歳以上」が 53.4%と続くが、「30 歳代」は 47.3%と最も低い。



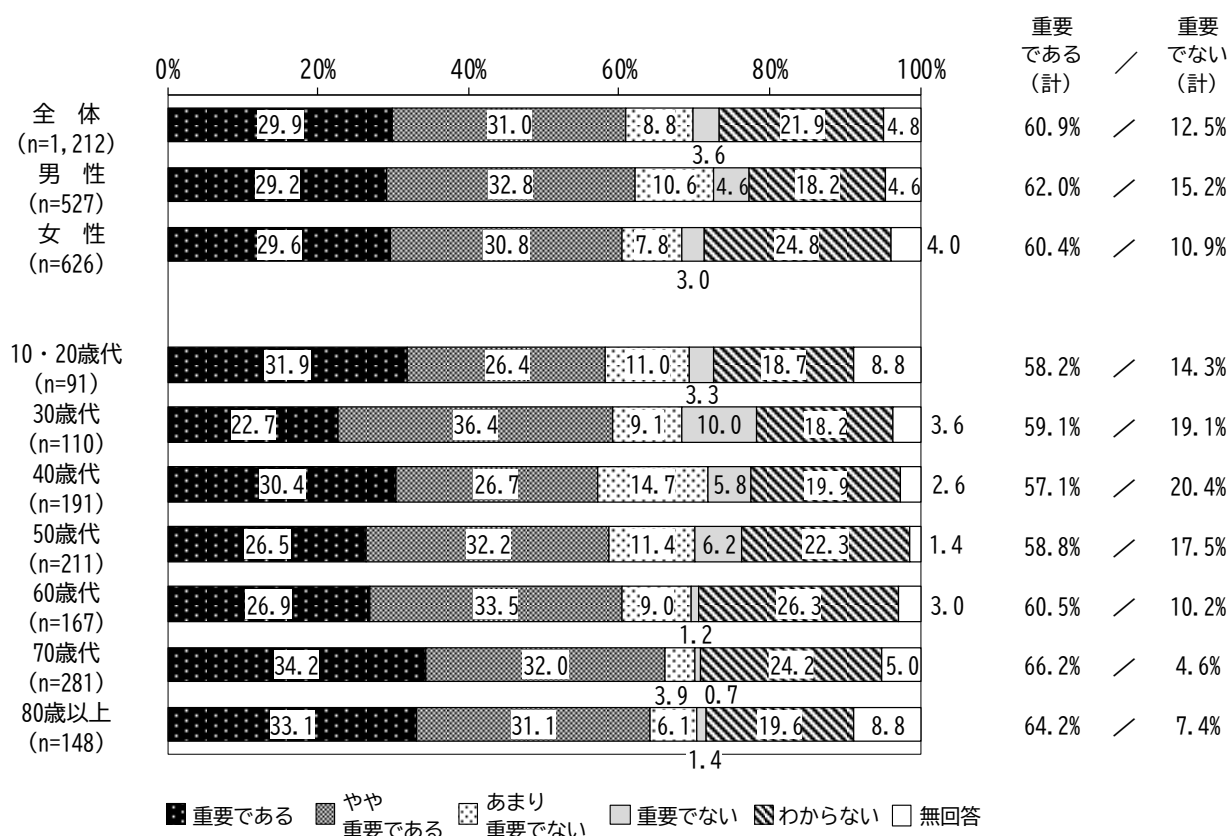
【施策 33】人権擁護、平和活動 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・「標語コンクール」では取組としては弱い…。
- ・市民が人権、平和について考える機会がほとんどない。
- ・あまり意識改善に役立っていないように思うが、市が取り組むことで改善していくのか分からない。
- ・映画会の開催や人権相談の実施について、市民の皆さんが分かるようにアピールが必要。
- ・厚木基地があることから、平和のあり方について他の自治体が今まで発表していないメッセージを表明するとよいと考えるから。
- ・利用したことがありますが、相談時間は最低でも 1 時間ほしいところです！

取組の重要度は、「やや重要である」が 31.0%と最も多く、「重要である」が 29.9%と続いている。
【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 60.9%と約 6 割であった。
重要度のスコアは 3.188 で、35 施策の中で 35 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は大きな差が見られなかったが、「わからない」は女性の方 6.6 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「70 歳代」が 66.2%と最も高く、「80 歳以上」が 64.2%と続くが、「40 歳代」は 57.1%と最も低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

(34) 【施策 34】 効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用

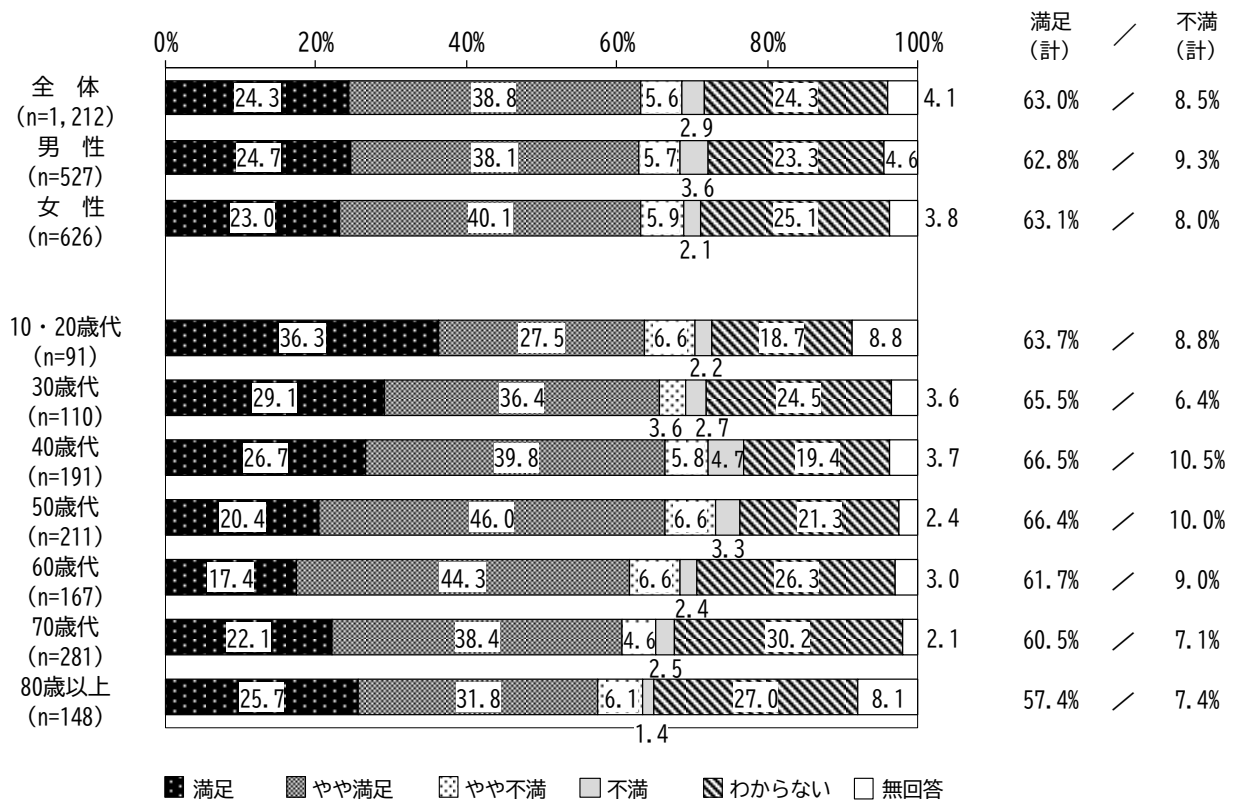
施策概要：市民サービスの向上及び職員業務の効率化を図るため、各種行政手続きや住民窓口のオンライン化、手作業で行っている業務のデジタル化・機械化、システムを活用した紙の削減を実施しています。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 38.8%と最も多く、「満足」と「わからない」がともに 24.3%と続いている。【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 63.0%であった。

満足度の順位は、35 施策の中で 14 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかった。

年代別に見ると、【満足（計）】は「40 歳代」が 66.5%と最も高く、「50 歳代」が 66.4%と続くが、「80 歳以上」（57.4%）は 6 割を下回った。



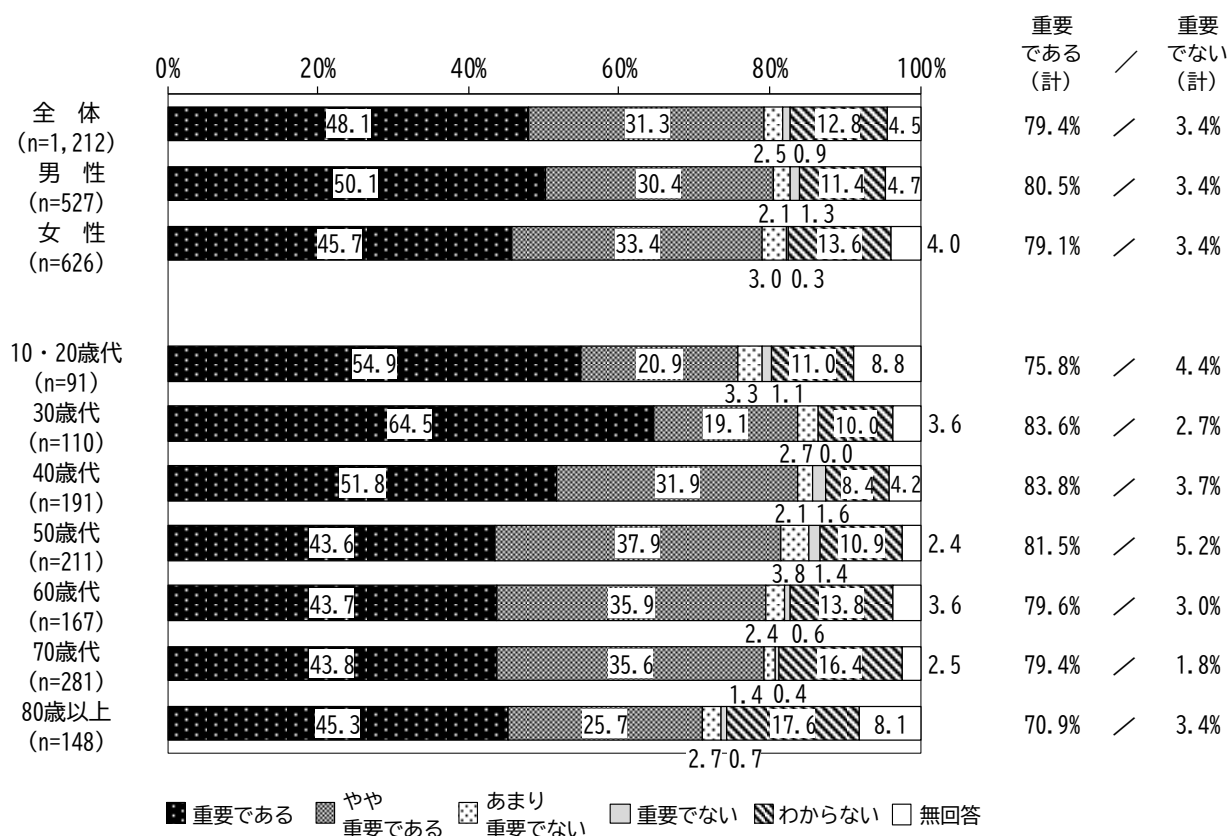
【施策 34】 効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用 に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

- ・オンライン化が進みすぎると、高齢になって来たのでわかりません。
- ・もっと進めるべき。しかし、高齢者への配慮も必要。
- ・市の行政サービスのアプリなど、デジタル化を進めて欲しい。
- ・市民サービス向上した内容が何かよくわからない。手続きが便利になったのであれば周知をしてほしい。
- ・システムによるミスが出そう。全員がわかることが大切。
- ・現在は中途半端というか分かりにくい部分が多いと感じる。完全に移されることを期待。
- ・行政手続きなど重要な内容における情報流出など、防犯面が少し不安。管理体制は大丈夫なのか？

取組の重要度は、「重要である」が 48.1%と最も多く、「やや重要である」が 31.3%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 79.4%とほぼ8割であった。重要度のスコアは 3.529 で、35 施策の中で 19 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は大きな差が見られなかったが、「重要である」は男性の方が 4.4 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「40 歳代」が 83.8%と最も高く、「30 歳代」が 83.6%と続くが、「80 歳以上」は 70.9%と最も低い。



重要度と満足度のクロス分析では、**Aゾーン【重点改善施策】**に分類され、重要施策であると認識されており、満足度を高めていく必要があることから、従来の施策の取組方向について改善を検討し、強化していく必要がある。

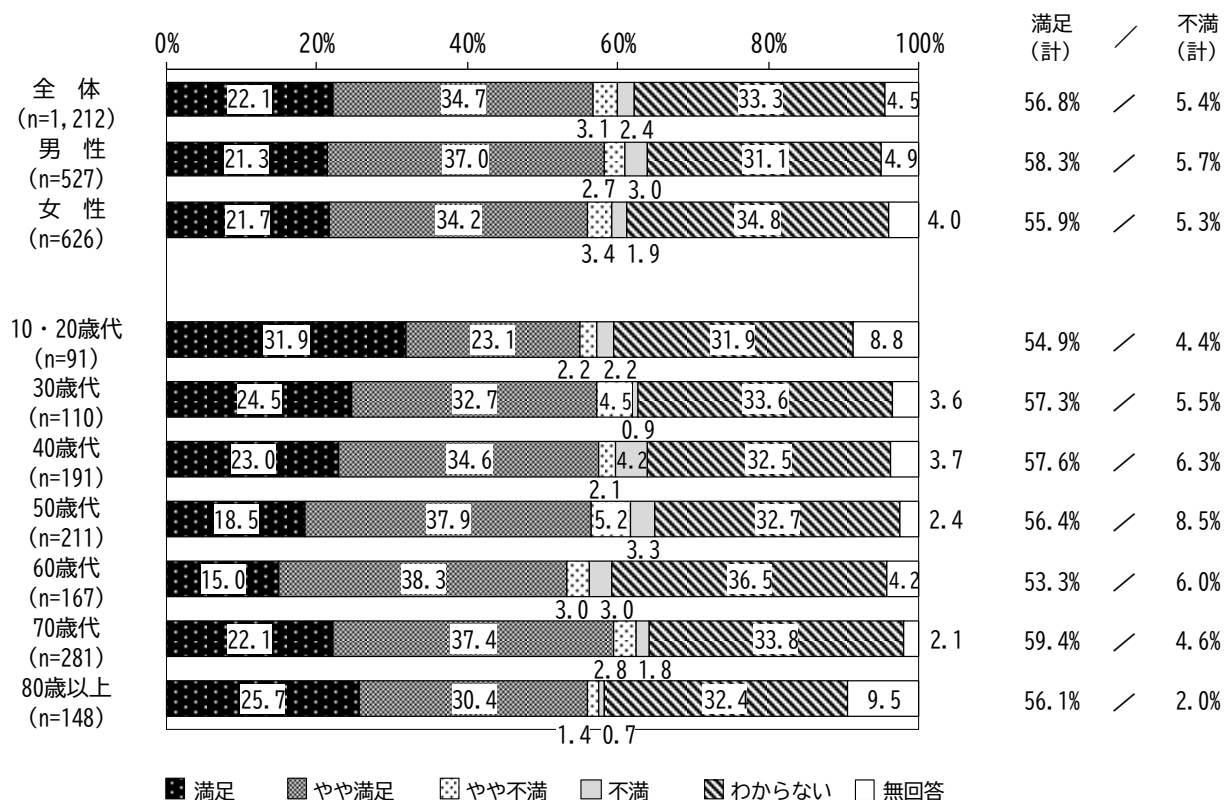
(35)【施策 35】 公共施設マネジメント

施策概要：持続可能なまちづくりに向けて、将来の財政負担の軽減を図るため、施設を有効活用しつつ、施設保有量の適正化（機能集約・複合化等）や計画的な保全による施設の長寿命化に取り組むとともに、市役所周辺の再編に取り組んでいます。

取組に対する満足度は、「やや満足」が 34.7%と最も多く、「わからない」が 33.3%と続いている。
【満足（計）】（「満足」と「やや満足」の合計）は 56.8%と 5 割台半ばにとどまった。
 満足度の順位は、35 施策の中で 29 位であった。

性別では傾向に大きな差は見られなかったが、「わからない」は女性の方がわずかに高くなっている。

年代別に見ると、**【満足（計）】**は「70 歳代」が 59.4%と最も高く、「40 歳代」が 57.6%、「30 歳代」が 57.3%と続くが、「60 歳代」は 53.3%と最も低い。



【施策 35】 公共施設マネジメント に関する不満の理由として、主な回答（自由記述）は以下のとおりである。

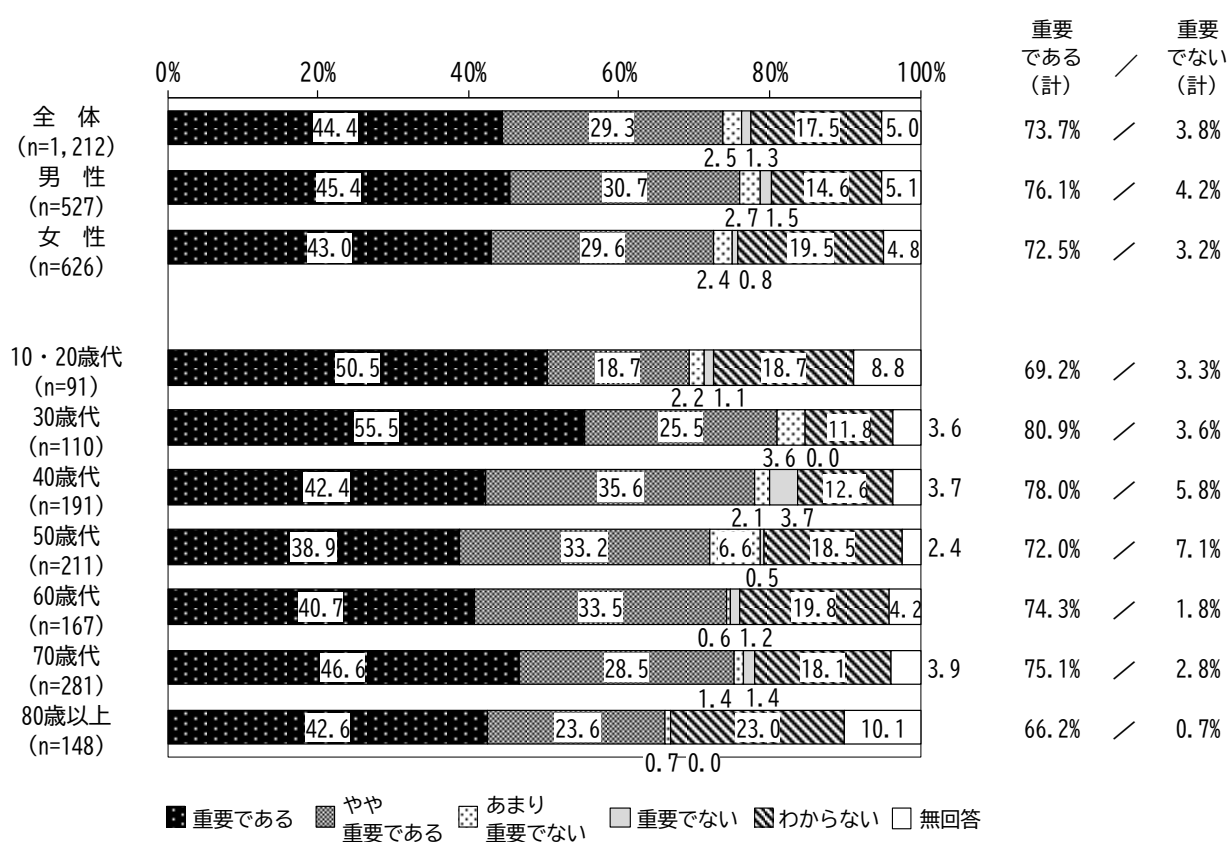
- ・市役所周辺の再編？何をいつまでどうするか全体構想が見えてこない！！
- ・市民に対する広報活動が不十分に思える。
- ・積極的に取り組んでほしい。
- ・市役所周辺の開発が進まず、市中心部への人の集まりが中途半端になっている。消防署跡地を含めた綾瀬タウンヒルズエリア再開発、道の駅候補地の早期再選定など、官民協働で中心地の盛り上げを急いでほしい。
- ・様々な機能が市役所周辺の 1 ヲ所に集まるのは、近い人はよいが遠くない人にとっては不便。
- ・市役所周辺の整備が遅れている印象。

取組の重要度は、「重要である」が 44.4%と最も多く、「やや重要である」が 29.3%と続いている。【重要である（計）】（「重要である」と「やや重要である」の合計）は 73.7%と全体の4分の3近くを占めた。

重要度のスコアは 3.507 で、35 施策の中で 22 位であった。

性別に見ると、【重要である（計）】は大きな差が見られなかったが、「わからない」は女性の方が 4.9 ポイント高くなっている。

年代別に見ると、【重要である（計）】は「30 歳代」（80.9%）が8割を超えて最も高く、「40 歳代」が 78.0%と続くが、「80 歳以上」は 66.2%と最も低い。



重要度と満足度のクロス分析では、Cゾーン【改善・検討施策】に分類され、施策の重要性をアピールし、満足度が向上するよう取り組んでいくとともに、施策の実施・継続の必要性についても検証し、場合によっては取組方向の変更を検討する必要がある。

IV 調査結果（市民意識）

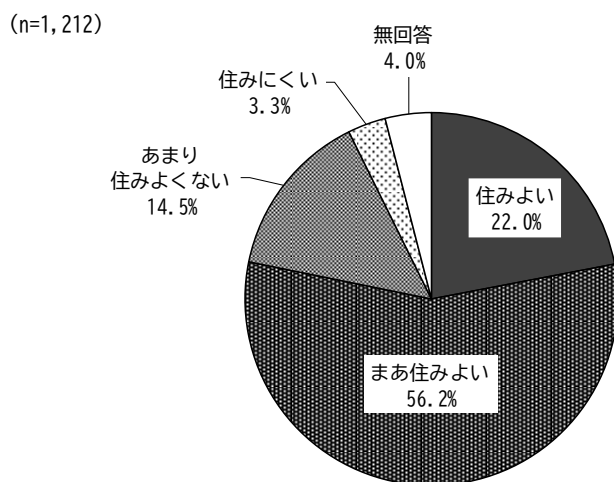
IV 調査結果（市民意識）

1 居住環境

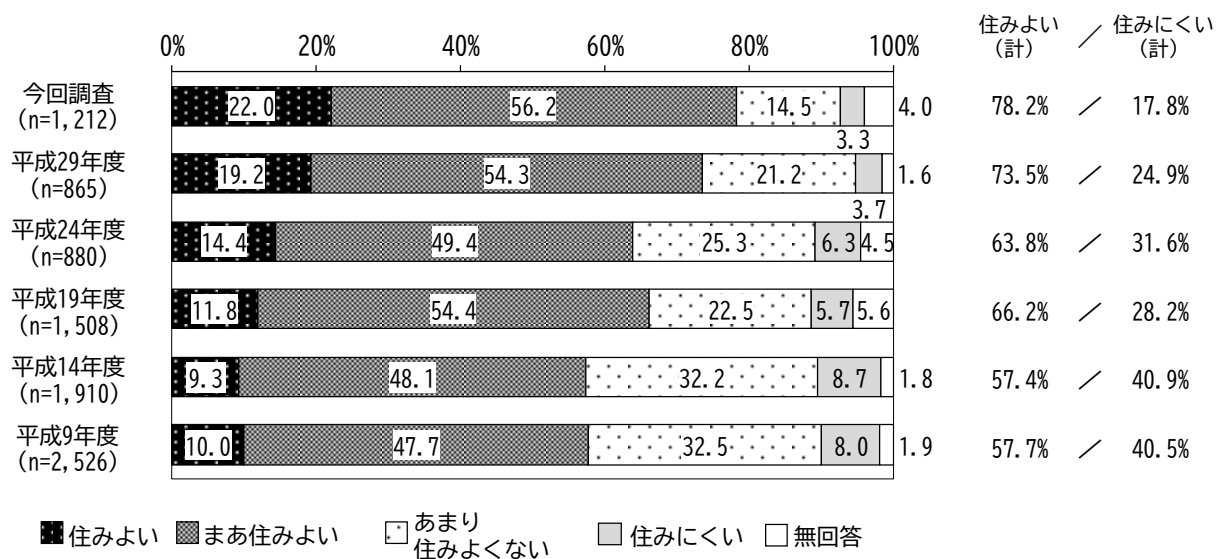
（１）居留意識

綾瀬市の住み心地は、「まあ住みよい」が 56.2%で最も多く、次いで「住みよい」が 22.0%、「あまり住みよくない」が 14.5%「住みにくい」が 3.3%と続いている。

「住みよい」と「まあ住みよい」を合計した【住みよい（計）】は 78.2%で、全体のほぼ8割を占めており、「あまり住みよくない」と「住みにくい」を合計した【住みにくい（計）】を 60.4 ポイント上回っている。



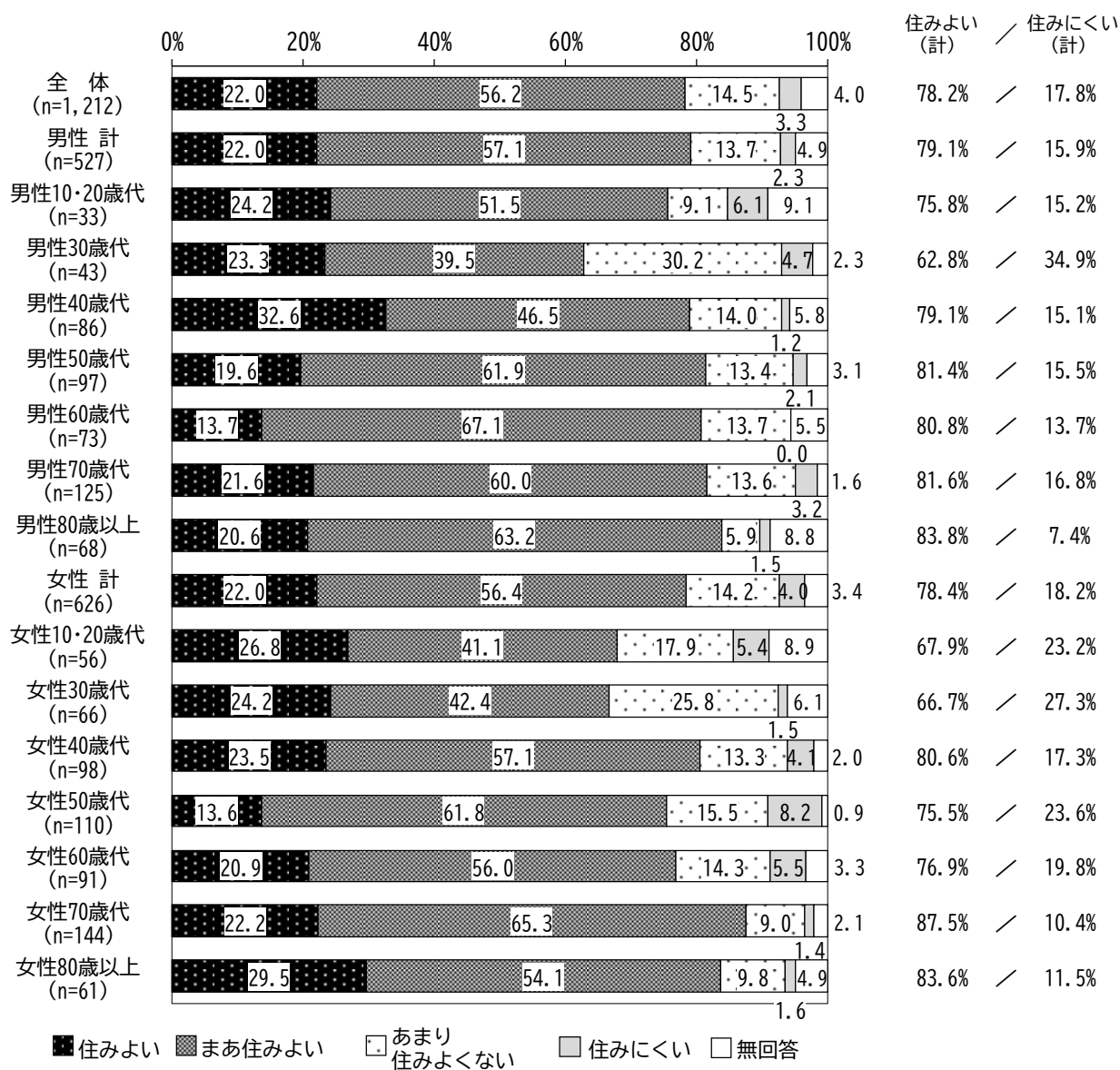
経年変化を見ると、【住みよい（計）】の割合は平成 24 年度にいったん低下したものの、その後は上昇傾向となっている。【住みにくい（計）】は今回初めて2割を下回った。



性別、年齢別に見ると、【住みよい（計）】は男性が79.1%、女性が78.4%となっている。

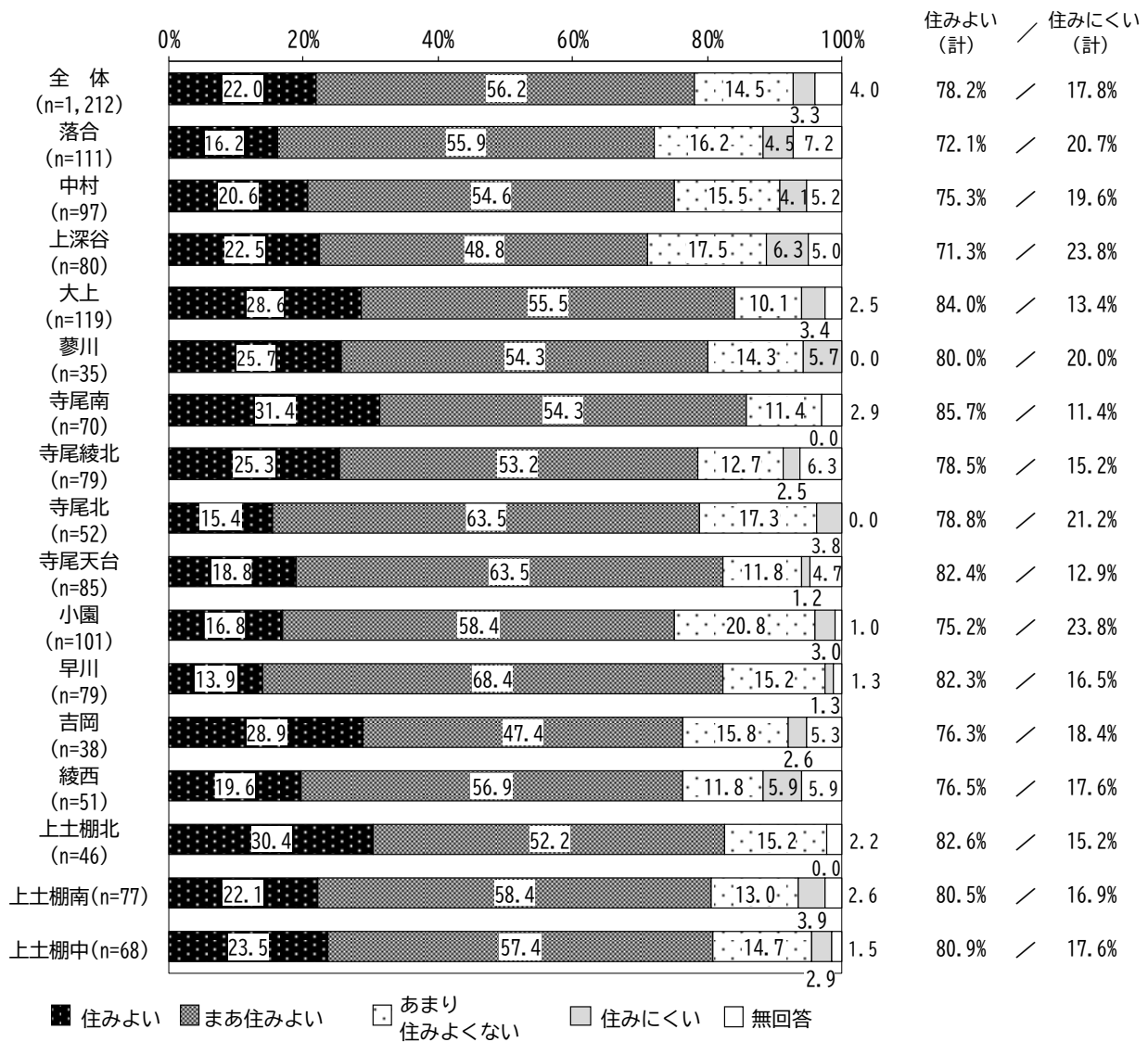
男性では、【住みよい（計）】は50歳代以上で8割を超えており、特に「80歳以上」で83.8%と最も高くなっている。女性では「40歳代」「70歳代」「80歳以上」で8割を超えており、特に「70歳代」で87.5%と最も高くなっている。

一方、【住みにくい（計）】は、男性の「30歳代」で34.9%と3割を超えて最も高い。



地域別に見ると、【住みよい（計）】は「寺尾南」が 85.7%で最も高く、次いで「大上」が 84.0%、「上土棚北」が 82.6%、「寺尾天台」が 82.4%、「早川」が 82.3%と続き、16 地域中半数の 8 地域で 8 割を超えている。

一方、【住みにくい（計）】は「上深谷」と「小園」がともに 23.8%で最も高く、次いで「寺尾北」が 21.2%、「落合」が 20.7%、「蓼川」が 20.0%と、この 5 地域で 2 割を超えている。



「あまり住みよくない」・「住みにくい」と回答した 216 人にその理由を自由記述形式で尋ねた。
その内容を分類すると、「交通が不便」が 127 件と最も多く、次いで「生活（買物・通院等）が不便」45 件、「騒音」21 件、「道路不備・渋滞」20 件と続いている。

内容（複数回答あり）	件数
交通が不便	127
生活（買物・通院等）が不便	45
騒音	21
道路不備・渋滞	20
市政・公共サービス全般への不満	15
治安・民度	14
子育て支援・教育施策への不満	13
公共設備の不備	8
コミュニティ（自治会など）のあり方への不満	8
その他	25
計	296

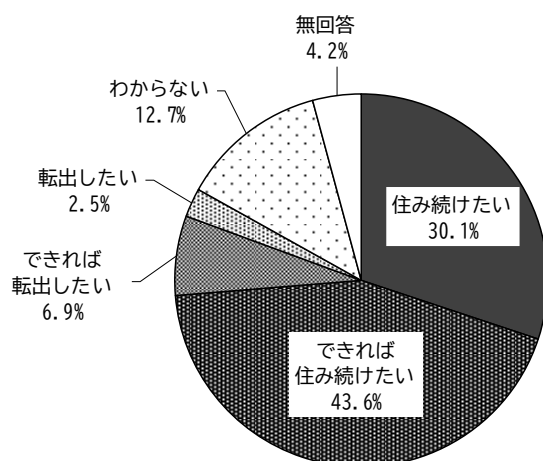
※詳細については資料編 P 59 を参照。

(2) 定住意識

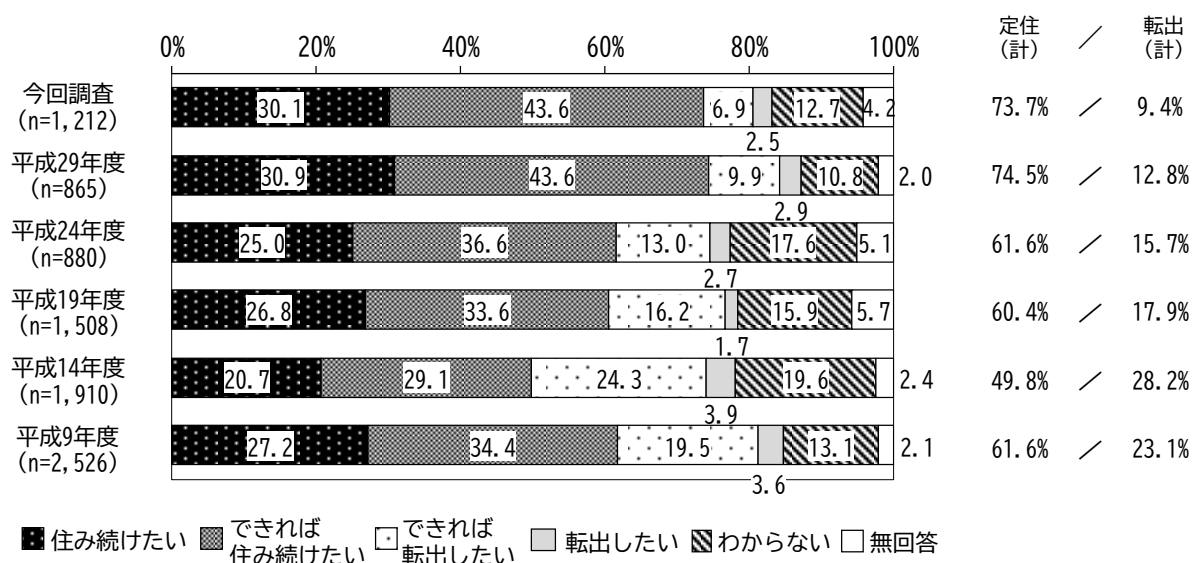
綾瀬市での定住意識は、「できれば住み続けたい」が43.6%で最も多く、次いで「住み続けたい」が30.1%、「わからない」が12.7%、「できれば転出したい」が6.9%、「転出したい」が2.5%と続いている。

「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合計した【定住（計）】は73.7%で、全体の4分の3近くを占めており、「できれば転出したい」と「転出したい」を合計した【転出（計）】を64.3ポイント上回っている。

(n=1,212)



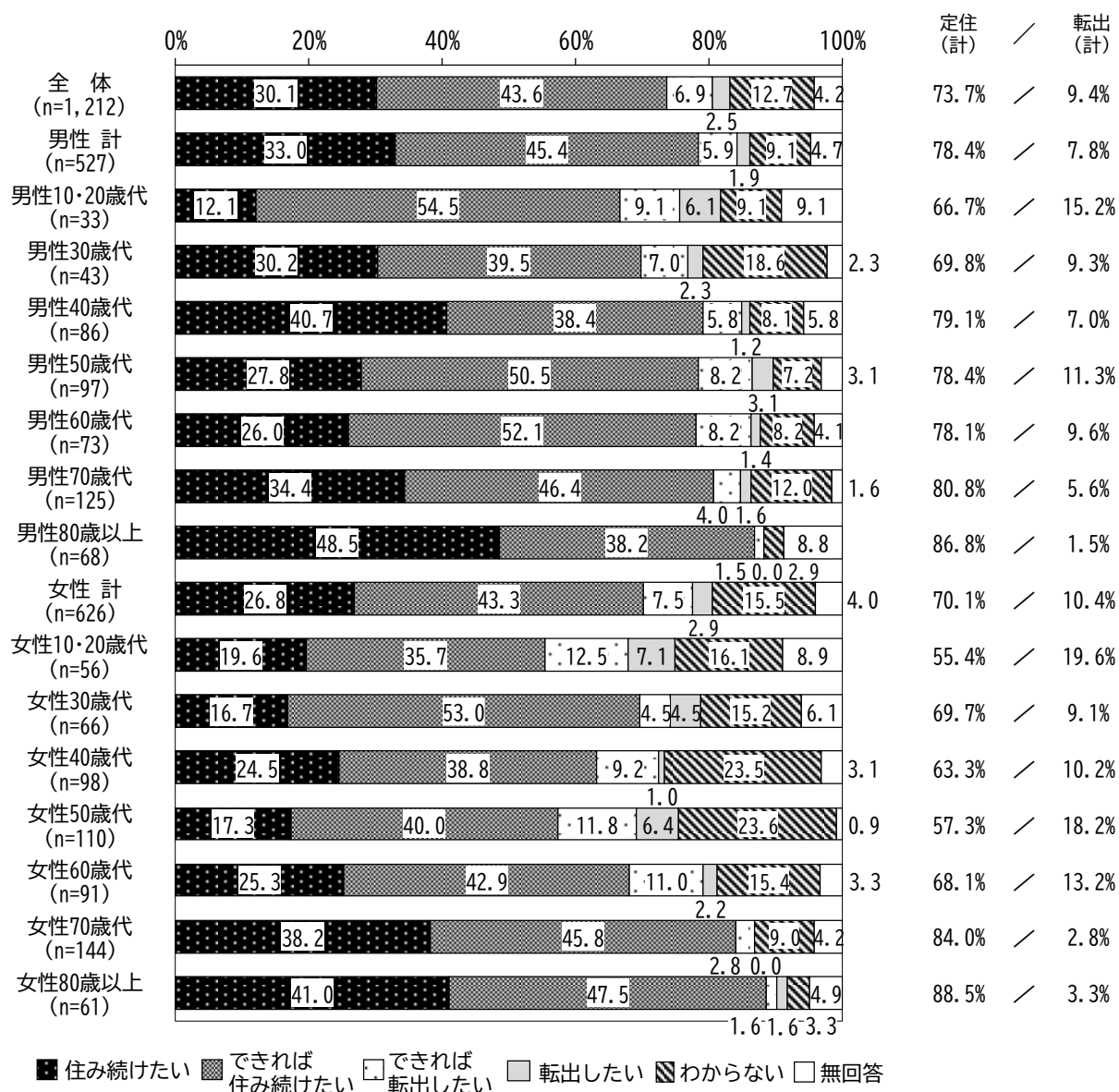
経年変化を見ると、【定住（計）】の割合は平成14年度以降上昇傾向であったが、今回は前回とほぼ同程度となった。一方で、【転出（計）】は平成14年度以降低下傾向となっており、今回初めて1割を下回った。



性別、年齢別に見ると、【定住（計）】は男性が78.4%、女性が70.1%となっている。

男性では、【定住（計）】は「80歳以上」が86.8%で最も高く、次いで「70歳代」が80.8%となっている。女性では「80歳以上」が88.5%で最も高く、次いで「70歳代」が84.0%となっている。

一方、【転出（計）】は男性では「10・20歳代」が15.2%と最も高く、女性でも「10・20歳代」が19.6%と最も高くなっている。



一方、【転出（計）】は「寺尾南」と「綾西」がともに 15.7%で最も高く、次いで「寺尾北」が 11.5%、「落合」10.8%と続いている。



「できれば転出したい」・「転出したい」と回答した114人に希望する転居先について自由記述形式で尋ねた。

その内容を分類すると、具体的な地名では、「海老名市」が18件と最も多く、次いで「大和市」10件、「横浜市」9件、「東京都」8件と続いている。

具体的な地名以外では、「交通の便利なところ」20件、「生活（買物・通院等）が便利なところ」9件などの回答が見られた。

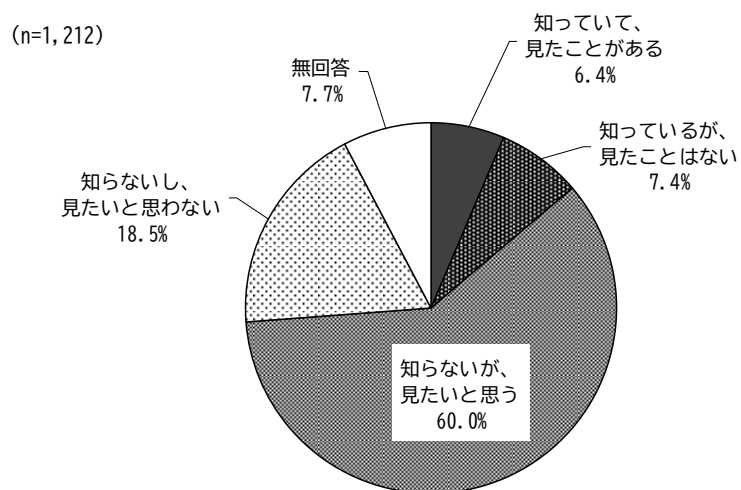
内容（複数回答あり）	件数
海老名市	18
大和市	10
横浜市	9
東京都	8
藤沢市	4
厚木市	3
座間市	3
静岡県	3
その他の場所	8
交通の便利なところ	20
生活（買物・通院等）が便利なところ	9
静かなところ	3
その他	10
未定・不明	4
計	112

※詳細については資料編P64を参照。

(3)『総合計画2030』について

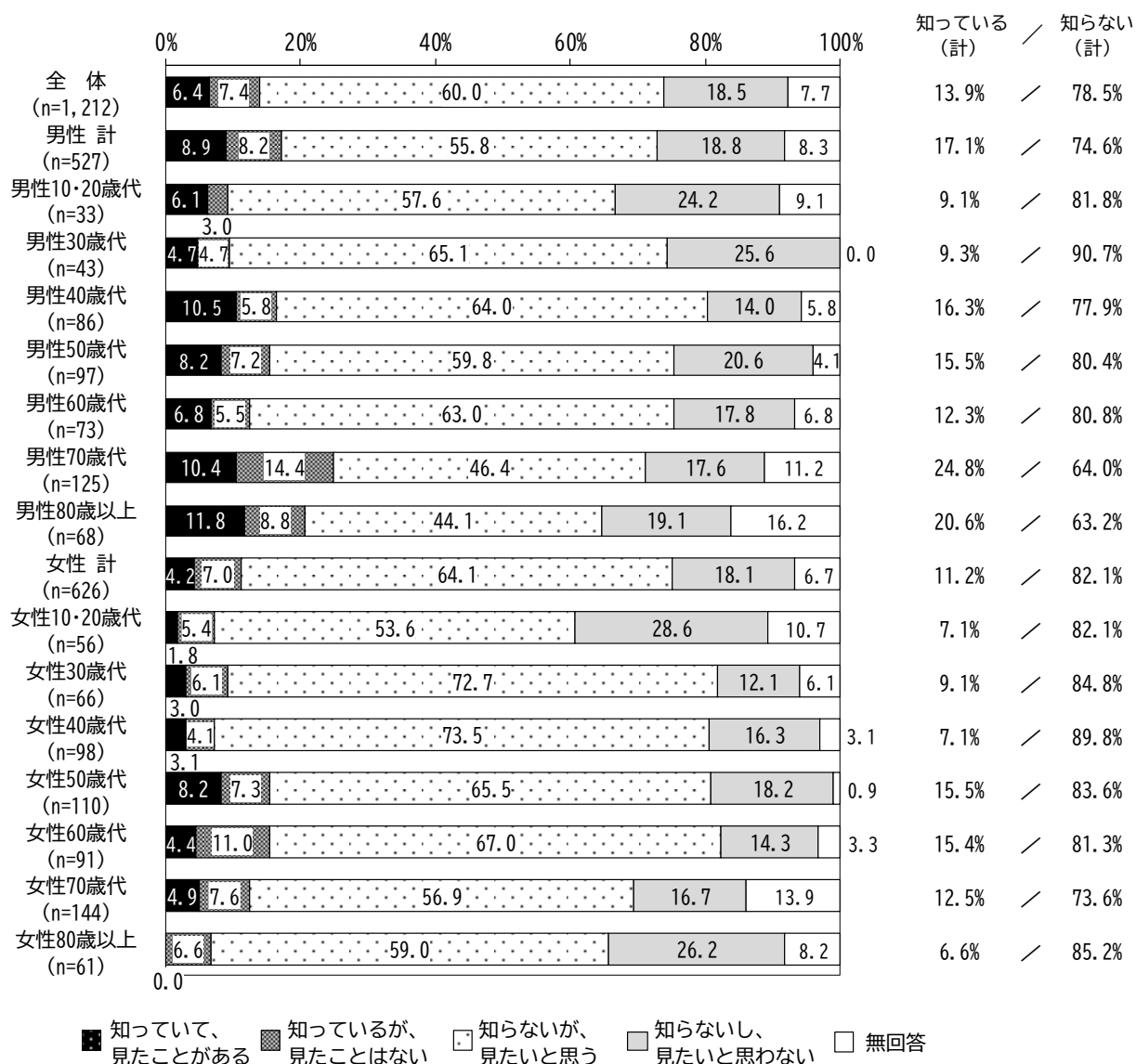
『総合計画2030』の認知・閲読状況は、「知らないが、見たいと思う」が60.0%で最も多く、次いで「知らないし、見たいと思わない」が18.5%、「知っているが見たことはない」が7.4%、「知っていて、見たことがある」が6.4%と続いている。

「知っていて、見たことがある」と「知っているが見たことはない」を合わせた【知っている(計)】は、13.9%にとどまった。



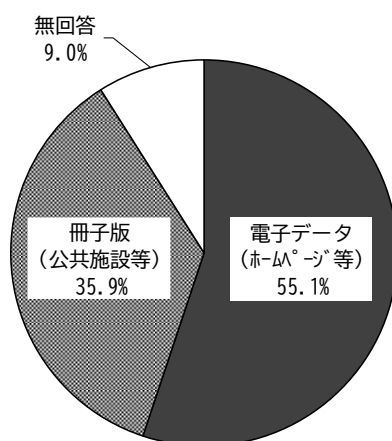
性別、年齢別に見ると、【知っている（計）】は男性が17.1%、女性が11.2%となっている。

男性では、【知っている（計）】は「70歳代」が24.8%で最も高く、次いで「80歳以上」が20.6%となっているが、「10・20歳代」（9.1%）と「30歳代」（9.3%）では1割を下回った。女性では「50歳代」が15.5%で最も高く、次いで「60歳代」が15.4%となっており、「30歳代」（9.1%）と「40歳代」、「10・20歳代」（各7.1%）では1割を下回った。



「知っていて、見たことがある」と回答した 78 人に、見たことのある『総合計画 2030』の媒体について尋ねたところ、「電子データ（ホームページ等）」が 55.1%、「冊子版（公共施設等）」が 35.9%という結果であった。

(n=78)



2 市に対する意見・要望

(1) 綾瀬市の魅力とその発信方法について

綾瀬市の魅力とその魅力をどう発信していくべきかについて、自由記述形式で尋ねた。

その内容を分類すると、綾瀬市の魅力については、「自然・緑が多い」が 153 件と最も多く、次いで「農産物・畜産物」70 件、「田舎・のんびり・穏やか」42 件と続いている。

発信方法については、「SNS・YouTube 等ネットで発信」が 24 件、「イベントを開催」と「道の駅をつくる」が共に 19 件、「交通アクセスを便利にする」が 18 件と続いている。

<綾瀬市の魅力について>

内容	件数
自然・緑が多い	153
農産物・畜産物	70
田舎・のんびり・穏やか	42
ほどよく田舎で都会すぎない	35
公園が充実	34
子育てがしやすい・子育て支援が充実	31
静か	30
立地が良い・県の中央に位置	24
スマート I C が便利	23
住民の人柄・人間関係が良い	21
行政サービス全般	21
買物が便利	20
住みやすい	19
ロケ地として使われている	17
自然災害が少ない	16
工業・ものづくりのまち	15
安全安心・治安が良い	14
国際色豊か	14
景観が良い	13
基地がある	12
都心に出やすい	11
鉄道が通っていない	10
ゴミ出しが便利・袋が有料でない	10
土地・家賃が安い	7
歴史・遺跡がある	3
その他	114
魅力がない・少ない	35
計	814

<発信方法について>

内容	件数
SNS・YouTube 等ネットで発信	24
イベントを開催	19
道の駅をつくる	19
交通アクセスを便利にする	18
商業施設を増やす	17
市ホームページで発信	11
子育て支援に力を入れる	11
飲食店・グルメ情報などの発信	5
他市との連携	5
国際交流に取り組む	4
あやびいのグッズなど積極的な使用	4
若者の意見を取り入れる	2
テレビ・ラジオで発信	2
その他	17
特に発信しなくて良い	6
計	164

※詳細については資料編 P 6 6 を参照。

(2) 行政に取り組んでもらいたいサービスや事業について

行政に取り組んでもらいたいサービスや事業について、自由記述形式で尋ねた。

その内容を 35 施策別に分類すると、「【施策 16】公共交通ネットワーク」が 132 件と最も多く、次いで「【施策 22】商業振興、観光振興」57 件、「【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク」51 件、「【施策 8】子育て支援、保育環境」38 件と続いている。

なお、一つの回答が複数の内容に渡る場合は複数回答としてそれぞれの項目に分類している。そのため、項目ごとの件数の合計が施策全体の件数と一致しない場合がある。

(件)	
【施策 16】公共交通ネットワーク	132
交通網の整備・充実	50
コミュニティバスの本数を増やす	27
鉄道の誘致・駅をつくる	31
コミュニティバスの路線を増やす	11
コミュニティバスの充実	9
鉄道利用の際の割引	2
コミュニティバスの継続・維持	2
その他	9
【施策 22】商業振興、観光振興	57
道の駅をつくる	18
商業施設の開発・充実	13
大型商業施設・ショッピングセンターをつくる	9
スーパーの誘致	6
娯楽施設の誘致	4
飲食店の充実	3
地域で使えるクーポン券など	5
その他	6
【施策 13】交通安全対策、道路ネットワーク	51
歩道整備	12
道路整備	9
スマートインターチェンジ開通による渋滞の解消	9
自転車の走りやすい道の整備	4
道が狭い	4
信号の設置	4
抜け道等の車の速度取締り強化	3
ガードレール設置	2
信号機の時間調整	2
駐車場が少ない	2
その他	11
【施策 8】子育て支援、保育環境	38
子育て支援の充実	13
医療費補助の対象拡大	4
ひとり親支援の充実	4
子育てにやさしいまちづくり	2
金銭的支援の拡大	2
紙おむつ支給	2
保育士の確保・待遇向上	2
その他	12
【施策 2】高齢者福祉と社会参加	31
高齢者が暮らしやすいまちづくり	7
高齢者対策の整備・改善	4
高齢者の交通手段整備	4
高齢者の移動に関する費用の補助	3
その他	15

【施策6】 地域医療	27
医療機関の充実	11
総合病院をつくる	5
その他	12
【施策30】 資源の利活用	26
ごみの個別収集	12
ごみ当番の廃止・見直し	8
ごみ収集の有料化	4
資源ごみ対策	2
ごみ問題を自治会まかせにしない	2
その他	7
【施策28】 みどりの保全、生活環境の保全	21
におい問題	3
カラス対策	3
自然・みどりを大切にする取組	2
野良猫対策	2
野良猫・野良犬・鳥への餌付け禁止	2
その他	9
【施策18】 公園	21
公園の整備	3
子どもが遊べる公園	2
ボール遊びができる公園	2
ドッグランをつくる	2
その他	14
【施策26】 生涯学習	20
図書館の充実	9
P T Aの見直し	3
図書館の駐車場を増やす	2
その他	9
【施策34】 効果的・効率的な行財政経営、I C Tの利活用	17
I C Tに対応できない人への対応・サポート	3
広報内容のメール・S N Sでの配信	3
様々なものの電子化	2
その他	9
【施策12】 防犯対策	16
警察署の設置	6
防犯カメラを増やす	4
街灯を増やす	3
安全・安心なまちづくり	2
その他	3
【施策17】 住宅、景観	16
空き家対策	9
リフォーム補助金	3
その他	5
【施策31】 コミュニティづくり	15
自治会離れ対策・加入促進	2
寄付金集めは自治会でやるべきでない	2
その他	17
【施策3】 障がい者の自立と社会参加	13
精神障がい者への支援	3
その他	10
【施策7】 スポーツ	13
プールをつくる	7
スポーツ施設の諸設備の無料化	2
その他	6

【施策 24】学校教育	12
通学バス運行	2
学校での学習サポート	2
その他	11
【施策 20】工業振興、企業誘致	12
企業誘致を進める	6
大学誘致	2
その他	4
【施策 23】農業振興、農地保全	11
農業振興	2
農地減少への対策	2
その他	8
【施策 32】多文化共生	11
外国人住民への生活ルール周知	4
外国人との交流	3
その他	4
【施策 10】防災危機管理体制、災害に強いまちづくり	10
災害対策の充実	3
防災無線が聞こえにくい	2
その他	5
【施策 15】基地対策、基地との新たな関わり	10
騒音対策	4
外国人との交流	2
その他	4
【施策 5】健康づくり	8
【施策 21】労働環境	6
【施策 4】社会保障	5
【施策 9】青少年健全育成	5
【施策 35】公共施設マネジメント	5
【施策 19】下水道、河川	4
【施策 25】学校教育環境	4
【施策 14】市民相談	3
【施策 29】環境負荷の低減	1
【施策 11】火災予防と消防力	0
【施策 27】文化・芸術、文化財の保護活用	0
【施策 33】人権擁護、平和活動	0

施策外	116
広報が少ない・周知不足	15
アンケートについて	15
若い人の意見を取り入れる	5
職員の勤務態度について	4
税金の軽減	4
他市との交流・協力	3
『総合計画 2030』について	3
感謝	3
ホームページが見づらい	2
市政全般について	2
その他	67

※詳細については資料編 P 81 を参照。

V 調查票

V 調査票

綾瀬市 市民満足度調査

【市民の皆さまへ調査のお願い】

市民の皆さまには、日ごろから市政の運営についてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

市では、総合計画2030で掲げる10年後のまちに向けた理念「“つたえる”を大切に
にするまち “つながる”を生み出すまち」の実現に向けて、「育てる」「稼ぐ」「支え
る」の3つの基本方針に基づく15の戦略プロジェクト及びそれを構成する7つの分野に
基づき、持続可能なまちづくりを実施しております。

このたび、市民の皆さまから見た総合計画2030の各施策に対する取組の満足度や重
要度などの評価を確認させていただき、本市にとって必要な取組を改めて検討し、反映さ
せるため、「市民満足度調査」を実施いたします。

今回の調査では、満18歳以上の市民の皆さまの中から、3,000人を無作為に選ばせ
ていただきました。

調査でお答えいただきました内容等については、統計的に処理し、ホームページ等で公
表させていただきますが、個別に公表することはありません。

この結果は、今後の市政の方向性を決定する基礎資料として、各施策の取組に活用させ
ていただきますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいた
します。

令和4年7月 綾瀬市

【提出方法】

ご提出は、郵送もしくはインターネットによるご回答のいずれかをお願いいたします。

★郵送で提出する場合

ご記入いただきました調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、下記の
提出期限までに郵便ポストにご投函ください。

★インターネットで回答する場合

下記のURLまたは二次元コード（QRコード）より回答ページにアクセスし
ていただき、IDをご入力の上、下記の提出期限までにご回答ください。

あなたのID

※なお、このIDはランダム
に配付しています。どなた
がどのIDであるかは照合
できないようになっており、
個人を特定するものではあ
りませんのでご安心くださ
い。

<URL>

<https://sogo-k.post-survey.com/ayase/>

<二次元コード（QRコード）>



【提出期限】

8月12日（金）まで

【問い合わせ先】

綾瀬市役所 経営企画部 企画課 政策経営担当

電話 0467-70-5635

メールアドレス wm.705635@city.ayase.kanagawa.jp

綾瀬市マスコットキャラクター
「あやびい」

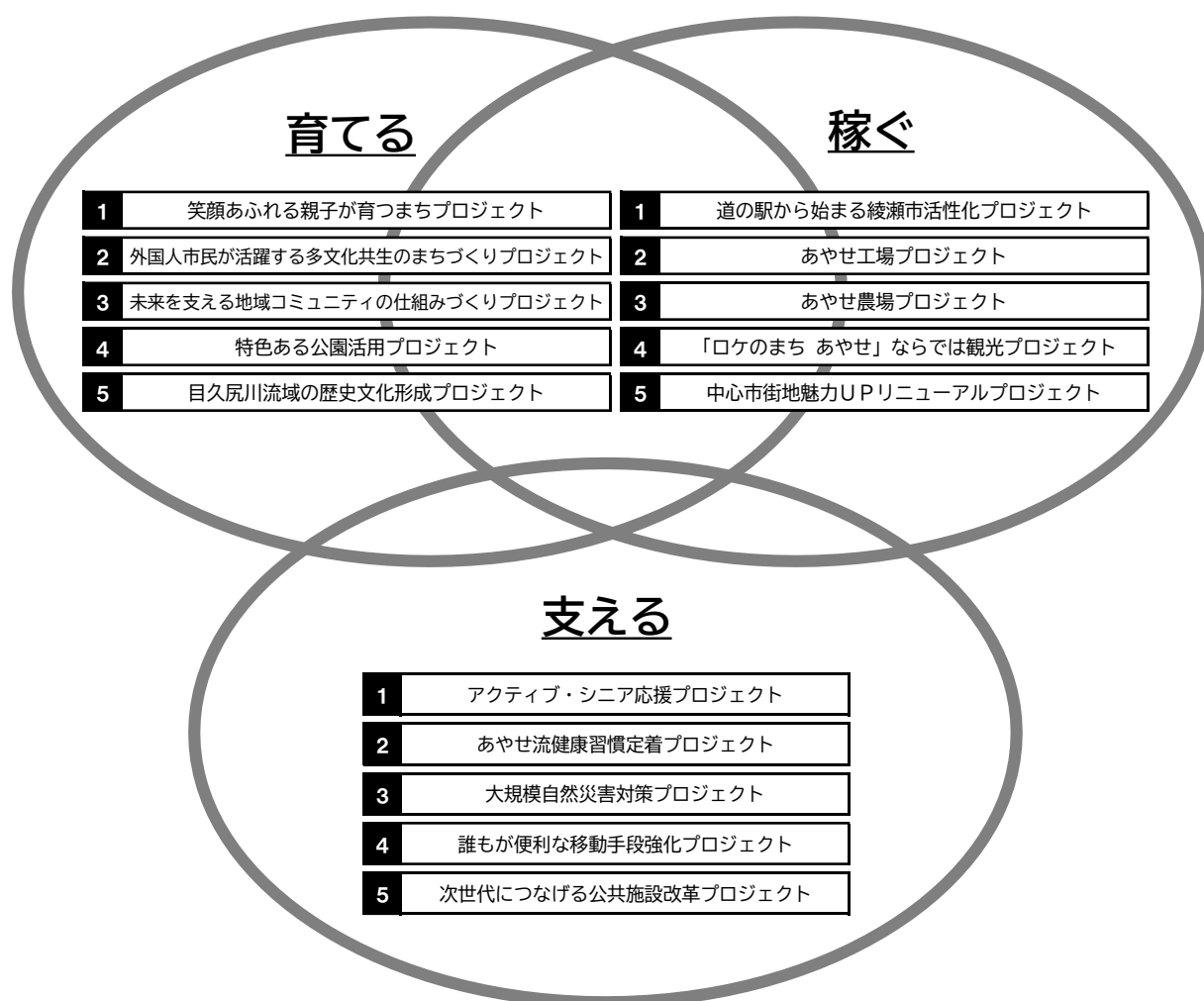
綾瀬市施策の全体像について

※各施策の設問回答の際に、「総合計画2030」の全体像をご覧ください。

1. 戦略プロジェクト

「育てる」「稼ぐ」「支える」の3つの基本方針に基づき、本市において緊急性、重要性が高く、かつ重点的、戦略的に実施する取り組みを「**15の戦略プロジェクト**」として位置付けております。

15の戦略プロジェクト



2. 政策・施策体系別事業

行政が担う施策を「福祉・保健」「安心・安全」「都市づくり」「産業振興」「教育・文化」「環境」「自治・行政」の7つの分野に区分し、予算体系（戦略プロジェクトを構成する事業を含む）として整理しています。

■ あなた自身についてお伺いいたします

次の①～⑥の項目について、当てはまる番号を1つずつ選び、○をつけてください。

※ご記入の際は、令和4年7月1日現在の状況でお答えください。

① 性 別	1 男	2 女	3 選べない・答えたくない
② 年 齢	1 10歳代 5 50歳代	2 20歳代 6 60歳代	3 30歳代 7 70歳代 4 40歳代 8 80歳以上
③ 職 業	1 常勤 (自営を含む) 4 学生	2 非常勤 (パート・アルバイト) 5 無職	3 主婦(夫) 6 その他
④ 家族構成	1 単身世帯 4 3世代(親と子、孫)の世帯	2 夫婦のみの世帯 5 その他	3 2世代(親と子)の世帯
同居家族の中に高校生以下の子どもがいますか。	1 いる	2 いない	
同居家族の中に(自身を含む)65歳以上の方がいますか。	1 いる	2 いない	
⑤ 綾瀬市での居住年数	1 5年未満	2 5～10年未満	3 10～20年未満 4 20年以上
⑥ 現在お住まいの地域	1 落合	落合南一丁目～九丁目、落合北一丁目2番～4番、落合北二丁目～七丁目	
	2 中村	落合北一丁目1番、深谷上七丁目12番～13番、深谷上八丁目1番～6番22番～24番、深谷中一丁目3番～14番 17番～21番、深谷中二丁目～三丁目、深谷中四丁目7番～13番 16番～17番 22番～29番、深谷中五丁目1番 4番～7番 9番～24番、深谷中六丁目～九丁目、深谷南一丁目～七丁目、本蓼川	
	3 上深谷	深谷上一丁目～七丁目、深谷上八丁目14番～21番 25番～27番、深谷中一丁目1番～2番 15番～16番、深谷中四丁目1番～6番 14番～15番 18番～21番、深谷中五丁目2番～3番 8番、寺尾南一丁目6番	
	4 大上	大上一丁目～九丁目	
	5 蓼川	蓼川、蓼川一丁目～三丁目	
	6 寺尾南	寺尾釜田一丁目～三丁目、寺尾南一丁目1番～5番、寺尾南二丁目～三丁目	
	7 寺尾綾北	寺尾本町一丁目～三丁目、寺尾中一丁目、寺尾中三丁目～四丁目、寺尾台一丁目9番36号	
	8 寺尾北	寺尾北一丁目～四丁目、寺尾台四丁目5番16号～17号	
	9 寺尾天台	寺尾台一丁目1番～9番35号 寺尾台一丁目9番37号～14番、寺尾台二丁目～三丁目、寺尾台四丁目1番～5番15号、寺尾台四丁目6番～7番、寺尾中二丁目、寺尾西一丁目～三丁目	
	10 小園	小園、小園南一丁目～二丁目	
	11 早川	早川1～1318・1320～1345-6・1345-8～28・1345-49～55、57、58、・1346～1528-3・1528-5～7・1528-9～3408、早川城山一丁目～五丁目、吉岡1335-2、3・1336-3・1672-8、12、21、22	
	12 吉岡	吉岡1～1335-1・1335-4～1336-2・1336-4～1672-7・1672-9～11・1672-23～1790-119・1790-121～123・1790-125～2366・2366-2～3425、吉岡東一丁目～五丁目、落合北一丁目5番～12番	
	13 綾西	綾西一丁目～五丁目、早川1319-2、7、9・1345-7・1345-29～48・1345-56、59・1528-4、8、吉岡1790-120、124、2366-1	
	14 上土棚北	上土棚北一丁目～五丁目	
	15 上土棚南	上土棚南一丁目～六丁目	
	16 上土棚中	上土棚中一丁目～七丁目	

■ 市政に対する評価について

《記入の仕方》

- 綾瀬市が重点的に実施している35の施策について、それぞれの**事業内容**をお読みのうえ、(1)(2)の質問にお答え下さい。

《記入例》

太字下線の箇所は市が実施している事業・取組

15戦略については、1ページをご覧ください。

《福祉・保健》

施策1 「地域で支え合う福祉活動」について伺います。

15戦略 支える **4**

福祉活動団体を支援するため、福祉支援団体交流室の利用促進やコーディネーターによる相談対応を行っています。また、地域の移動困難者のために活動している住民参加型移動支援団体や福祉有償運送団体の活動を支援するため、ワゴン車の貸出や補助金の交付等を行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(○は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、この欄に理由をご記入ください。

※「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------



あやびいと家族

<<福祉・保健>>

施策1 「地域で支え合う福祉活動」について伺います。

15戦略

支える **4**

福祉活動団体を支援するため、福祉支援団体交流室の利用促進やコーディネーターによる相談対応を行っています。また、地域の移動困難者のために活動している住民参加型移動支援団体や福祉有償運送団体の活動を支援するため、ワゴン車の貸出や補助金の交付等を行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策2 「高齢者福祉と社会参加」について伺います。

15戦略

支える **1**

介護保険制度をはじめ、高齢者が自立した生活を送ることができるよう、緊急時にボタン一つで救急要請を行うことができるほか、随時相談に応じてもらえる機能のついた緊急通報機器の貸与などの福祉サービスを提供しております。また、仕事や趣味サークルなど様々な活動を紹介するアクティブ・シニア応援窓口を設置し、高齢者の社会参加を促進しております。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策3 「障がい者の自立と社会参加」について伺います。

障がい者が自立できるよう、社会福祉施設等への交通費の助成や在宅福祉サービスの充実などを行っています。また、重度障がい(児)者への医療費負担の一部助成など経済的な支援を行うほか、もみの木園では、療育が必要な就学前の児童の生活習慣の自立・機能回復の訓練等を行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

<<福祉・保健>>

施策4 「社会保障」について伺います。

15戦略

 育てる **1**

 支える **2**

市民の生活習慣病を予防するため、**特定健康診査を実施**し、40歳から74歳までの方で、**血糖・脂質の値が基準値より高い方には、保健師と管理栄養士が受診勧奨を行い、生活習慣の改善と感染症における重症化のリスクについて助言**を行っています。また、**貧困の連鎖防止のため、生活困窮世帯に対する学習支援**などを行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策5 「健康づくり」について伺います。

15戦略

 育てる **1**

 支える **2**

健康管理や疾病予防を図るため、**健康的な食生活や行動習慣の定着化、がんの早期発見・早期治療を目指した検診体制の充実、乳幼児健診に取り組むほか、1歳から2歳未満を対象としたおたふくかぜワクチン予防接種費用の助成、高齢者の肺炎予防にかかわる高齢者肺炎球菌予防接種費用の助成**を実施しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策6 「地域医療」について伺います。

地域で安心して医療を受けることができるよう、**かかりつけ医の定着の推進、診療所と病院間の連携強化による地域の医療提供体制の充実、綾瀬休日診療所における休日・夜間の内科・歯科・調剤の業務**を行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

<<福祉・保健>>

施策7 「スポーツ」について伺います。

15戦略 支える **2**

競技スポーツや健康増進に繋がるスポーツの推進に取り組むため、市総合スポーツ大会、市駅伝競走大会などの開催や市内の小中学校の体育館等の運動施設を開放するとともに、ポールを使ったウォーキングであるノルディック・ウォークの普及に取り組んでいます。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策8 「子育て支援、保育環境」について伺います。

15戦略 育てる **1**

子育て世帯が安心して生活できるよう、デパート等で使える子育て商品券を出生時に支給するほか、ひとり親家庭の方への相談・支援に取り組んでいます。また、子育てと仕事の両立が出来る環境を提供するため、待機児童の解消に努めているほか、子どもが病気でも仕事を休むことができない保護者のために、一時的に子どもを預かる病児保育事業を行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策9 「青少年健全育成」について伺います。

保護者の就労等により、保護者が家にいない放課後や休日でも子どもが安心して過ごせるよう、市内施設等で他の保護者や地域の大人が見守る放課後児童クラブ及びあやせっ子ふれあいプラザ事業を行っています。また、専門カウンセラーによる青少年相談室や多世代の方々が交流できる居場所の提供などにより、青少年の健全育成に取り組んでいます。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

《安心・安全》

施策10 「防災危機管理体制、災害に強いまちづくり」について伺います。

15戦略

支える **3**

防災訓練の実施などを通じ、防災体制の強化に取り組むとともに、避難所の**非常用食料等の調達、災害用仮設風呂やマンホールトイレの整備**など、災害対策の充実に努めています。また、災害時に備え、**民間事業者と連携し、物資の提供体制を構築**しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策11 「火災予防と消防力」について伺います。

救命率の向上と住宅の防災対策を図るため、**救命講習会を実施**し、救命処置の普及啓発を行っているほか、**住宅用火災警報器の維持管理を推進**しています。また、**女性消防吏員が当直勤務を行うために必要な施設を整備**し、女性消防吏員の活躍推進を図っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策12 「防犯対策」について伺います。

地域の安全確保・防犯思想の普及を図るため、**パトロール車による市内巡視や災害情報、防犯情報等を配信**しているほか、**防犯カメラ付き防犯灯の設置**や、子どもや高齢者、女性などの緊急避難所として、市内に約840箇所の**「あやせ110番の家」を設置**しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

《安心・安全》

施策13 「交通安全対策、道路ネットワーク」について伺います。

15戦略

支える **4**

交通安全の意識啓発や交通事故防止を図るため、交通安全教室の開催や交通指導員による通学路での街頭指導、交差点における車止めポールを設置を行っています。また、綾瀬市スマートインターチェンジの開通など、交通状況の変化に対応するため、市内全域の道路を整備しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策14 「市民相談」について伺います。

市民が抱えている諸問題の解消のため、法律相談等の各種相談を受け付けており、消費生活相談では、架空請求や商品トラブルへの助言を行うとともに、被害に遭わないための啓発活動として、消費者問題出前講座を実施しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策15 「基地対策、基地との新たな関わり」について伺います。

基地の整理・縮小・返還を基本姿勢に、市民負担の軽減を図るため、住宅防音工事などの騒音対策の充実、航空機の安全対策の徹底等を政府や米軍に求めています。一方で返還が実現するまで、基地を地域資源として活用するため、施設の共同使用、日米交流を促進しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

《都市づくり》

施策16 「公共交通ネットワーク」について伺います。

15戦略 支える **4**

地域公共交通の利便性向上を図るため、社会状況の変化やあらゆる世代に対応した移動手段の充実に向けたコミュニティバスの再編や新たな交通手段導入の検討を行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策17 「住宅、景観」について伺います。

市民が過ごしやすく、安全性が確保された住環境の整備を図るため、木造住宅及び危険なブロック塀等の耐震化に係る費用の一部を助成しているほか、市営住宅の維持管理、良好な景観を維持するための規制や誘導などを行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策18 「公園」について伺います。

15戦略 育てる **4**

公園のにぎわいと魅力の創出を図るため、公園内のオープンスペースを活用したキッチンカー導入事業を実施しています。また、市のバラを主軸とした魅力ある公園づくりとして、スポーツのみならず、市内イベントの開催場所ともなる多目的フィールドのオープンを含めた光綾公園の再整備を進めています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

《都市づくり》

施策19 「下水道、河川」について伺います。

15戦略 支える **3**

健康で快適な市民生活を確保するため、老朽化対策として、計画的に**污水管や終末処理場の修繕・改築**に取り組んでいます。また、下水道を整備する計画が無い区域における生活環境の悪化防止を図るため、**合併処理浄化槽への転換に係る費用の一部を助成**しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

《産業振興》

施策20 「工業振興、企業誘致」について伺います。

15戦略 稼ぐ **2**

市内企業の活性化を図るため、**デジタル化やSDGsの推進、カーボンニュートラルの実現に取り組む市内企業を支援**するほか、**ものづくりのまちとしての魅力を広く発信**しています。また、**市内産業の活性化と市民の雇用機会を創出**するため、**新規立地する企業と事業拡大する既存企業を支援**しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策21 「労働環境」について伺います。

障がい者や女性などの労働参加を促進させるため、**障がい者雇用報奨金や職場環境改善の支援制度を構築**しているほか、市内企業が退職金制度を確立させることで、従業員の安心感に繋げるため、**退職金共済掛金の一部を支援**しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策22 「商業振興、観光振興」について伺います。

15戦略 稼ぐ **4**

市内商業を活性化させるため、市内商業者が行う商品の開発や販売促進に係る費用を補助するとともに、ロケ地看板の設置やロケ地マップの作成、飲食店等との連携によるサイクルスタンプラリー（びゅ〜っとあやせ）やトウモロコシを活用した観光イベントの開催など、本市ならではの観光事業を展開しています。また、実行委員会が開催する観光イベント Ayase Baseside Festivalの開催を支援し、市内観光を推進しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。（○は1つ）

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策23 「農業振興、農地保全」について伺います。

15戦略 稼ぐ **3**

大消費地近郊の立地を活かした都市型農業を推進するため、菜速 あやせコーン®をはじめとした朝採れ野菜のPRや施設整備を行っています。また、農業の担い手不足を解消するため、新規就農者の発掘や農業へのボランティア人材を養成するとともに、不耕作地の発生防止に力を入れています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。（○は1つ）

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

《教育・文化》

施策24 「学校教育」について伺います。

読書を通して考える力や創造力を高めていくため、児童・生徒への1人1冊配本事業、学校図書館蔵書の充実、学校司書の勤務時間数の増を一体的に実施し、子どもの読書活動を推進しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。（○は1つ）

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。（○は1つ）

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

「教育・文化」

施策25 「学校教育環境」について伺います。

I C T機器を活用した効果的な授業を実施するため、デジタル教科書や児童・生徒1人1台のタブレット端末を整備しているほか、家庭学習でのオンライン教材の活用を図るため、モバイルWi-Fiルーターの貸出しを行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(○は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策26 「生涯学習」について伺います。

15戦略 育てる **3**

市民の学習活動の支援や学習機会の提供のため、健康や芸術、教育など様々な分野の講師の紹介を行うほか、図書館や公民館などの施設を設置し講座の開催や学びの場を提供しています。また、P T A活動の支援や家庭の教育力の向上を図る講演会を開催しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(○は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策27 「文化・芸術、文化財の保護活動」について伺います。

15戦略 育てる **5**

市民が行っている絵画・書道・音楽などの文化芸術活動を発表する場として、あやせ文化芸術祭等を開催しているほか、優れた文化芸術の鑑賞の機会を市民に提供しています。また、地域に伝承されてきた民俗芸能の保存維持や後継者を育成するため、伝統芸能活動を推進しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(○は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

<<環境>>

施策28 「みどりの保全、生活環境の保全」について伺います。

生活環境の向上を図るため、「さわやか・あやせ」を合言葉として市内全地区の美化清掃を行う美化キャンペーンを実施しています。また、緑地や樹木の保全、生垣設置、公園愛護活動への助成を実施しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策29 「環境負荷の低減」について伺います。

地球温暖化対策を進めるため、終末処理場消化槽設置に伴う汚泥減量化と消化ガスによる発電事業や市内防犯灯、道路照明灯等のLED化を行っているほか、太陽光発電設備を設置した際や電気自動車を購入した際に補助金を交付しています。また、水資源の有効活用として、雨水を市役所内トイレの洗浄等に再利用しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策30 「資源の利活用」について伺います。

限られた資源が焼却され、地球環境を悪化させるのを防ぐため、資源の分別・利活用に取り組み、「循環型社会」の構築を目指し、焼却処理されるごみを減量化しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

《自治・行政》

施策31 「コミュニティづくり」について伺います。

15戦略

育てる

3

市民活動や地域活動をサポートするため、中央公民館内に「市民活動センターあやせ」を設置しているほか、市民活動への財政的支援として、きらめき補助金制度や自治会活動への補助などを行っています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策32 「多文化共生」について伺います。

15戦略

育てる

2

外国人市民が地域の一員として生活し、活躍できる環境を作るため、市役所窓口での通訳や生活ガイドブックの配付、ボランティアによる日本語教室の支援を行っています。また、日本人市民との相互理解・交流のため、あやせ国際フェスティバルを開催しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策33 「人権擁護、平和活動」について伺います。

平和意識の普及啓発と人権意識の高揚を図るため、人権・平和映画会の開催や人権相談を実施しています。また、男女共同参画社会への理解と関心を深めるため、標語コンクールを開催しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(〇は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に〇をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(〇は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

《自治・行政》

施策34 「効果的・効率的な行財政経営、ICTの利活用」について伺います。

市民サービスの向上及び職員業務の効率化を図るため、各種行政手続きや住民窓口のオンライン化、手作業で行っている業務のデジタル化・機械化、システムを活用した紙の削減を実施しています。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(○は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

施策35 「公共施設マネジメント」について伺います。

15戦略 支える **5** 稼ぐ **5**

持続可能なまちづくりに向けて、将来の財政負担の軽減を図るため、施設を有効活用しつつ、施設保有量の適正化（機能集約・複合化等）や計画的な保全による施設の長寿命化に取り組むとともに、市役所周辺の再編に取り組んでいます。

(1) あなたはこの取り組みにどの程度満足していますか。(○は1つ)

満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
-----	------	--------	--------	------	---------

【ご不満な理由】

[]



※「3 やや不満」「4 不満」に○をつけた方は、理由をご記入ください。

(2) 綾瀬の将来にとって、どの程度重要だと思いますか。(○は1つ)

重要度	1 重要である	2 やや重要である	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 わからない
-----	---------	-----------	------------	---------	---------

■ 市政全般について伺います

問1 あなたは、綾瀬市を住みよいまちだと思いますか。(○は1つ)

- 1 住みよい 2 まあ住みよい 3 あまり住みよくない 4 住みにくい

問1-1 「3 あまり住みよくない」「4 住みにくい」を選んだ方は、その理由をご記入ください。

問2 あなたは、これからも綾瀬市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 住み続けたい 2 できれば住み続けたい 3 できれば転出したい 4 転出したい 5 わからない

問2-1 「3 できれば転出したい」「4 転出したい」を選んだ方は、希望する転居先をご記入ください。

問3 あなたは、「総合計画2030」を知っていますか。知っている方は、見たことがありますか。また、知らない方は、見たいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 知っていて、見たことがある | ➡ 問3-1へお進みください |
| 2 知っているが、見たことはない | } ➡ 問4へお進みください |
| 3 知らないが、見たいと思う | |
| 4 知らないし、見たいと思わない | |

【問3で「知っていて、見たことがある」と回答された方】

➡ 問3-1 ご覧になった「総合計画2030」をお知らせください。

- 1 電子データ（ホームページ等）
2 冊子版（公共施設等）



☆「総合計画2030」は、市ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.city.ayase.kanagawa.jp/hp/page000037500/hpg000037492.htm>
(または、右記のQRコードよりアクセスしてください。)



問4 あなたが思う綾瀬市の魅力はどのようなことですか。また、その魅力をどう発信していくべきだと思いますか。ご自由にご記入ください。

問5 行政に取り組んでもらいたいサービスや事業がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて8月12日（金）までにご投函ください。

綾瀬市市民満足度調査
報告書

発 行 日 令和5年1月

編集・発行 綾瀬市 経営企画部 企画課 政策経営担当

〒252-1192 神奈川県綾瀬市早川 550 番地

TEL. 0467-70-5635